

高校・大学・企業におけるインターンシップの展開 と課題

吉本, 圭一
九州大学助教授

福岡, 哲朗
福岡市立博多工業高等学校

稲永, 由紀
筑波大学ビジネス科学研究科講師

宮本, 京子
九州大学病院

他

<https://hdl.handle.net/2324/18887>

出版情報 : pp.1-224, 2001-12-28. 高校・大学インターンシップ研究会
バージョン :
権利関係 :

資料編

高校集計表(学科別)

		合計	普通	商業	工業	その他
Q1. 学科	普通	44.1	100.0	0.0	0.0	0.0
	商業	27.1	0.0	100.0	0.0	0.0
	工業	26.2	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	2.6	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		431	190	117	113	11
(学習内容・方法)	実施している	44.5	60.0	35.0	27.4	54.5
Q3. a アカデミック理論学習	実施していない	48.3	31.6	59.0	65.5	45.5
	無回答	7.2	8.4	6.0	7.1	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. b 企業説明会、ジョブ・ フェア参加	実施している	84.0	92.1	77.8	76.1	90.9
	実施していない	14.2	5.3	20.5	23.0	9.1
	無回答	1.9	2.6	1.7	0.9	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. c ベンチャー育成学習	実施している	16.9	22.6	14.5	8.0	36.4
	実施していない	78.0	71.6	77.8	90.3	63.6
	無回答	5.1	5.8	7.7	1.8	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. d 専攻・授業自由選択	実施している	63.1	61.1	68.4	61.1	63.6
	実施していない	33.4	34.2	29.1	36.3	36.4
	無回答	3.5	4.7	2.6	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. e 将来のための職業学習	実施している	56.8	25.8	87.2	77.9	54.5
	実施していない	39.9	70.0	11.1	18.6	45.5
	無回答	3.2	4.2	1.7	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. f 現実課題学習	実施している	49.9	38.9	53.0	61.9	81.8
	実施していない	44.8	55.8	40.2	33.6	18.2
	無回答	5.3	5.3	6.8	4.4	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. g 職場見学	実施している	54.1	25.3	59.8	93.8	81.8
	実施していない	42.7	70.0	36.8	5.3	18.2
	無回答	3.2	4.7	3.4	0.9	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. h 企業人等による授業	実施している	51.7	27.4	67.5	75.2	63.6
	実施していない	44.8	67.4	29.1	23.9	36.4
	無回答	3.5	5.3	3.4	0.9	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. i インターンシップ	実施している	40.8	10.5	64.1	68.1	36.4
	実施していない	56.4	84.2	35.0	31.0	63.6
	無回答	2.8	5.3	0.9	0.9	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. j コミュニケーション 能力学習	実施している	30.2	25.8	47.0	19.5	36.4
	実施していない	65.2	68.4	49.6	77.0	54.5
	無回答	4.6	5.8	3.4	3.5	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q3. k 卒論、卒研	実施している	63.3	23.7	91.5	98.2	90.9
	実施していない	34.1	71.1	7.7	1.8	9.1
	無回答	2.6	5.3	0.9	0.0	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q3. l 奉仕活動	実施している	64.0	59.5	65.8	68.1	81.8
	実施していない	33.6	37.4	32.5	31.0	9.1
	無回答	2.3	3.2	1.7	0.9	9.1
合計		431	190	117	113	11

高校集計表 (学科別)

		合計	普通	商業	工業	その他
(重視する・しない) Q3. a アカデミック理論学習	重視している	63.0	69.3	43.9	67.7	50.0
	特別重視していない	32.8	26.3	48.8	32.3	50.0
	重視しない	1.0	0.9	2.4	0.0	0.0
	無回答	3.1	3.5	4.9	0.0	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. b 企業説明会、ジョブ・ フェア参加	重視している	81.5	86.9	75.8	74.4	100.0
	特別重視していない	15.7	10.9	18.7	24.4	0.0
	重視しない	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0
	無回答	2.5	2.3	4.4	1.2	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. c ベンチャー育成学習	重視している	68.5	67.4	70.6	77.8	50.0
	特別重視していない	28.8	30.2	29.4	22.2	25.0
	重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2.7	2.3	0.0	0.0	25.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. d 専攻・授業自由選択	重視している	66.5	69.8	61.3	66.7	71.4
	特別重視していない	29.8	27.6	31.3	31.9	28.6
	重視しない	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0
	無回答	3.3	2.6	6.3	1.4	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. e 将来のための職業学習	重視している	81.6	71.4	76.5	92.0	100.0
	特別重視していない	13.5	20.4	15.7	8.0	0.0
	重視しない	0.4	0.0	1.0	0.0	0.0
	無回答	4.5	8.2	6.9	0.0	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. f 現実課題学習	重視している	70.7	63.5	71.0	77.1	77.8
	特別重視していない	25.6	35.1	21.0	20.0	22.2
	重視しない	0.9	0.0	1.6	1.4	0.0
	無回答	2.8	1.4	6.5	1.4	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. g 職場見学	重視している	76.4	60.4	80.0	81.1	77.8
	特別重視していない	20.2	35.4	15.7	17.0	11.1
	重視しない	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0
	無回答	3.0	4.2	2.9	1.9	11.1
	合計	431	190	117	113	11
Q3. h 企業人等による授業	重視している	74.4	63.5	72.2	82.4	85.7
	特別重視していない	21.5	32.7	20.3	16.5	14.3
	重視しない	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0
	無回答	3.6	3.8	6.3	1.2	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. i インターンシップ	重視している	84.7	90.0	85.3	81.8	100.0
	特別重視していない	11.9	10.0	8.0	16.9	0.0
	重視しない	1.1	0.0	2.7	0.0	0.0
	無回答	2.3	0.0	4.0	1.3	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. j コミュニケーション 能力学習	重視している	71.8	66.0	74.5	77.3	75.0
	特別重視していない	22.1	26.0	18.2	22.7	25.0
	重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	5.3	6.0	7.3	0.0	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q3. k 卒論、卒研	重視している	77.7	55.6	74.8	90.1	70.0
	特別重視していない	19.8	40.0	21.5	9.0	30.0
	重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2.6	4.4	3.7	0.9	0.0
	合計	431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q 3. 1 奉仕活動	重視している	68.8	67.3	66.2	74.0	66.7
	特別重視していない	28.3	31.9	26.0	24.7	33.3
	重視しない	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0
	無回答	2.5	0.9	6.5	1.3	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 4. 実施状況	現在実施している	36.2	10.0	58.1	58.4	27.3
	実施に向けて計画中	7.2	1.6	12.8	10.6	9.1
	実施を検討中	18.3	22.1	13.7	15.0	36.4
	将来的にも考えていない	3.2	6.8	0.9	0.0	0.0
	特段の検討はない	31.3	55.8	12.0	11.5	18.2
	不明	1.4	1.6	1.7	0.0	9.1
	無回答	2.3	2.1	0.9	4.4	0.0
合計	431	190	117	113	11	
Q 4. SQ 1 業種	農・林・水産業	9.1	13.6	6.0	9.0	50.0
	建設業	42.8	50.0	20.5	64.1	50.0
	製造業	64.2	50.0	48.2	83.3	100.0
	電気ガス熱供給水道	26.7	13.6	18.1	41.0	0.0
	運輸・通信	24.1	22.7	25.3	21.8	50.0
	卸・小売・飲食	55.1	59.1	85.5	20.5	75.0
	金融・保険	15.0	18.2	24.1	2.6	50.0
	個人サービス	35.3	68.2	48.2	11.5	50.0
	情報サービス	23.0	31.8	25.3	16.7	50.0
	その他のサービス	40.1	86.4	51.8	12.8	75.0
	官公庁	23.0	36.4	24.1	16.7	50.0
	その他	5.9	13.6	4.8	3.8	25.0
	無回答	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0
合計	186	22	82	78	4	
Q 4. SQ 2 受入企業探索方法	就職実績のある企業	67.9	50.0	61.4	80.8	50.0
	教員個人の縁故	23.0	27.3	22.9	21.8	25.0
	職業安定所	12.3	9.1	13.3	12.8	0.0
	経済団体	26.2	18.2	31.3	23.1	25.0
	地域仲介団体からの依頼	12.3	9.1	9.6	16.7	0.0
	P T A	10.7	22.7	8.4	9.0	25.0
	その他	32.1	54.5	31.3	24.4	75.0
	無回答	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0
合計	186	22	82	78	4	
Q 4. SQ 3 実施期間	2・3日程度	69.5	81.8	69.9	66.7	50.0
	1週間程度	23.5	9.1	20.5	30.8	25.0
	2・3週間程度	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0
	1ヶ月程度	1.1	4.5	1.2	0.0	0.0
	2～6ヶ月	1.6	0.0	3.6	0.0	0.0
	6ヶ月以上	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0
	無回答	3.2	4.5	2.4	2.6	25.0
合計	186	22	82	78	4	
Q 4. SQ 4 単位認定の有無	専門教科の一部として認定	26.2	9.1	27.7	30.8	0.0
	その他科目の一部として認定	8.0	18.2	4.8	6.4	50.0
	認定せず特別活動として実施	39.0	59.1	41.0	30.8	50.0
	その他	19.8	13.6	16.9	25.6	0.0
	無回答	7.0	0.0	9.6	6.4	0.0
合計	186	22	82	78	4	

高校集計表 (学科別)

		合計	普通	商業	工業	その他
Q 4. SQ 5	学科主導	49.7	9.1	54.2	57.7	25.0
	個別教員主導	4.3	0.0	8.4	1.3	0.0
	進路指導部主導	18.7	54.5	16.9	9.0	50.0
	教務部主導	4.3	4.5	1.2	6.4	25.0
	その他	16.6	18.2	12.0	21.8	0.0
	無回答	6.4	13.6	7.2	3.8	0.0
合計		186	22	82	78	4
Q 4. SQ 6 希望生徒への指導	1. 生徒との個人面談	39.0	50.0	28.9	47.4	25.0
	2. マナー研修	89.3	77.3	91.6	89.7	100.0
	3. 守秘義務の徹底	33.2	31.8	39.8	25.6	50.0
	4. 受入先に関連した科目履修	8.0	4.5	9.6	7.7	0.0
	5. 保険加入	72.7	45.5	68.7	85.9	50.0
	6. 誓約書の提出	30.5	13.6	25.3	38.5	75.0
	7. 担当教員の巡回	87.2	81.8	88.0	87.2	100.0
	8. その他	9.1	13.6	10.8	5.1	25.0
	無回答	1.1	9.1	0.0	0.0	0.0
合計		186	22	82	78	4
Q 4. SQ 7 受入企業に行う事	1. 誓約書の提出	20.9	13.6	13.3	30.8	25.0
	2. 傷害・賠償保険の確認	55.1	22.7	45.8	74.4	50.0
	3. レポート・報告会開催	58.8	36.4	55.4	67.9	75.0
	4. ライバル社への公平性	3.2	4.5	3.6	2.6	0.0
	5. 生徒の希望職種確認	40.1	63.6	45.8	28.2	25.0
	6. トラブル窓口	54.0	54.5	55.4	52.6	50.0
	7. 企業事前打ち合わせ	90.9	81.8	88.0	96.2	100.0
	8. その他	1.6	4.5	2.4	0.0	0.0
無回答		2.7	13.6	2.4	0.0	0.0
合計		186	22	82	78	4
Q 4. SQ 8 事故の有無	1. 通勤中の交通事故	2.7	4.5	2.4	2.6	0.0
	2. 実習中の被災	2.7	9.1	1.2	2.6	0.0
	3. 過失による破損	3.7	4.5	3.6	2.6	25.0
	4. その他の事故	1.1	0.0	2.4	0.0	0.0
	5. 開発情報の漏洩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 顧客情報の漏洩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. その他	3.2	0.0	2.4	5.1	0.0
	8. 事故はなかった	77.0	72.7	75.9	80.8	50.0
無回答		12.3	13.6	14.5	9.0	25.0
合計		186	22	82	78	4
Q 5. a 企業実態の理解 (学生への教育効果)	かなり期待できる	37.4	24.7	38.5	55.8	54.5
	ある程度期待できる	51.7	58.4	55.6	37.2	45.5
	それほど期待できない	6.5	10.5	2.6	4.4	0.0
	まったく期待できない	0.7	1.1	0.9	0.0	0.0
	無回答	3.7	5.3	2.6	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 5. b 最新知識、技術接触	かなり期待できる	13.0	9.5	9.4	20.4	36.4
	ある程度期待できる	57.1	56.3	59.8	56.6	45.5
	それほど期待できない	24.4	27.4	26.5	17.7	18.2
	まったく期待できない	1.9	2.1	2.6	0.9	0.0
	無回答	3.7	4.7	1.7	4.4	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 5. c 職業適性認識	かなり期待できる	21.8	15.8	27.4	23.9	45.5
	ある程度期待できる	59.6	60.0	59.0	61.1	45.5
	それほど期待できない	15.1	18.9	12.0	12.4	9.1
	まったく期待できない	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0
	無回答	3.2	4.7	1.7	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q5. d 問題発見・解決能力	かなり期待できる	5.1	6.3	4.3	4.4	0.0
	ある程度期待できる	39.7	33.7	47.9	41.6	36.4
	それほど期待できない	48.0	50.0	44.4	46.9	63.6
	まったく期待できない	3.2	4.2	1.7	3.5	0.0
	無回答	3.9	5.8	1.7	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. e 責任感・自尊心修得	かなり期待できる	26.0	14.2	35.9	35.4	27.3
	ある程度期待できる	55.0	58.4	49.6	54.9	54.5
	それほど期待できない	14.4	21.6	10.3	6.2	18.2
	まったく期待できない	1.2	0.5	2.6	0.9	0.0
	無回答	3.5	5.3	1.7	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. f チームワーク等の 社会的スキル	かなり期待できる	20.2	10.0	23.1	33.6	27.3
	ある程度期待できる	56.8	57.9	61.5	49.6	63.6
	それほど期待できない	18.8	25.8	12.8	14.2	9.1
	まったく期待できない	0.7	1.1	0.9	0.0	0.0
	無回答	3.5	5.3	1.7	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. g アカデミック学力向上	かなり期待できる	1.2	1.6	0.9	0.9	0.0
	ある程度期待できる	19.7	17.4	17.1	26.5	18.2
	それほど期待できない	61.7	60.0	69.2	55.8	72.7
	まったく期待できない	12.5	15.3	8.5	12.4	9.1
	無回答	4.9	5.8	4.3	4.4	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. h 専門科目の能力向上	かなり期待できる	5.1	3.2	5.1	8.8	0.0
	ある程度期待できる	36.0	19.5	45.3	51.3	63.6
	それほど期待できない	47.6	58.9	43.6	34.5	27.3
	まったく期待できない	6.5	11.1	3.4	1.8	9.1
	無回答	4.9	7.4	2.6	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. i 学習を学外で応用する	かなり期待できる	7.7	4.2	13.7	7.1	9.1
	ある程度期待できる	39.0	23.2	52.1	50.4	54.5
	それほど期待できない	45.2	60.0	29.9	37.2	36.4
	まったく期待できない	4.4	7.4	2.6	1.8	0.0
	無回答	3.7	5.3	1.7	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. j 欠席遅刻の減少	かなり期待できる	10.9	4.7	17.9	13.3	18.2
	ある程度期待できる	40.8	35.3	37.6	53.1	45.5
	それほど期待できない	40.1	49.5	37.6	28.3	27.3
	まったく期待できない	4.6	5.8	4.3	2.7	9.1
	無回答	3.5	4.7	2.6	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. k 就職先発見の手助け	かなり期待できる	11.8	9.5	12.8	15.9	0.0
	ある程度期待できる	53.1	48.4	49.6	63.7	63.6
	それほど期待できない	26.7	32.1	31.6	13.3	18.2
	まったく期待できない	4.6	4.7	4.3	3.5	18.2
	無回答	3.7	5.3	1.7	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q5. l 就職に必要なスキル修得	かなり期待できる	2.1	1.1	0.9	5.3	0.0
	ある程度期待できる	34.8	33.2	35.0	36.3	45.5
	それほど期待できない	53.6	55.3	53.8	50.4	54.5
	まったく期待できない	5.6	5.3	7.7	4.4	0.0
	無回答	3.9	5.3	2.6	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q 5. m 職業資格取得	かなり期待できる	2.8	1.6	2.6	5.3	0.0
	ある程度期待できる	29.7	24.7	27.4	40.7	27.3
	それほど期待できない	54.3	58.9	55.6	44.2	63.6
	まったく期待できない	9.5	9.5	12.0	7.1	9.1
	無回答	3.7	5.3	2.6	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
(学校改善効果) Q 6. a 欠席遅刻中退の減少	かなり期待できる	3.5	1.6	3.4	7.1	0.0
	ある程度期待できる	30.6	24.7	28.2	42.5	36.4
	それほど期待できない	56.4	61.6	62.4	41.6	54.5
	まったく期待できない	6.0	7.9	4.3	4.4	9.1
	無回答	3.5	4.2	1.7	4.4	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. b 問題行動発生率減少	かなり期待できる	1.6	1.1	1.7	2.7	0.0
	ある程度期待できる	25.5	17.9	27.4	36.3	27.3
	それほど期待できない	63.8	70.0	65.0	52.2	63.6
	まったく期待できない	5.6	7.4	3.4	4.4	9.1
	無回答	3.5	3.7	2.6	4.4	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. c 進学率向上	かなり期待できる	1.2	0.5	1.7	0.9	9.1
	ある程度期待できる	18.1	19.5	12.0	21.2	27.3
	それほど期待できない	68.9	68.4	75.2	64.6	54.5
	まったく期待できない	9.0	8.4	9.4	9.7	9.1
	無回答	2.8	3.2	1.7	3.5	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. d フリータの減少	かなり期待できる	4.4	2.1	3.4	8.8	9.1
	ある程度期待できる	39.9	40.0	39.3	41.6	27.3
	それほど期待できない	46.6	45.8	51.3	43.4	45.5
	まったく期待できない	6.0	7.9	3.4	4.4	18.2
	無回答	3.0	4.2	2.6	1.8	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. e 職業意識の形成	かなり期待できる	30.9	20.5	37.6	42.5	18.2
	ある程度期待できる	61.0	67.9	58.1	51.3	72.7
	それほど期待できない	5.6	7.9	3.4	3.5	9.1
	まったく期待できない	0.7	1.1	0.0	0.9	0.0
	無回答	1.9	2.6	0.9	1.8	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. f 学校でできない教育	かなり期待できる	34.8	26.3	36.8	46.9	36.4
	ある程度期待できる	56.6	61.1	59.8	45.1	63.6
	それほど期待できない	6.5	10.0	2.6	5.3	0.0
	まったく期待できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2.1	2.6	0.9	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. g 社会人講師の招聘容易	かなり期待できる	7.2	5.8	6.0	9.7	18.2
	ある程度期待できる	50.3	54.7	44.4	46.9	72.7
	それほど期待できない	36.4	33.2	43.6	38.1	0.0
	まったく期待できない	3.5	3.2	4.3	2.7	9.1
	無回答	2.6	3.2	1.7	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 6. h アカデミックな理論と 職業体験の関連づけ	かなり期待できる	3.5	2.6	3.4	5.3	0.0
	ある程度期待できる	36.2	35.8	31.6	39.8	54.5
	それほど期待できない	52.2	53.7	54.7	48.7	36.4
	まったく期待できない	5.1	4.7	8.5	2.7	0.0
	無回答	3.0	3.2	1.7	3.5	9.1
合計		431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q 6. i 教育経営点検評価	かなり期待できる	3.2	3.2	0.9	6.2	0.0
	ある程度期待できる	40.4	37.9	41.0	43.4	45.5
	それほど期待できない	48.0	50.0	48.7	43.4	54.5
	まったく期待できない	5.3	5.3	6.8	4.4	0.0
	無回答	3.0	3.7	2.6	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 6. j 学校評価を高める	かなり期待できる	5.1	1.6	9.4	7.1	0.0
	ある程度期待できる	37.8	28.4	38.5	51.3	54.5
	それほど期待できない	49.0	59.5	44.4	36.3	45.5
	まったく期待できない	5.6	7.4	6.0	2.7	0.0
	無回答	2.6	3.2	1.7	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 6. k 求人活動をスムーズ	かなり期待できる	5.3	2.1	5.1	11.5	0.0
	ある程度期待できる	43.9	39.5	41.0	52.2	63.6
	それほど期待できない	42.7	47.9	43.6	33.6	36.4
	まったく期待できない	5.6	6.8	8.5	0.9	0.0
	無回答	2.6	3.7	1.7	1.8	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 6. l 企業との実績関係強化	かなり期待できる	7.9	4.2	7.7	14.2	9.1
	ある程度期待できる	49.2	38.4	50.4	64.6	63.6
	それほど期待できない	35.0	45.3	35.0	18.6	27.3
	まったく期待できない	5.1	7.9	5.1	0.9	0.0
	無回答	2.8	4.2	1.7	1.8	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 6. m 教員の資質向上	かなり期待できる	3.7	3.2	0.9	8.0	0.0
	ある程度期待できる	48.0	48.9	49.6	43.4	63.6
	それほど期待できない	41.8	42.1	41.0	42.5	36.4
	まったく期待できない	3.7	2.6	6.8	2.7	0.0
	無回答	2.8	3.2	1.7	3.5	0.0
	合計	431	190	117	113	11
(企業のメリット) Q 7. a 企業の事業内容PR	かなり期待できる	8.4	5.8	9.4	11.5	9.1
	ある程度期待できる	59.6	59.5	55.6	62.8	72.7
	それほど期待できない	27.1	29.5	28.2	23.0	18.2
	まったく期待できない	0.5	0.5	0.9	0.0	0.0
	無回答	4.4	4.7	6.0	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 7. b 社会的貢献	かなり期待できる	15.3	7.9	17.1	26.5	9.1
	ある程度期待できる	62.2	62.6	58.1	62.8	90.9
	それほど期待できない	17.4	24.2	16.2	8.8	0.0
	まったく期待できない	0.9	0.5	2.6	0.0	0.0
	無回答	4.2	4.7	6.0	1.8	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 7. c 労働力としての実習生	かなり期待できる	3.0	3.2	2.6	2.7	9.1
	ある程度期待できる	16.9	15.3	21.4	14.2	27.3
	それほど期待できない	59.6	58.9	63.2	57.5	54.5
	まったく期待できない	15.8	16.8	7.7	23.0	9.1
	無回答	4.6	5.8	5.1	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 7. d 将来的な雇用対策	かなり期待できる	2.3	2.6	1.7	2.7	0.0
	ある程度期待できる	38.5	30.0	33.3	58.4	36.4
	それほど期待できない	49.0	56.3	53.8	31.9	45.5
	まったく期待できない	5.8	5.8	6.0	4.4	18.2
	無回答	4.4	5.3	5.1	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q7. e 職場の活性化	かなり期待できる	5.6	4.2	4.3	8.8	9.1
	ある程度期待できる	45.0	42.1	42.7	53.1	36.4
	それほど期待できない	41.1	44.2	43.6	31.9	54.5
	まったく期待できない	3.5	3.2	4.3	3.5	0.0
	無回答	4.9	6.3	5.1	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q7. f 産学連携による パイプ作り	かなり期待できる	9.5	6.3	5.1	20.4	0.0
	ある程度期待できる	48.5	42.6	51.3	53.1	72.7
	それほど期待できない	33.4	42.1	31.6	21.2	27.3
	まったく期待できない	3.9	3.2	6.8	2.7	0.0
	無回答	4.6	5.8	5.1	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q7. g 産業イメージ向上	かなり期待できる	7.7	3.2	6.8	15.9	9.1
	ある程度期待できる	57.8	55.8	53.8	61.9	90.9
	それほど期待できない	28.1	34.2	29.1	19.5	0.0
	まったく期待できない	1.6	0.5	5.1	0.0	0.0
	無回答	4.9	6.3	5.1	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q7. h 早期離職防止	かなり期待できる	6.7	4.2	4.3	13.3	9.1
	ある程度期待できる	48.3	40.5	50.4	55.8	81.8
	それほど期待できない	36.7	44.2	35.0	28.3	9.1
	まったく期待できない	4.4	5.8	6.0	0.9	0.0
	無回答	3.9	5.3	4.3	1.8	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q7. i 教育活動への参画	かなり期待できる	7.9	5.3	9.4	10.6	9.1
	ある程度期待できる	51.7	45.8	51.3	60.2	72.7
	それほど期待できない	33.2	39.5	29.9	27.4	18.2
	まったく期待できない	3.0	3.7	5.1	0.0	0.0
	無回答	4.2	5.8	4.3	1.8	0.0
合計		431	190	117	113	11
(コスト、障害) Q8. a 目的意識の明確化 が大変	問題になる	52.2	61.6	42.7	46.9	45.5
	あまり問題にならない	41.3	31.1	51.3	46.9	54.5
	問題にならない	3.5	2.6	5.1	3.5	0.0
	無回答	3.0	4.7	0.9	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q8. b 事前指導が煩雑	問題になる	58.9	69.5	55.6	44.2	63.6
	あまり問題にならない	32.3	21.1	37.6	45.1	36.4
	問題にならない	5.8	5.3	5.1	8.0	0.0
	無回答	3.0	4.2	1.7	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q8. c 服装の指導が大変	問題になる	23.9	16.8	35.0	26.5	0.0
	あまり問題にならない	57.8	65.3	47.0	54.9	72.7
	問題にならない	14.8	12.1	17.1	15.9	27.3
	無回答	3.5	5.8	0.9	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q8. d 対応する科目の用意 が大変	問題になる	33.6	54.2	24.8	7.1	45.5
	あまり問題にならない	46.2	30.0	52.1	68.1	36.4
	問題にならない	16.5	10.0	22.2	22.1	9.1
	無回答	3.7	5.8	0.9	2.7	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q8. e 必修科目のアレンジが 困難	問題になる	53.4	65.8	41.0	45.1	54.5
	あまり問題にならない	29.7	18.4	41.9	36.3	27.3
	問題にならない	11.8	8.4	14.5	15.0	9.1
	無回答	5.1	7.4	2.6	3.5	9.1
合計		431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q 8. f 1週間程度だと アレンジが困難	問題になる	50.3	56.3	48.7	42.5	45.5
	あまり問題にならない	35.7	28.4	41.0	41.6	45.5
	問題にならない	9.0	8.9	7.7	11.5	0.0
	無回答	4.9	6.3	2.6	4.4	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. g 保険の手続き、コスト 負担が大変	問題になる	36.2	48.4	24.8	28.3	27.3
	あまり問題にならない	47.3	36.3	56.4	55.8	54.5
	問題にならない	12.8	9.5	17.9	13.3	9.1
	無回答	3.7	5.8	0.9	2.7	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. h 行政からの助成金、 サポートを受けにくい	問題になる	29.0	28.9	26.5	33.6	9.1
	あまり問題にならない	48.5	46.8	47.0	51.3	63.6
	問題にならない	15.3	13.2	22.2	11.5	18.2
	無回答	7.2	11.1	4.3	3.5	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. i やる気ない学生により 学校の評判を下げる	問題になる	38.3	37.4	33.3	45.1	36.4
	あまり問題にならない	44.3	43.2	45.3	44.2	54.5
	問題にならない	13.9	14.7	19.7	8.0	0.0
	無回答	3.5	4.7	1.7	2.7	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. j 無報酬は参加学生が 集まらない	問題になる	11.8	12.6	9.4	11.5	27.3
	あまり問題にならない	55.0	58.9	52.1	52.2	45.5
	問題にならない	29.9	23.2	37.6	33.6	27.3
	無回答	3.2	5.3	0.9	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. k 有報酬は、アルバイト との差別化困難	問題になる	49.2	47.4	44.4	56.6	54.5
	あまり問題にならない	33.2	37.4	31.6	28.3	27.3
	問題にならない	13.2	10.0	22.2	9.7	9.1
	無回答	4.4	5.3	1.7	5.3	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. l 学校職員の巡回	問題になる	49.7	55.8	42.7	45.1	63.6
	あまり問題にならない	38.7	33.7	41.9	44.2	36.4
	問題にならない	8.6	5.8	14.5	8.0	0.0
	無回答	3.0	4.7	0.9	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. m 企業とのトラブルは 面倒	問題になる	53.4	60.0	39.3	55.8	63.6
	あまり問題にならない	34.8	27.9	47.0	34.5	27.3
	問題にならない	7.9	6.3	12.8	6.2	0.0
	無回答	3.9	5.8	0.9	3.5	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q 8. n ライバル社との公平性 に苦慮	問題になる	11.8	18.4	5.1	8.0	9.1
	あまり問題にならない	63.8	63.7	62.4	64.6	72.7
	問題にならない	19.7	12.1	29.9	23.0	9.1
	無回答	4.6	5.8	2.6	4.4	9.1
	合計	431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q 9. インターンシップ実施 で学生に懸念すること	挨拶ができない	33.9	32.1	32.5	38.9	27.3
	言葉使いが悪い	35.3	30.5	35.9	40.7	54.5
	服装・髪型等が乱れている	34.3	23.7	43.6	43.4	27.3
	遅刻・無断欠勤が多い	21.8	23.2	17.9	23.9	18.2
	積極性がない	60.1	55.8	57.3	67.3	90.9
	勝手な行動をする	19.7	22.1	10.3	24.8	27.3
	ミスをして報告をしない	19.0	20.0	14.5	22.1	18.2
	電話の応答ができない	36.9	37.9	41.0	33.6	9.1
	接客ができない	33.9	39.5	30.8	30.1	9.1
	担当者と人間関係が築けない	20.4	21.6	13.7	23.9	36.4
	周囲との人間関係が築けない	29.5	32.1	28.2	23.9	54.5
	その他	5.1	5.3	4.3	6.2	0.0
	無回答	7.2	11.6	5.1	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 10. インターンシップ実施 で企業に懸念すること	雑用しかさせてもらえない	35.3	37.9	33.3	31.9	45.5
	ただ働きで学生が苦勞する	3.5	4.7	3.4	0.9	9.1
	学生の事故に親身な対応なし	10.2	14.2	8.5	4.4	18.2
	発達段階不適合仕事の押しつけ	24.4	29.5	19.7	17.7	54.5
	学生の希望仕事を担当させない	53.4	60.0	51.3	43.4	63.6
	その他	16.5	8.9	21.4	24.8	9.1
	無回答	13.0	13.2	13.7	13.3	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q 11. 企業が危惧すると 思われるリスク	事故による実習生の被災	53.1	49.5	46.2	68.1	36.4
	実習生過失の機器・商品の破損	21.3	19.5	20.5	25.7	18.2
	実習生による機密の漏洩	7.0	6.8	12.8	1.8	0.0
	不本意実習生から職場迷惑・混乱	40.1	42.6	43.6	31.9	45.5
	ミスマッチの実習生・学校側不満	24.8	26.8	29.9	17.7	9.1
	担当職員の拘束による仕事遅滞	22.3	22.1	18.8	27.4	9.1
	その他	1.2	0.5	2.6	0.9	0.0
	無回答	6.5	9.5	4.3	3.5	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q 12. 推進条件・1番	公的な仲介機関	30.6	20.0	44.4	35.4	18.2
	民間の仲介機関	3.2	2.6	4.3	2.7	9.1
	公的なインターンシップ保険	8.1	10.0	6.0	8.0	0.0
	公的な資金援助	3.5	2.6	1.7	6.2	9.1
	企業経営者、幹部の理解	9.7	7.4	6.0	16.8	18.2
	企業の現場の指導者の理解	4.9	4.7	6.8	1.8	18.2
	学長の理解・イニシアティブ	3.2	4.2	4.3	0.0	9.1
	教員の理解	8.4	12.6	3.4	6.2	9.1
	就職課の理解・イニシアティブ	1.4	2.6	0.9	0.0	0.0
	学務部の理解・イニシアティブ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	企業等からの実施要請	6.0	3.7	6.8	8.8	9.1
	学生・保護者からの実施要望	5.3	7.9	4.3	2.7	0.0
	文部省の法的な枠組み、指導	7.9	12.1	3.4	6.2	0.0
	その他	0.5	0.5	0.0	0.9	0.0
	無回答	7.2	8.9	7.7	4.4	0.0
合計		431	190	117	113	11

高校集計表 (学科別)

		合計	普通	商業	工業	その他
Q12. 推進条件・2番	公的な仲介機関	9.3	10.0	5.1	13.3	0.0
	民間の仲介機関	5.6	2.1	8.5	8.8	0.0
	公的なインターンシップ保険	13.7	11.1	13.7	17.7	18.2
	公的な資金援助	10.0	7.9	12.8	10.6	9.1
	企業経営者、幹部の理解	15.1	14.2	21.4	10.6	9.1
	企業の現場の指導者の理解	9.7	11.1	7.7	9.7	9.1
	学長の理解・イニシアティブ	4.6	5.3	5.1	3.5	0.0
	教員の理解	8.8	10.0	6.8	7.1	27.3
	就職課の理解・イニシアティブ	1.6	2.1	0.9	0.9	9.1
	学務部の理解・イニシアティブ	0.9	1.6	0.9	0.0	0.0
	企業等からの実施要請	4.9	7.4	1.7	4.4	0.0
	学生・保護者からの実施要望	5.1	5.3	2.6	6.2	18.2
	文部省の法的な枠組み、指導	2.1	1.1	3.4	2.7	0.0
	その他	0.5	0.0	1.7	0.0	0.0
	無回答	8.1	11.1	7.7	4.4	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q12. 推進条件・3番	公的な仲介機関	6.7	8.9	4.3	6.2	0.0
	民間の仲介機関	2.6	3.7	0.0	3.5	0.0
	公的なインターンシップ保険	8.4	5.3	8.5	13.3	9.1
	公的な資金援助	7.7	5.3	8.5	8.8	27.3
	企業経営者、幹部の理解	14.2	9.5	15.4	21.2	9.1
	企業の現場の指導者の理解	15.5	13.2	22.2	14.2	0.0
	学長の理解・イニシアティブ	6.3	9.5	6.8	0.9	0.0
	教員の理解	11.4	12.1	8.5	12.4	18.2
	就職課の理解・イニシアティブ	3.7	6.3	0.9	0.9	18.2
	学務部の理解・イニシアティブ	0.9	0.5	0.9	0.0	18.2
	企業等からの実施要請	7.0	5.3	9.4	8.0	0.0
	学生・保護者からの実施要望	4.2	5.8	3.4	2.7	0.0
	文部省の法的な枠組み、指導	2.6	3.2	0.9	3.5	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	9.0	11.6	10.3	4.4	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q12. 推進条件・4番	公的な仲介機関	5.8	6.8	2.6	6.2	18.2
	民間の仲介機関	2.6	2.1	3.4	2.7	0.0
	公的なインターンシップ保険	6.5	8.4	3.4	6.2	9.1
	公的な資金援助	5.8	6.3	4.3	7.1	0.0
	企業経営者、幹部の理解	9.7	7.9	9.4	13.3	9.1
	企業の現場の指導者の理解	12.5	8.9	14.5	15.9	18.2
	学長の理解・イニシアティブ	4.6	4.7	5.1	4.4	0.0
	教員の理解	13.9	13.2	16.2	14.2	0.0
	就職課の理解・イニシアティブ	7.2	5.8	6.8	10.6	0.0
	学務部の理解・イニシアティブ	2.1	2.6	2.6	0.0	9.1
	企業等からの実施要請	9.7	12.1	10.3	5.3	9.1
	学生・保護者からの実施要望	5.8	5.3	4.3	7.1	18.2
	文部省の法的な枠組み、指導	3.0	2.6	5.1	1.8	0.0
	その他	0.5	0.5	0.0	0.0	9.1
	無回答	10.2	12.6	12.0	5.3	0.0
	合計	431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q12. 推進条件・5番	公的な仲介機関	4.6	4.7	5.1	2.7	18.2
	民間の仲介機関	1.9	0.5	0.9	5.3	0.0
	公的なインターンシップ保険	6.3	6.8	5.1	7.1	0.0
	公的な資金援助	6.5	6.3	5.1	8.8	0.0
	企業経営者、幹部の理解	5.1	4.7	6.0	5.3	0.0
	企業の現場の指導者の理解	8.6	7.4	6.0	13.3	9.1
	学長の理解・イニシアティブ	3.2	2.1	2.6	4.4	18.2
	教員の理解	9.0	8.4	14.5	4.4	9.1
	就職課の理解・イニシアティブ	6.5	12.6	2.6	0.9	0.0
	学務部の理解・イニシアティブ	2.3	1.6	3.4	1.8	9.1
	企業等からの実施要請	8.8	6.3	9.4	13.3	0.0
	学生・保護者からの実施要望	13.7	16.8	11.1	10.6	18.2
	文部省の法的な枠組み、指導	10.9	8.4	11.1	14.2	18.2
	その他	0.5	0.0	0.9	0.9	0.0
無回答	12.1	13.2	16.2	7.1	0.0	
合計		431	190	117	113	11
q13.(1) 高校普通科 インターンシップの 目標は・・・	1. 仕事や職場実態認識	47.8	52.1	37.6	49.6	63.6
	2. ↑	21.3	25.3	22.2	14.2	18.2
	3. どちらとも言えない	13.9	15.3	14.5	12.4	0.0
	4. ↓	3.2	2.6	4.3	2.7	9.1
	5. 職業スキル・知識習得	1.4	1.6	1.7	0.9	0.0
	無回答	12.3	3.2	19.7	20.4	9.1
	合計	431	190	117	113	11
q13.(1) 高校商業科 インターンシップの 目標は・・・	1. 仕事や職場実態認識	36.7	23.2	54.7	40.7	36.4
	2. ↑	13.2	12.6	17.9	9.7	9.1
	3. どちらとも言えない	9.0	6.8	8.5	11.5	27.3
	4. ↓	14.2	17.9	11.1	9.7	27.3
	5. 職業スキル・知識習得	10.0	14.2	6.8	7.1	0.0
	無回答	16.9	25.3	0.9	21.2	0.0
	合計	431	190	117	113	11
q13.(1) 高校工業科 インターンシップの 目標は・・・	1. 仕事や職場実態認識	30.9	20.5	28.2	50.4	36.4
	2. ↑	8.4	7.9	8.5	9.7	0.0
	3. どちらとも言えない	7.4	5.8	6.0	9.7	27.3
	4. ↓	18.3	20.0	22.2	10.6	27.3
	5. 職業スキル・知識習得	18.1	21.1	15.4	16.8	9.1
	無回答	16.9	24.7	19.7	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
q13.(2) 高校普通科 インターンシップの 業務内容は・・・	1. 創造的、ユニーク業務	3.9	4.7	2.6	3.5	9.1
	2. ↑	7.2	6.3	7.7	8.0	9.1
	3. どちらとも言えない	22.5	21.6	21.4	23.9	36.4
	4. ↓	14.4	21.1	11.1	6.2	18.2
	5. 普段の業務	39.4	42.6	37.6	38.1	18.2
	無回答	12.5	3.7	19.7	20.4	9.1
	合計	431	190	117	113	11
q13.(2) 高校商業科 インターンシップの 業務内容は・・・	1. 創造的、ユニーク業務	3.5	3.2	3.4	3.5	9.1
	2. ↑	4.2	2.6	6.0	4.4	9.1
	3. どちらとも言えない	12.1	11.1	12.8	12.4	18.2
	4. ↓	19.0	20.0	21.4	14.2	27.3
	5. 普段の業務	44.5	38.4	55.6	44.2	36.4
	無回答	16.7	24.7	0.9	21.2	0.0
	合計	431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
q13.(2) 高校工業科 インターンシップの 業務内容は・・・	1. 創造的、ユニーク業務	3.9	3.7	3.4	4.4	9.1
	2. ↑	4.6	4.7	4.3	5.3	0.0
	3. どちらとも言えない	11.4	10.0	11.1	13.3	18.2
	4. ↓	18.3	19.5	18.8	15.0	27.3
	5. 普段の業務	44.8	37.4	42.7	59.3	45.5
	無回答	16.9	24.7	19.7	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
q13.(3) 高校普通科 スキル、知識に ついては・・・	1. 基本スキル、知識習得	5.1	3.2	9.4	4.4	0.0
	2. ↑	6.3	8.9	3.4	5.3	0.0
	3. どちらとも言えない	39.4	37.4	38.5	40.7	72.7
	4. ↓	17.6	19.5	16.2	16.8	9.1
	5. 応用スキル、知識習得	19.3	27.9	12.8	12.4	9.1
	無回答	12.3	3.2	19.7	20.4	9.1
	合計	431	190	117	113	11
q13.(3) 高校商業科 スキル、知識に ついては・・・	1. 基本スキル、知識習得	14.8	10.5	22.2	13.3	27.3
	2. ↑	14.6	16.8	12.8	11.5	27.3
	3. どちらとも言えない	21.3	17.9	20.5	26.5	36.4
	4. ↓	14.8	15.3	17.1	13.3	0.0
	5. 応用スキル、知識習得	17.6	14.7	26.5	14.2	9.1
	無回答	16.7	24.7	0.9	21.2	0.0
	合計	431	190	117	113	11
q13.(3) 高校工業科 スキル、知識に ついては・・・	1. 基本スキル、知識習得	14.8	12.6	17.9	13.3	36.4
	2. ↑	13.5	16.8	7.7	13.3	18.2
	3. どちらとも言えない	18.8	14.7	15.4	28.3	27.3
	4. ↓	15.3	14.7	17.1	15.9	0.0
	5. 応用スキル、知識習得	20.6	16.3	22.2	26.5	18.2
	無回答	16.9	24.7	19.7	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
(高・大別の インセンティブ)	高校が良い	19.7	15.3	29.9	18.6	0.0
	大学が良い	21.3	33.2	9.4	14.2	18.2
	高・大両方が良い	54.5	45.8	59.0	62.8	72.7
	両方行わない方がよい	1.2	1.6	0.9	0.9	0.0
	無回答	3.2	4.2	0.9	3.5	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q14. a 職業生活に必要な 知識・技術の習得	高校が良い	25.5	20.0	29.9	32.7	0.0
	大学が良い	11.1	16.3	9.4	4.4	9.1
	高・大両方が良い	59.4	58.4	59.0	59.3	81.8
	両方行わない方がよい	0.7	0.5	0.9	0.9	0.0
	無回答	3.2	4.7	0.9	2.7	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q14. c 生徒の学習意欲向上	高校が良い	48.7	50.5	47.9	44.2	72.7
	大学が良い	3.7	4.7	3.4	2.7	0.0
	高・大両方が良い	43.6	41.1	45.3	48.7	18.2
	両方行わない方がよい	1.2	0.5	1.7	1.8	0.0
	無回答	2.8	3.2	1.7	2.7	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q14. d 主体的な進路(進学 ・就職)意識形成	高校が良い	51.3	50.5	46.2	55.8	72.7
	大学が良い	3.9	6.3	3.4	0.9	0.0
	高・大両方が良い	42.5	40.5	49.6	39.8	27.3
	両方行わない方がよい	0.2	0.0	0.0	0.9	0.0
	無回答	2.1	2.6	0.9	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q14. e 学校における多様な カリキュラムの提供	高校が良い	16.0	14.7	17.9	14.2	36.4
	大学が良い	33.6	31.1	31.6	40.7	27.3
	高・大両方が良い	42.7	45.3	45.3	37.2	27.3
	両方行わない方がよい	3.7	4.7	2.6	3.5	0.0
	無回答	3.9	4.2	2.6	4.4	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q14. f 地域社会と学校との 交流・連携	高校が良い	39.9	35.8	41.0	46.0	36.4
	大学が良い	4.9	6.8	3.4	3.5	0.0
	高・大両方が良い	51.5	52.1	54.7	46.9	54.5
	両方行わない方がよい	0.9	1.6	0.0	0.9	0.0
	無回答	2.8	3.7	0.9	2.7	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q14. g 将来的な就職先開拓	高校が良い	10.4	3.7	11.1	21.2	9.1
	大学が良い	27.8	40.0	18.8	15.9	36.4
	高・大両方が良い	53.6	47.4	61.5	56.6	45.5
	両方行わない方がよい	5.1	4.7	7.7	3.5	0.0
	無回答	3.0	4.2	0.9	2.7	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q14. h 生産活動に寄与できる	高校が良い	12.5	8.4	15.4	16.8	9.1
	大学が良い	19.3	26.3	13.7	12.4	27.3
	高・大両方が良い	48.0	40.0	58.1	51.3	45.5
	両方行わない方がよい	16.2	20.0	11.1	15.9	9.1
	無回答	3.9	5.3	1.7	3.5	9.1
合計		431	190	117	113	11
(高・大機能分担)	高校で不足	14.6	12.6	15.4	16.8	18.2
Q15. a インターンシップ等の 職業経験的学習	大学で不足	7.7	10.0	5.1	6.2	9.1
	高・大両方不足	72.6	71.1	75.2	72.6	72.7
	両方とも不足していない	2.8	4.2	1.7	1.8	0.0
	無回答	2.3	2.1	2.6	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q15. b 一般的教養科目と職業 準備的な知識・経験 との関連づけ	高校で不足	18.6	18.9	20.5	13.3	45.5
	大学で不足	11.6	16.3	12.8	2.7	9.1
	高・大両方不足	63.3	57.9	63.2	76.1	27.3
	両方とも不足していない	2.3	3.2	0.9	2.7	0.0
	無回答	4.2	3.7	2.6	5.3	18.2
合計		431	190	117	113	11
Q15. c 最新の知識・技術に 触れる機会	高校で不足	31.6	31.1	25.6	38.1	36.4
	大学で不足	10.9	12.6	12.0	7.1	9.1
	高・大両方不足	53.4	51.6	57.3	52.2	54.5
	両方とも不足していない	2.1	2.6	3.4	0.0	0.0
	無回答	2.1	2.1	1.7	2.7	0.0
合計		431	190	117	113	11
Q15. d 産業および労働市場 一般に関する知識取得	高校で不足	27.6	25.3	33.3	25.7	27.3
	大学で不足	9.5	12.6	6.8	8.0	0.0
	高・大両方不足	58.2	56.8	56.4	61.9	63.6
	両方とも不足していない	1.9	2.6	0.9	1.8	0.0
	無回答	2.8	2.6	2.6	2.7	9.1
合計		431	190	117	113	11
Q15. e 言語、数理、IT等の 基本的スキル	高校で不足	26.7	27.9	24.8	26.5	27.3
	大学で不足	9.0	10.5	8.5	8.0	0.0
	高・大両方不足	55.2	53.2	59.8	53.1	63.6
	両方とも不足していない	6.5	6.3	4.3	9.7	0.0
	無回答	2.6	2.1	2.6	2.7	9.1
合計		431	190	117	113	11

高校集計表(学科別)

		合計	普通	商業	工業	その他
Q15. f 創造的思考, 課題解決 の能力育成	高校で不足	23.0	21.1	30.8	19.5	9.1
	大学で不足	5.8	6.3	3.4	7.1	9.1
	高・大両方不足	67.3	67.9	63.2	69.9	72.7
	両方とも不足していない	1.6	2.6	0.9	0.9	0.0
	無回答	2.3	2.1	1.7	2.7	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q15. g 責任感, 自尊心等の 人格的スキルの形成	高校で不足	17.9	19.5	17.9	15.0	18.2
	大学で不足	3.0	2.1	5.1	2.7	0.0
	高・大両方不足	75.4	73.7	75.2	77.9	81.8
	両方とも不足していない	1.9	2.6	0.9	1.8	0.0
	無回答	1.9	2.1	0.9	2.7	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q16. (高校) 充実すべき 職業体験	会社経営者等の出前授業	89.3	84.2	95.7	90.3	100.0
	職場見学	94.7	92.1	97.4	96.5	90.9
	アルバイト	27.4	22.1	32.5	30.1	36.4
	短期、無報酬インターンシップ	88.9	79.5	98.3	93.8	100.0
	長期、無報酬インターンシップ	44.3	35.3	48.7	54.9	45.5
	有報酬インターンシップ	11.4	12.1	11.1	10.6	9.1
	無回答	2.1	2.1	0.9	3.5	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q16. (高校) させたくない 職業体験	会社経営者等の出前授業	7.2	11.1	3.4	5.3	0.0
	職場見学	2.1	3.2	1.7	0.0	9.1
	アルバイト	70.5	75.8	66.7	66.4	63.6
	短期、無報酬インターンシップ	7.9	15.8	0.9	2.7	0.0
	長期、無報酬インターンシップ	52.4	61.1	49.6	40.7	54.5
	有報酬インターンシップ	86.3	85.3	88.0	85.8	90.9
	無回答	2.1	2.1	0.9	3.5	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q16. (大学) 充実すべき 職業体験	会社経営者等の出前授業	66.4	63.2	73.5	64.6	63.6
	職場見学	65.2	63.2	70.9	64.6	45.5
	アルバイト	47.6	47.4	54.7	42.5	27.3
	短期、無報酬インターンシップ	53.8	52.1	54.7	56.6	45.5
	長期、無報酬インターンシップ	56.6	50.5	65.0	59.3	45.5
	有報酬インターンシップ	32.5	39.5	26.5	27.4	27.3
	無回答	27.8	28.9	22.2	31.0	36.4
	合計	431	190	117	113	11
Q16. (大学) させたくない 職業体験	会社経営者等の出前授業	5.3	6.8	4.3	4.4	0.0
	職場見学	6.0	6.3	6.8	3.5	18.2
	アルバイト	23.2	21.1	22.2	26.5	36.4
	短期、無報酬インターンシップ	17.9	17.9	23.1	12.4	18.2
	長期、無報酬インターンシップ	15.3	20.0	12.8	9.7	18.2
	有報酬インターンシップ	39.4	31.1	51.3	41.6	36.4
	無回答	27.8	28.9	22.2	31.0	36.4
	合計	431	190	117	113	11
Q17. アルバイト観	インターンシップになる	8.1	11.6	6.8	3.5	9.1
	↑	12.8	12.6	8.5	17.7	9.1
	どちらともいえない	16.5	16.8	17.9	15.0	9.1
	↓	27.6	22.1	35.9	27.4	36.4
	インターンシップにならない	32.5	34.2	29.1	33.6	27.3
	無回答	2.6	2.6	1.7	2.7	9.1
合計	431	190	117	113	11	

高校集計表（学科別）

		合計	普通	商業	工業	その他
Q18（自由回答）						
Q19. a	17～199人	29.5	22.6	26.5	43.4	36.4
2000年3月	200～299人	32.0	26.8	40.2	33.6	18.2
卒業者数	300～928人	29.2	40.0	23.9	15.0	45.5
	無回答	9.3	10.5	9.4	8.0	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q19. b	0～20%未満	36.9	11.1	48.7	68.1	36.4
2000年4月	20%～50%未満	28.3	24.2	40.2	23.0	27.3
大学・短大等進学割合	50%～100%未満	24.8	53.7	0.9	0.0	36.4
	無回答	10.0	11.1	10.3	8.8	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q19. C	0%～15%未満	24.6	41.6	8.5	12.4	27.3
2000年4月	15%～25%未満	37.4	22.1	43.6	56.6	36.4
専門学校等進学割合	25%～52.7%	27.4	23.7	37.6	22.1	36.4
	無回答	10.7	12.6	10.3	8.8	0.0
	合計	431	190	117	113	11
Q19. d	0%～5%未満	29.5	23.7	30.8	37.2	36.4
2000年4月	5%～10%未満	7.7	13.2	4.3	1.8	9.1
浪人割合	10%～60.7%	17.4	37.9	0.9	0.0	18.2
	無回答	45.5	25.3	64.1	61.1	36.4
	合計	431	190	117	113	11
Q19. E	0%～20%未満	26.0	56.3	0.9	0.9	27.3
2000年4月	20%～50%未満	27.4	16.3	49.6	22.1	36.4
専門学校等進学割合	50%～88.3%	31.3	5.3	39.3	67.3	27.3
	無回答	15.3	22.1	10.3	9.7	9.1
	合計	431	190	117	113	11
Q19. F	0%～5%未満	54.3	57.9	47.9	55.8	45.5
2000年4月	5%～10%未満	13.0	8.9	16.2	16.8	9.1
浪人割合	10%～61.2%	16.5	12.6	21.4	16.8	27.3
	無回答	16.2	20.5	14.5	10.6	18.2
	合計	431	190	117	113	11

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q1. 学部											
人文学系	21.1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
法学系	6.8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商学・経済学系	18.1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教員養成学系	9.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学系	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工学系	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農学系	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
薬学系	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
家政学系	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(学習内容・方法) Q2. a アカデミック理論学習											
実施している	61.0	48.1	72.0	74.2	36.4	60.9	67.2	63.0	71.4	50.0	65.6
実施していない	28.4	36.4	20.0	22.7	48.5	26.1	20.4	33.3	7.1	50.0	25.0
無回答	10.6	15.6	8.0	3.0	15.2	13.0	12.4	3.7	21.4	0.0	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. b 企業説明会、ジョブ・フェア参加											
実施している	65.9	67.5	44.0	74.2	57.6	76.1	61.6	51.9	50.0	100.0	84.4
実施していない	28.4	27.3	56.0	24.2	33.3	15.2	31.2	40.7	35.7	0.0	9.4
無回答	5.6	5.2	0.0	1.5	9.1	8.7	7.3	7.4	14.3	0.0	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. c ベンチャー育成学習											
実施している	18.2	9.1	4.0	33.3	6.1	13.0	36.3	11.1	14.3	0.0	12.5
実施していない	73.7	80.5	88.0	65.2	78.8	73.9	54.8	81.5	71.4	100.0	84.4
無回答	8.1	10.4	8.0	1.5	15.2	13.0	8.9	7.4	14.3	0.0	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. d 専攻・授業自由選択											
実施している	80.6	76.6	76.0	97.0	48.5	78.3	80.9	92.6	64.3	66.7	93.8
実施していない	12.7	15.6	16.0	3.0	33.3	13.0	11.8	3.7	21.4	33.3	3.1
無回答	6.7	7.8	8.0	0.0	18.2	8.7	7.3	3.7	14.3	0.0	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. e 将来のための職業学習											
実施している	51.1	42.9	52.0	42.4	54.5	39.1	62.1	55.6	85.7	83.3	46.9
実施していない	39.7	48.1	36.0	51.5	30.3	47.8	25.8	40.7	7.1	16.7	46.9
無回答	9.2	9.1	12.0	6.1	15.2	13.0	12.1	3.7	7.1	0.0	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. f 現実課題学習											
実施している	67.6	57.1	80.0	74.2	57.6	56.5	67.5	74.1	64.3	66.7	84.4
実施していない	21.8	28.6	8.0	21.2	30.3	26.1	20.4	14.8	21.4	33.3	12.5
無回答	10.5	14.3	12.0	4.5	12.1	17.4	12.1	11.1	14.3	0.0	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. g 職場見学											
実施している	53.0	26.0	32.0	54.5	54.5	21.7	84.7	85.2	78.6	33.3	56.3
実施していない	40.3	63.6	60.0	43.9	33.3	65.2	11.3	14.8	7.1	66.7	37.5
無回答	6.7	10.4	8.0	1.5	12.1	13.0	4.0	0.0	14.3	0.0	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q2. h 企業人等による授業											
実施している	70.0	42.9	72.0	90.9	57.6	52.2	89.5	66.7	85.7	83.3	71.9
実施していない	24.7	49.4	24.0	7.6	30.3	34.8	6.5	33.3	7.1	16.7	25.0
無回答	5.3	7.8	4.0	1.5	12.1	13.0	4.0	0.0	7.1	0.0	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. i インターンシップ											
実施している	63.2	46.8	64.0	60.6	69.7	56.5	77.2	88.9	64.3	50.0	59.4
実施していない	33.5	48.1	32.0	39.4	27.3	30.4	21.2	11.1	28.6	50.0	37.5
無回答	3.3	5.2	4.0	0.0	3.0	13.0	1.6	0.0	7.1	0.0	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. j コミュニケーション能力学習											
実施している	51.1	66.2	56.0	53.0	57.6	26.1	50.5	14.8	35.7	66.7	53.1
実施していない	38.6	20.8	36.0	43.9	30.3	52.2	37.1	77.8	42.9	33.3	40.6
無回答	10.3	13.0	8.0	3.0	12.1	21.7	12.4	7.4	21.4	0.0	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. k 卒論、卒研											
実施している	92.1	92.2	52.0	98.5	87.9	91.3	96.8	100.0	92.9	100.0	96.9
実施していない	4.4	3.9	40.0	1.5	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.6	3.9	8.0	0.0	6.1	8.7	3.2	0.0	7.1	0.0	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q2. l 奉仕活動											
実施している	16.2	19.5	8.0	12.1	39.4	4.3	16.1	11.1	7.1	0.0	18.8
実施していない	74.9	68.8	84.0	84.8	51.5	78.3	73.4	81.5	78.6	100.0	75.0
無回答	8.9	11.7	8.0	3.0	9.1	17.4	10.5	7.4	14.3	0.0	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(重視する・しない) Q2. a アカデミック理論学習											
重視している	77.5	78.4	72.2	81.6	83.3	92.9	71.2	64.7	90.0	66.7	76.2
特別重視していない	17.1	18.9	22.2	14.3	8.3	7.1	16.8	29.4	0.0	33.3	23.8
重視しない	0.9	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.5	2.7	5.6	4.1	0.0	0.0	9.6	5.9	10.0	0.0	0.0
合計	223	37	18	49	12	14	42	17	10	3	21
Q2. b 企業説明会、ジョブ・フェア参加											
重視している	74.2	73.1	81.8	85.7	78.9	51.4	69.9	64.3	57.1	83.3	77.8
特別重視していない	20.4	23.1	18.2	12.2	10.5	48.6	22.3	21.4	28.6	16.7	14.8
重視しない	1.7	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
無回答	3.7	3.8	0.0	2.0	5.3	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0	7.4
合計	241	52	11	49	19	18	38	14	7	6	27
Q2. c ベンチャー育成学習											
重視している	51.9	14.3	100.0	72.7	0.0	0.0	51.1	66.7	50.0	0.0	50.0
特別重視していない	37.6	71.4	0.0	13.6	100.0	100.0	40.0	33.3	50.0	0.0	25.0
重視しない	1.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	9.0	14.3	0.0	9.1	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	25.0
合計	67	7	1	22	2	3	23	3	2	4	0
Q2. d 専攻・授業自由選択											
重視している	72.5	84.7	84.2	76.6	56.3	66.7	58.5	84.0	66.7	75.0	60.0
特別重視していない	20.0	8.5	10.5	15.6	31.3	27.8	31.6	16.0	22.2	25.0	30.0
重視しない	0.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.1	6.8	5.3	7.8	6.3	5.6	10.0	0.0	11.1	0.0	10.0
合計	294	59	19	64	16	18	50	25	9	4	30

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q2. e 将来のための職業学習											
重視している	69.3	57.6	92.3	75.0	88.9	55.6	60.2	60.0	83.3	100.0	60.0
特別重視していない	24.8	33.3	7.7	17.9	11.1	44.4	34.2	33.3	0.0	0.0	33.3
重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.0	9.1	0.0	7.1	0.0	0.0	5.6	6.7	16.7	0.0	6.7
合計	187	33	13	28	18	9	39	15	12	5	15
Q2. f 現実課題学習											
重視している	70.6	77.3	80.0	65.3	73.7	46.2	72.1	60.0	88.9	75.0	70.4
特別重視していない	25.0	18.2	20.0	28.6	21.1	53.8	23.1	35.0	0.0	25.0	25.9
重視しない	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.1	4.5	0.0	6.1	5.3	0.0	4.8	0.0	11.1	0.0	3.7
合計	247	44	20	49	19	13	42	20	9	4	27
Q2. g 職場見学											
重視している	57.4	55.0	12.5	44.4	77.8	40.0	62.9	52.2	81.8	100.0	61.1
特別重視していない	35.4	40.0	75.0	50.0	16.7	60.0	25.7	43.5	9.1	0.0	33.3
重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.2	5.0	12.5	5.6	5.6	0.0	11.4	4.3	9.1	0.0	5.6
合計	194	20	8	36	18	5	53	23	11	2	18
Q2. h 企業人等による授業											
重視している	66.1	75.8	66.7	81.7	63.2	37.5	61.9	33.3	75.0	60.0	60.9
特別重視していない	27.7	18.2	22.2	16.7	21.1	54.2	30.9	61.1	25.0	20.0	34.8
重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.3	6.1	11.1	1.7	15.8	8.3	7.2	5.6	0.0	20.0	4.3
合計	256	33	18	60	19	12	56	18	12	5	23
Q2. i インターンシップ											
重視している	67.7	69.4	62.5	77.5	56.5	57.7	68.3	62.5	77.8	66.7	68.4
特別重視していない	23.2	16.7	25.0	15.0	34.8	42.3	23.3	33.3	11.1	33.3	15.8
重視しない	1.3	0.0	0.0	2.5	4.3	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.8	13.9	12.5	5.0	4.3	0.0	6.3	4.2	11.1	0.0	15.8
合計	231	36	16	40	23	13	48	24	9	3	19
Q2. j コミュニケーション能力学習											
重視している	80.7	86.3	64.3	82.9	73.7	66.7	90.4	50.0	100.0	75.0	70.6
特別重視していない	15.0	7.8	28.6	11.4	26.3	33.3	3.2	50.0	0.0	25.0	29.4
重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.3	5.9	7.1	5.7	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	186	51	14	35	19	6	31	4	5	4	17
Q2. k 卒論、卒研											
重視している	88.7	88.7	69.2	83.1	100.0	90.5	91.7	88.9	84.6	100.0	90.3
特別重視していない	5.4	4.2	30.8	10.8	0.0	4.8	0.0	3.7	0.0	0.0	6.5
重視しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.0	7.0	0.0	6.2	0.0	4.8	8.3	7.4	15.4	0.0	3.2
合計	336	71	13	65	29	21	60	27	13	6	31
Q2. l 奉仕活動											
重視している	61.0	73.3	100.0	62.5	61.5	0.0	50.0	33.3	100.0	0.0	50.0
特別重視していない	30.5	20.0	0.0	25.0	30.8	100.0	40.0	33.3	0.0	0.0	50.0
重視しない	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
無回答	6.8	6.7	0.0	12.5	7.7	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	59	15	2	8	13	1	10	3	1	0	6

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q3. 実施状況											
現在実施している	61.1	46.8	56.0	59.1	63.6	52.2	75.5	88.9	64.3	50.0	56.3
実施に向けて計画中	5.8	3.9	4.0	7.6	3.0	4.3	9.7	0.0	0.0	16.7	9.4
実施を検討中	13.2	18.2	12.0	22.7	9.1	4.3	9.7	0.0	14.3	16.7	9.4
将来的にも考えていない	1.4	2.6	0.0	0.0	3.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特段の検討はない	15.9	26.0	28.0	9.1	18.2	21.7	5.1	7.4	21.4	16.7	15.6
不明	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.1
無回答	2.2	2.6	0.0	1.5	3.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q3. SQ1 業種											
農・林・水産業	13.1	2.6	0.0	9.1	9.1	7.7	7.6	75.0	0.0	0.0	9.5
建設業	31.0	20.5	26.7	25.0	13.6	15.4	61.8	37.5	0.0	25.0	23.8
製造業	56.5	38.5	53.3	54.5	45.5	65.4	81.7	58.3	11.1	50.0	57.1
電気ガス熱供給水道	24.7	15.4	13.3	29.5	4.5	30.8	53.6	8.3	11.1	0.0	14.3
運輸・通信	30.3	25.6	20.0	40.9	31.8	15.4	47.3	12.5	11.1	0.0	23.8
卸・小売・飲食	37.3	46.2	60.0	65.9	50.0	15.4	13.2	12.5	11.1	25.0	47.6
金融・保険	21.7	20.5	33.3	59.1	13.6	15.4	1.9	4.2	0.0	0.0	33.3
個人サービス	20.5	28.2	26.7	34.1	27.3	15.4	5.7	12.5	0.0	25.0	23.8
情報サービス	48.8	38.5	40.0	52.3	59.1	61.5	56.8	25.0	11.1	50.0	71.4
その他のサービス	38.6	38.5	40.0	43.2	72.7	34.6	16.1	20.8	88.9	25.0	52.4
官公庁	54.3	56.4	66.7	56.8	68.2	53.8	46.4	45.8	0.0	50.0	76.2
その他	10.0	10.3	33.3	11.4	4.5	11.5	5.7	0.0	0.0	0.0	23.8
無回答	0.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
Q3. SQ2 受入企業探索方法											
就職実績のある企業	42.8	35.9	53.3	40.9	36.4	23.1	59.3	41.7	22.2	50.0	38.1
教員個人の縁故	42.4	33.3	46.7	45.5	54.5	38.5	40.4	62.5	11.1	25.0	38.1
職業安定所	8.2	20.5	6.7	4.5	9.1	7.7	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8
経済団体	16.1	12.8	6.7	20.5	18.2	23.1	19.2	12.5	0.0	0.0	19.0
地域仲介団体からの依頼	38.1	41.0	33.3	43.2	27.3	46.2	54.6	25.0	0.0	75.0	14.3
P T A	0.8	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
その他	33.9	33.3	26.7	27.3	31.8	26.9	28.7	41.7	88.9	25.0	42.9
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
Q3. SQ3 実施期間											
2・3日程度	2.5	0.0	6.7	4.5	4.5	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	4.8
1週間程度	34.7	41.0	33.3	38.6	50.0	38.5	31.2	25.0	11.1	0.0	33.3
2・3週間程度	59.4	51.3	53.3	65.9	54.5	61.5	56.5	79.2	44.4	100.0	52.4
1ヶ月程度	8.2	2.6	0.0	4.5	4.5	0.0	17.0	4.2	44.4	0.0	9.5
2～6ヶ月	1.2	0.0	6.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
6ヶ月以上	1.2	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
無回答	1.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
Q3. SQ4 単位認定の有無											
専門教科の一部として認定	50.5	25.6	46.7	45.5	36.4	65.4	65.6	58.3	100.0	50.0	47.6
その他科目の一部として認定	9.5	5.1	6.7	11.4	31.8	7.7	4.1	4.2	0.0	25.0	14.3
認定せず特別活動として実施	27.5	51.3	40.0	29.5	22.7	15.4	15.1	25.0	0.0	25.0	28.6
その他	8.9	12.9	6.7	6.9	9.0	7.7	11.4	8.4	0.0	0.0	9.6
無回答	3.5	5.1	0.0	6.8	0.0	3.8	3.8	4.2	0.0	0.0	0.0
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q3. SQ5											
学部主導	27.5	12.8	46.7	36.4	22.7	23.1	18.9	20.8	88.9	0.0	38.1
学科主導	25.6	7.7	0.0	9.1	40.9	23.1	47.9	54.2	11.1	25.0	14.3
ゼミ主導	5.3	12.8	0.0	6.8	0.0	0.0	1.9	8.3	0.0	0.0	9.5
全学の就職課等	20.5	46.2	33.3	25.0	9.1	15.4	11.4	0.0	0.0	0.0	28.6
全学の学務部	19.9	20.5	13.3	31.8	4.5	38.5	14.2	29.2	0.0	25.0	14.3
その他	6.6	2.6	6.7	9.1	18.2	0.0	5.7	0.0	0.0	50.0	4.8
無回答	2.5	5.1	0.0	0.0	9.1	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
Q3. SQ6 希望生徒への指導											
1. 生徒との個人面談	62.9	74.4	53.3	77.3	59.1	50.0	58.4	50.0	22.2	75.0	71.4
2. マナー研修	64.9	59.0	46.7	79.5	77.3	73.1	56.5	50.0	77.8	100.0	66.7
3. 守秘義務の徹底	51.1	56.4	60.0	56.8	45.5	42.3	53.3	16.7	55.6	100.0	57.1
4. 受入先に関連した科目履修	12.4	12.8	13.3	18.2	9.1	0.0	7.9	8.3	44.4	50.0	4.8
5. 保険加入	83.3	79.5	86.7	86.4	77.3	100.0	85.5	87.5	44.4	100.0	81.0
6. 誓約書の提出	46.8	61.5	46.7	61.4	45.5	26.9	39.1	29.2	22.2	100.0	42.9
7. 担当教員の巡回	31.0	17.9	13.3	36.4	54.5	15.4	33.1	33.3	33.3	75.0	23.8
8. その他	8.0	12.8	13.3	13.6	9.1	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	9.5
無回答	2.1	5.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	4.8
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
Q3. SQ7 受入企業に行う事											
1. 誓約書の提出	46.3	59.0	53.3	54.5	36.4	23.1	47.0	29.2	11.1	75.0	52.4
2. 傷害・賠償保険の確認	50.4	66.7	40.0	54.5	40.9	34.6	55.8	33.3	22.2	25.0	61.9
3. レポート・報告会開催	63.8	61.5	66.7	65.9	68.2	76.9	61.8	54.2	66.7	75.0	61.9
4. ライバル社への公平性	3.7	2.6	0.0	11.4	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	9.5
5. 生徒の希望職種確認	43.9	51.3	40.0	50.0	36.4	30.8	53.0	33.3	0.0	50.0	42.9
6. トラブル窓口	47.5	51.3	60.0	52.3	50.0	30.8	48.9	29.2	22.2	0.0	66.7
7. 企業事前打ち合わせ	67.4	66.7	73.3	75.0	72.7	46.2	55.5	75.0	77.8	75.0	71.4
8. その他	7.8	0.0	0.0	13.6	18.2	0.0	7.6	0.0	0.0	25.0	19.0
無回答	3.8	7.7	0.0	2.3	4.5	0.0	4.1	4.2	0.0	0.0	4.8
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
Q3. SQ8 事故の有無											
1. 通勤中の交通事故	2.9	2.6	0.0	2.3	4.5	0.0	3.8	0.0	11.1	0.0	4.8
2. 実習中の被災	2.5	2.6	0.0	0.0	4.5	0.0	3.8	8.3	0.0	0.0	0.0
3. 過失による破損	1.2	2.6	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
4. その他の事故	2.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	5.7	4.2	0.0	0.0	0.0
5. 開発情報の漏洩	0.8	0.0	0.0	2.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 顧客情報の漏洩	0.4	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. その他	2.9	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	4.8
8. 事故はなかった	81.5	84.6	93.3	72.7	90.9	92.3	75.1	87.5	88.9	75.0	76.2
無回答	9.1	12.8	6.7	9.1	4.5	7.7	11.7	0.0	0.0	25.0	14.3
合計	244	39	15	44	22	13	53	24	9	4	21
(学生への教育効果) Q4. a 企業実態の理解											
かなり期待できる	55.7	50.6	44.0	62.1	51.5	45.7	65.6	63.0	57.1	33.3	53.1
ある程度期待できる	38.6	44.2	52.0	36.4	33.3	32.6	34.4	37.0	28.6	50.0	40.6
それほど期待できない	1.9	2.6	4.0	1.5	3.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
まったく期待できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.8	2.6	0.0	0.0	12.1	17.4	0.0	0.0	14.3	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表 (学部別)

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q 4. b 最新知識、技術接触											
かなり期待できる	20.1	22.1	12.0	19.7	12.1	21.7	28.0	18.5	28.6	33.3	9.4
ある程度期待できる	58.6	53.2	72.0	62.1	66.7	37.0	60.5	66.7	35.7	16.7	68.8
それほど期待できない	16.9	22.1	16.0	16.7	6.1	23.9	9.9	14.8	28.6	33.3	18.8
まったく期待できない	0.5	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.8	2.6	0.0	1.5	12.1	17.4	0.0	0.0	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 4. c 職業適性認識											
かなり期待できる	30.6	33.8	16.0	34.8	30.3	21.7	36.6	22.2	50.0	16.7	21.9
ある程度期待できる	54.7	58.4	68.0	54.5	42.4	50.0	50.3	63.0	35.7	66.7	59.4
それほど期待できない	10.3	3.9	16.0	10.6	15.2	10.9	13.2	14.8	0.0	0.0	12.5
まったく期待できない	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.1	2.6	0.0	0.0	12.1	17.4	0.0	0.0	14.3	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 4. d 問題発見・解決能力											
かなり期待できる	16.6	18.2	20.0	16.7	12.1	8.7	20.2	22.2	7.1	16.7	12.5
ある程度期待できる	51.1	49.4	48.0	51.5	54.5	50.0	51.6	40.7	57.1	50.0	59.4
それほど期待できない	27.1	28.6	32.0	27.3	21.2	23.9	26.6	37.0	28.6	16.7	21.9
まったく期待できない	1.1	1.3	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
無回答	4.1	2.6	0.0	1.5	12.1	17.4	1.6	0.0	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 4. e 責任感・自尊心修得											
かなり期待できる	33.7	35.1	20.0	36.4	30.3	32.6	44.1	33.3	28.6	33.3	21.9
ある程度期待できる	49.4	51.9	60.0	45.5	48.5	37.0	39.8	51.9	64.3	33.3	65.6
それほど期待できない	12.3	9.1	20.0	15.2	9.1	17.4	16.1	11.1	0.0	16.7	6.3
まったく期待できない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.1
無回答	4.1	3.9	0.0	3.0	12.1	13.0	0.0	0.0	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 4. f チームワーク等の社会的スキル											
かなり期待できる	32.6	35.1	20.0	30.3	24.2	21.7	47.0	44.4	21.4	33.3	25.0
ある程度期待できる	52.6	53.2	56.0	54.5	51.5	47.8	44.9	40.7	71.4	33.3	68.8
それほど期待できない	11.0	9.1	24.0	13.6	12.1	17.4	8.1	14.8	0.0	16.7	0.0
まったく期待できない	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
無回答	3.6	2.6	0.0	1.5	12.1	13.0	0.0	0.0	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 4. g アカデミック学力向上											
かなり期待できる	3.6	3.9	4.0	3.0	3.0	0.0	4.8	7.4	7.1	0.0	0.0
ある程度期待できる	31.8	28.6	32.0	36.4	27.3	37.0	38.2	33.3	14.3	16.7	28.1
それほど期待できない	48.3	54.5	52.0	45.5	42.4	30.4	45.4	44.4	71.4	66.7	50.0
まったく期待できない	11.4	9.1	12.0	13.6	12.1	15.2	9.9	11.1	0.0	0.0	18.8
無回答	4.9	3.9	0.0	1.5	15.2	17.4	1.6	3.7	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 4. h 専門科目の能力向上											
かなり期待できる	8.9	6.5	8.0	9.1	9.1	4.3	15.6	11.1	21.4	0.0	0.0
ある程度期待できる	39.0	29.9	36.0	43.9	30.3	39.1	47.3	44.4	42.9	0.0	46.9
それほど期待できない	39.3	48.1	48.0	34.8	42.4	28.3	29.0	44.4	28.6	83.3	37.5
まったく期待できない	7.3	13.0	8.0	9.1	3.0	10.9	3.2	0.0	0.0	0.0	9.4
無回答	5.5	2.6	0.0	3.0	15.2	17.4	4.8	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q4. i 学習を学外で応用する											
かなり期待できる	10.1	3.9	4.0	13.6	6.1	4.3	14.5	18.5	35.7	0.0	6.3
ある程度期待できる	51.3	50.6	44.0	59.1	54.5	47.8	55.1	40.7	28.6	50.0	53.1
それほど期待できない	31.7	37.7	52.0	27.3	27.3	26.1	25.5	37.0	21.4	33.3	31.3
まったく期待できない	2.5	5.2	0.0	0.0	0.0	4.3	3.2	3.7	7.1	0.0	0.0
無回答	4.4	2.6	0.0	0.0	12.1	17.4	1.6	0.0	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q4. j 欠席遅刻の減少											
かなり期待できる	12.6	11.7	8.0	13.6	15.2	8.7	13.2	14.8	21.4	0.0	12.5
ある程度期待できる	40.6	41.6	44.0	40.9	27.3	45.7	54.3	22.2	35.7	16.7	40.6
それほど期待できない	37.4	39.0	44.0	42.4	42.4	32.6	22.8	48.1	28.6	66.7	34.4
まったく期待できない	4.9	5.2	4.0	1.5	3.0	0.0	8.1	11.1	7.1	0.0	6.3
無回答	4.4	2.6	0.0	1.5	12.1	13.0	1.6	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q4. k 就職先発見の手助け											
かなり期待できる	15.6	20.8	0.0	10.6	18.2	13.0	24.2	11.1	28.6	0.0	9.4
ある程度期待できる	59.5	62.3	76.0	72.7	48.5	45.7	53.0	44.4	57.1	83.3	56.3
それほど期待できない	19.1	14.3	20.0	12.1	21.2	28.3	19.6	40.7	7.1	0.0	25.0
まったく期待できない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.7	0.0	0.0	0.0
無回答	5.2	2.6	4.0	4.5	12.1	13.0	1.6	0.0	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q4. l 就職に必要なスキル修得											
かなり期待できる	9.6	15.6	4.0	6.1	9.1	4.3	12.9	7.4	14.3	0.0	6.3
ある程度期待できる	43.6	46.8	36.0	50.0	33.3	39.1	50.3	33.3	57.1	33.3	34.4
それほど期待できない	39.4	33.8	56.0	37.9	42.4	34.8	33.6	51.9	21.4	50.0	50.0
まったく期待できない	2.7	1.3	4.0	4.5	3.0	4.3	1.6	3.7	0.0	0.0	3.1
無回答	4.7	2.6	0.0	1.5	12.1	17.4	1.6	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q4. m 職業資格取得											
かなり期待できる	4.4	2.6	0.0	3.0	9.1	0.0	1.6	3.7	42.9	0.0	3.1
ある程度期待できる	26.9	32.5	32.0	27.3	27.3	17.4	30.9	11.1	28.6	16.7	21.9
それほど期待できない	55.5	57.1	60.0	59.1	42.4	60.9	55.6	66.7	14.3	50.0	59.4
まったく期待できない	8.9	5.2	8.0	10.6	9.1	8.7	8.6	14.8	7.1	16.7	9.4
無回答	4.4	2.6	0.0	0.0	12.1	13.0	3.2	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(学校改善効果) Q5. a 欠席遅刻中退の減少											
かなり期待できる	2.7	1.3	0.0	1.5	0.0	8.7	6.5	0.0	7.1	0.0	3.1
ある程度期待できる	31.0	32.5	28.0	33.3	27.3	21.7	35.8	29.6	35.7	16.7	28.1
それほど期待できない	53.0	59.7	64.0	53.0	54.5	45.7	48.1	44.4	42.9	50.0	53.1
まったく期待できない	7.9	3.9	8.0	9.1	6.1	8.7	8.1	22.2	7.1	16.7	3.1
無回答	5.3	2.6	0.0	3.0	12.1	15.2	1.6	3.7	7.1	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q5. b 問題行動発生率減少											
かなり期待できる	4.4	7.8	4.0	4.5	0.0	0.0	3.2	3.7	14.3	0.0	3.1
ある程度期待できる	27.7	26.0	20.0	31.8	24.2	21.7	37.4	29.6	21.4	16.7	21.9
それほど期待できない	54.3	59.7	68.0	53.0	60.6	54.3	43.3	44.4	50.0	50.0	59.4
まったく期待できない	7.4	3.9	8.0	7.6	3.0	4.3	9.7	18.5	7.1	16.7	6.3
無回答	6.2	2.6	0.0	3.0	12.1	19.6	6.5	3.7	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q 5. c 進学率向上											
かなり期待できる	2.7	5.2	4.0	3.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
ある程度期待できる	18.2	15.6	8.0	15.2	9.1	13.0	34.4	18.5	35.7	16.7	12.5
それほど期待できない	62.6	66.2	76.0	65.2	72.7	58.7	50.3	66.7	35.7	50.0	65.6
まったく期待できない	10.3	10.4	12.0	10.6	6.1	10.9	8.1	7.4	21.4	16.7	12.5
無回答	6.2	2.6	0.0	6.1	12.1	17.4	2.4	7.4	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 5. d フリータの減少											
かなり期待できる	4.1	7.8	0.0	1.5	3.0	0.0	6.5	0.0	21.4	0.0	0.0
ある程度期待できる	36.6	40.3	32.0	39.4	36.4	13.0	46.0	29.6	14.3	33.3	40.6
それほど期待できない	46.7	41.6	64.0	51.5	45.5	60.9	37.9	55.6	28.6	50.0	43.8
まったく期待できない	6.4	6.5	4.0	3.0	3.0	10.9	6.5	11.1	21.4	0.0	6.3
無回答	6.2	3.9	0.0	4.5	12.1	15.2	3.2	3.7	14.3	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 5. e 職業意識の形成											
かなり期待できる	34.4	29.9	24.0	34.8	27.3	28.3	47.0	37.0	71.4	16.7	25.0
ある程度期待できる	57.6	64.9	60.0	57.6	57.6	54.3	49.7	59.3	21.4	66.7	68.8
それほど期待できない	3.2	2.6	16.0	1.5	3.0	4.3	2.4	3.7	0.0	0.0	0.0
まったく期待できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.8	2.6	0.0	6.1	12.1	13.0	0.8	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 5. f 学校でできない教育											
かなり期待できる	38.5	33.8	24.0	40.9	42.4	28.3	42.2	29.6	71.4	50.0	43.8
ある程度期待できる	49.9	50.6	64.0	45.5	45.5	45.7	54.3	66.7	14.3	33.3	50.0
それほど期待できない	6.9	11.7	12.0	6.1	3.0	13.0	3.5	3.7	7.1	0.0	3.1
まったく期待できない	0.5	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4.1	3.9	0.0	4.5	9.1	13.0	0.0	0.0	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 5. g 社会人講師の招聘容易											
かなり期待できる	5.3	7.8	4.0	4.5	6.1	4.3	1.9	7.4	14.3	0.0	3.1
ある程度期待できる	37.2	39.0	24.0	37.9	36.4	30.4	44.9	22.2	50.0	50.0	37.5
それほど期待できない	46.0	49.4	68.0	39.4	42.4	43.5	45.2	55.6	14.3	33.3	50.0
まったく期待できない	5.8	1.3	4.0	12.1	3.0	4.3	4.8	14.8	14.3	0.0	0.0
無回答	5.8	2.6	0.0	6.1	12.1	17.4	3.2	0.0	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 5. h アカデミックな理論と職業体験の関連づけ											
かなり期待できる	15.4	5.2	20.0	25.8	6.1	6.5	22.0	7.4	35.7	0.0	18.8
ある程度期待できる	51.2	45.5	40.0	42.4	54.5	54.3	60.5	74.1	35.7	50.0	56.3
それほど期待できない	26.8	40.3	36.0	28.8	27.3	21.7	17.5	14.8	21.4	33.3	15.6
まったく期待できない	1.4	3.9	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
無回答	5.2	5.2	0.0	3.0	12.1	17.4	0.0	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 5. i 教育経営点検評価											
かなり期待できる	6.0	2.6	0.0	3.0	15.2	8.7	3.2	3.7	14.3	33.3	12.5
ある程度期待できる	38.4	40.3	32.0	43.9	27.3	28.3	54.3	33.3	21.4	16.7	31.3
それほど期待できない	45.4	46.8	68.0	39.4	45.5	45.7	39.2	44.4	50.0	33.3	50.0
まったく期待できない	4.1	6.5	0.0	6.1	0.0	0.0	1.6	11.1	7.1	0.0	3.1
無回答	6.0	3.9	0.0	7.6	12.1	17.4	1.6	7.4	7.1	16.7	3.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q5. j 学校評価を高める											
かなり期待できる	8.2	11.7	4.0	15.2	3.0	4.3	4.8	7.4	14.3	0.0	3.1
ある程度期待できる	44.3	42.9	40.0	43.9	42.4	39.1	57.8	37.0	21.4	50.0	46.9
それほど期待できない	39.3	40.3	56.0	33.3	42.4	37.0	30.6	44.4	50.0	33.3	43.8
まったく期待できない	2.7	1.3	0.0	3.0	3.0	0.0	4.8	7.4	7.1	0.0	0.0
無回答	5.4	3.9	0.0	4.5	9.1	19.6	1.9	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q5. k 求人活動をスムーズ											
かなり期待できる	6.6	6.5	0.0	6.1	3.0	13.0	9.7	11.1	7.1	0.0	3.1
ある程度期待できる	51.0	61.0	52.0	50.0	48.5	34.8	59.9	25.9	42.9	66.7	46.9
それほど期待できない	35.4	29.9	44.0	34.8	39.4	37.0	25.5	59.3	35.7	16.7	40.6
まったく期待できない	2.7	0.0	4.0	6.1	0.0	0.0	3.2	3.7	7.1	0.0	3.1
無回答	4.2	2.6	0.0	3.0	9.1	15.2	1.6	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q5. l 企業との実績関係強化											
かなり期待できる	11.3	9.1	4.0	6.1	6.1	21.7	21.2	14.8	14.3	0.0	9.4
ある程度期待できる	50.5	59.7	60.0	53.0	51.5	34.8	50.8	29.6	35.7	50.0	50.0
それほど期待できない	30.6	28.6	36.0	28.8	30.3	28.3	24.7	44.4	35.7	33.3	34.4
まったく期待できない	3.0	0.0	0.0	7.6	3.0	0.0	3.2	7.4	7.1	0.0	0.0
無回答	4.5	2.6	0.0	4.5	9.1	15.2	0.0	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q5. m 教員の資質向上											
かなり期待できる	4.4	5.2	4.0	4.5	0.0	0.0	4.8	7.4	14.3	16.7	0.0
ある程度期待できる	25.5	24.7	24.0	25.8	42.4	13.0	29.3	22.2	7.1	16.7	25.0
それほど期待できない	55.7	62.3	64.0	56.1	36.4	58.7	54.3	59.3	50.0	50.0	53.1
まったく期待できない	9.2	5.2	8.0	10.6	9.1	10.9	9.9	7.4	21.4	0.0	12.5
無回答	5.2	2.6	0.0	3.0	12.1	17.4	1.6	3.7	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(企業のメリット) Q6. a 企業の事業内容PR											
かなり期待できる	18.5	18.2	4.0	16.7	15.2	21.7	26.9	29.6	7.1	0.0	18.8
ある程度期待できる	57.8	61.0	64.0	63.6	48.5	41.3	60.2	59.3	35.7	66.7	56.3
それほど期待できない	17.4	15.6	32.0	18.2	24.2	23.9	12.9	11.1	14.3	16.7	12.5
まったく期待できない	0.3	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.0	5.2	0.0	1.5	9.1	13.0	0.0	0.0	42.9	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q6. b 社会的貢献											
かなり期待できる	18.3	20.8	16.0	21.2	15.2	8.7	19.1	14.8	14.3	16.7	21.9
ある程度期待できる	60.3	61.0	64.0	60.6	57.6	60.9	64.5	77.8	21.4	66.7	50.0
それほど期待できない	14.5	13.0	16.0	16.7	18.2	17.4	16.1	3.7	14.3	0.0	15.6
まったく期待できない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.8	5.2	4.0	1.5	9.1	13.0	0.0	3.7	50.0	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q6. c 労働力としての実習生											
かなり期待できる	3.0	3.9	0.0	0.0	3.0	0.0	4.8	7.4	0.0	16.7	3.1
ある程度期待できる	29.9	40.3	20.0	30.3	36.4	13.0	34.1	22.2	14.3	16.7	25.0
それほど期待できない	51.1	45.5	68.0	56.1	45.5	58.7	51.9	55.6	28.6	50.0	46.9
まったく期待できない	9.1	3.9	12.0	12.1	6.1	15.2	7.5	14.8	14.3	0.0	9.4
無回答	6.8	6.5	0.0	1.5	9.1	13.0	1.6	0.0	42.9	16.7	15.6
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q 6. d 将来的な雇用対策											
かなり期待できる	6.6	5.2	0.0	7.6	6.1	0.0	8.1	7.4	7.1	16.7	12.5
ある程度期待できる	47.9	50.6	40.0	43.9	39.4	50.0	62.1	44.4	50.0	16.7	43.8
それほど期待できない	36.1	36.4	60.0	43.9	42.4	37.0	21.5	44.4	0.0	50.0	28.1
まったく期待できない	1.9	1.3	0.0	1.5	3.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	3.1
無回答	7.4	6.5	0.0	3.0	9.1	13.0	3.5	3.7	42.9	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 6. e 職場の活性化											
かなり期待できる	12.3	14.3	4.0	12.1	15.2	4.3	16.1	18.5	0.0	0.0	12.5
ある程度期待できる	44.2	53.2	40.0	40.9	57.6	34.8	40.9	33.3	42.9	66.7	37.5
それほど期待できない	33.8	26.0	56.0	42.4	15.2	43.5	37.9	40.7	14.3	0.0	31.3
まったく期待できない	2.2	0.0	0.0	1.5	3.0	4.3	3.2	3.7	0.0	16.7	3.1
無回答	7.4	6.5	0.0	3.0	9.1	13.0	1.9	3.7	42.9	16.7	15.6
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 6. f 産学連携によるパイプ作り											
かなり期待できる	14.2	13.0	12.0	18.2	15.2	4.3	24.2	11.1	7.1	0.0	6.3
ある程度期待できる	58.9	63.6	60.0	53.0	60.6	56.5	59.7	63.0	35.7	83.3	59.4
それほど期待できない	18.9	13.0	28.0	27.3	12.1	26.1	12.9	25.9	14.3	0.0	21.9
まったく期待できない	1.1	2.6	0.0	0.0	3.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6.8	7.8	0.0	1.5	9.1	13.0	1.6	0.0	42.9	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 6. g 産業イメージ向上											
かなり期待できる	13.3	10.4	8.0	15.2	12.1	8.7	23.4	11.1	14.3	0.0	9.4
ある程度期待できる	58.6	59.7	64.0	60.6	51.5	60.9	64.5	55.6	28.6	66.7	56.3
それほど期待できない	19.9	22.1	28.0	22.7	18.2	17.4	8.9	29.6	14.3	16.7	21.9
まったく期待できない	0.8	1.3	0.0	0.0	3.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.4	6.5	0.0	1.5	15.2	13.0	1.6	3.7	42.9	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 6. h 早期離職防止											
かなり期待できる	8.9	11.7	4.0	9.1	0.0	13.0	13.7	7.4	7.1	0.0	6.3
ある程度期待できる	39.2	39.0	36.0	42.4	42.4	41.3	49.2	29.6	14.3	33.3	31.3
それほど期待できない	40.6	40.3	60.0	40.9	42.4	32.6	32.0	48.1	35.7	50.0	40.6
まったく期待できない	4.1	1.3	0.0	6.1	6.1	0.0	4.8	11.1	0.0	0.0	6.3
無回答	7.2	7.8	0.0	1.5	9.1	13.0	0.3	3.7	42.9	16.7	15.6
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 6. i 教育活動への参画											
かなり期待できる	9.0	6.5	4.0	13.6	12.1	4.3	12.9	3.7	14.3	16.7	3.1
ある程度期待できる	49.5	55.8	40.0	42.4	51.5	50.0	59.9	51.9	35.7	33.3	40.6
それほど期待できない	32.4	31.2	56.0	37.9	27.3	32.6	23.7	33.3	7.1	33.3	37.5
まったく期待できない	2.2	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	1.6	7.4	0.0	0.0	6.3
無回答	6.9	6.5	0.0	1.5	9.1	13.0	1.9	3.7	42.9	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(コスト、障害) Q 7. a 目的意識の明確化											
問題になる	42.5	45.5	56.0	48.5	54.5	43.5	32.5	37.0	14.3	50.0	34.4
あまり問題にならない	43.8	37.7	36.0	40.9	36.4	34.8	61.0	48.1	42.9	33.3	50.0
問題にならない	8.2	9.1	8.0	7.6	0.0	8.7	4.8	11.1	35.7	0.0	9.4
無回答	5.5	7.8	0.0	3.0	9.1	13.0	1.6	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q 7. b 事前指導が煩雑											
問題になる	43.7	50.6	36.0	53.0	36.4	28.3	32.0	51.9	35.7	66.7	46.9
あまり問題にならない	45.6	39.0	56.0	40.9	54.5	45.7	58.1	44.4	35.7	16.7	40.6
問題にならない	6.6	6.5	8.0	4.5	0.0	13.0	8.3	3.7	21.4	0.0	6.3
無回答	4.1	3.9	0.0	1.5	9.1	13.0	1.6	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. c 服装の指導が大変											
問題になる	9.2	6.5	0.0	9.1	9.1	13.0	10.8	7.4	21.4	16.7	12.5
あまり問題にならない	63.3	67.5	72.0	69.7	72.7	39.1	56.5	63.0	57.1	50.0	59.4
問題にならない	23.4	22.1	28.0	19.7	9.1	34.8	31.2	29.6	14.3	16.7	21.9
無回答	4.1	3.9	0.0	1.5	9.1	13.0	1.6	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. d 対応する科目の用意が大変											
問題になる	26.6	51.9	12.0	22.7	21.2	26.1	14.8	18.5	21.4	16.7	25.0
あまり問題にならない	45.9	27.3	64.0	48.5	57.6	43.5	47.8	63.0	42.9	50.0	43.8
問題にならない	23.0	15.6	24.0	27.3	9.1	17.4	37.1	18.5	28.6	16.7	25.0
無回答	4.4	5.2	0.0	1.5	12.1	13.0	0.3	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. e 必修科目のアレンジが困難											
問題になる	67.1	71.4	68.0	75.8	57.6	60.9	69.1	55.6	21.4	83.3	75.0
あまり問題にならない	18.9	19.5	32.0	16.7	18.2	13.0	16.1	29.6	35.7	0.0	9.4
問題にならない	8.8	3.9	0.0	6.1	12.1	8.7	11.6	14.8	35.7	0.0	9.4
無回答	5.2	5.2	0.0	1.5	12.1	17.4	3.2	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. f 1週間程度だとアレンジが困難											
問題になる	33.7	45.5	40.0	42.4	18.2	39.1	22.8	33.3	21.4	33.3	21.9
あまり問題にならない	46.5	39.0	52.0	42.4	54.5	30.4	55.9	48.1	35.7	50.0	56.3
問題にならない	13.2	10.4	4.0	12.1	15.2	17.4	16.1	14.8	35.7	0.0	9.4
無回答	6.6	5.2	4.0	3.0	12.1	13.0	5.1	3.7	7.1	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. g 保険の手続き、コスト負担が大変											
問題になる	25.2	32.5	24.0	21.2	24.2	13.0	22.6	25.9	42.9	33.3	21.9
あまり問題にならない	49.8	46.8	64.0	62.1	48.5	32.6	47.3	48.1	28.6	16.7	56.3
問題にならない	20.0	16.9	12.0	15.2	18.2	37.0	28.5	25.9	14.3	33.3	12.5
無回答	4.7	3.9	0.0	1.5	9.1	17.4	1.6	0.0	14.3	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. h 行政からの助成金、サポートを受けにくい											
問題になる	13.3	18.2	0.0	7.6	15.2	19.6	16.1	14.8	14.3	33.3	6.3
あまり問題にならない	47.6	53.2	72.0	48.5	39.4	26.1	40.1	51.9	42.9	33.3	53.1
問題にならない	32.2	23.4	28.0	40.9	30.3	32.6	40.3	29.6	28.6	16.7	31.3
無回答	6.9	5.2	0.0	3.0	15.2	21.7	3.5	3.7	14.3	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 7. i やる気ない学生により学校の評判を下げる											
問題になる	31.2	36.4	24.0	37.9	27.3	23.9	28.0	14.8	42.9	0.0	40.6
あまり問題にならない	46.6	37.7	64.0	45.5	51.5	41.3	49.2	59.3	42.9	50.0	40.6
問題にならない	17.3	19.5	12.0	15.2	9.1	21.7	21.2	25.9	7.1	33.3	12.5
無回答	4.9	6.5	0.0	1.5	12.1	13.0	1.6	0.0	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q7. j 無報酬は参加学生が集まらない											
問題になる	14.5	13.0	12.0	13.6	12.1	8.7	23.9	14.8	0.0	0.0	18.8
あまり問題にならない	49.5	51.9	64.0	53.0	36.4	45.7	50.3	59.3	35.7	83.3	31.3
問題にならない	31.1	28.6	24.0	31.8	42.4	32.6	24.2	25.9	50.0	0.0	43.8
無回答	4.7	5.2	0.0	1.5	9.1	13.0	1.6	0.0	14.3	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q7. k 有報酬は、アルバイトとの差別化困難											
問題になる	32.0	40.3	28.0	40.9	39.4	32.6	27.7	29.6	7.1	0.0	15.6
あまり問題にならない	46.4	41.6	60.0	40.9	39.4	41.3	48.1	48.1	50.0	66.7	59.4
問題にならない	15.1	11.7	8.0	15.2	9.1	13.0	21.0	22.2	21.4	16.7	15.6
無回答	6.6	6.5	4.0	3.0	12.1	13.0	3.2	0.0	21.4	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q7. l 学校職員の巡回											
問題になる	46.3	57.1	32.0	51.5	36.4	39.1	39.0	63.0	28.6	50.0	43.8
あまり問題にならない	36.2	20.8	60.0	34.8	51.5	28.3	44.4	25.9	42.9	33.3	37.5
問題にならない	12.5	18.2	8.0	12.1	3.0	15.2	14.8	7.4	14.3	0.0	12.5
無回答	5.0	3.9	0.0	1.5	9.1	17.4	1.9	3.7	14.3	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q7. m 企業とのトラブルは面倒											
問題になる	55.1	61.0	56.0	59.1	42.4	47.8	51.9	55.6	42.9	66.7	59.4
あまり問題にならない	33.6	28.6	32.0	36.4	42.4	21.7	39.8	33.3	35.7	16.7	31.3
問題にならない	6.6	6.5	12.0	3.0	3.0	13.0	8.1	7.4	14.3	0.0	3.1
無回答	4.7	3.9	0.0	1.5	12.1	17.4	0.3	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q7. n ライバル社との公平性に苦慮											
問題になる	14.0	14.3	8.0	16.7	15.2	21.7	6.7	14.8	14.3	33.3	15.6
あまり問題にならない	55.8	61.0	72.0	57.6	48.5	39.1	58.9	55.6	50.0	16.7	50.0
問題にならない	24.4	19.5	20.0	24.2	21.2	26.1	30.9	25.9	21.4	33.3	28.1
無回答	5.8	5.2	0.0	1.5	15.2	13.0	3.5	3.7	14.3	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q8. インターンシップ実施で学生に懸念すること											
挨拶ができない	33.9	27.3	28.0	36.4	48.5	23.9	44.1	18.5	42.9	16.7	34.4
言葉使いが悪い	31.3	24.7	24.0	34.8	45.5	28.3	33.3	22.2	35.7	33.3	34.4
服装、髪型等が乱れている	29.0	31.2	20.0	33.3	42.4	21.7	27.2	11.1	42.9	50.0	21.9
遅刻・無断欠勤が多い	23.5	26.0	8.0	30.3	36.4	17.4	20.7	7.4	35.7	0.0	25.0
積極性がない	52.1	53.2	36.0	59.1	63.6	52.2	48.9	40.7	57.1	33.3	53.1
勝手な行動をする	14.9	18.2	8.0	13.6	18.2	8.7	15.3	3.7	28.6	16.7	18.8
ミスをして報告をしない	23.2	23.4	32.0	19.7	30.3	26.1	18.5	22.2	28.6	0.0	25.0
電話の応答ができない	22.1	22.1	20.0	30.3	27.3	26.1	20.2	11.1	14.3	16.7	15.6
接客ができない	23.7	22.1	16.0	30.3	39.4	21.7	25.0	7.4	21.4	33.3	15.6
担当者との人間関係が築けない	19.6	18.2	20.0	24.2	27.3	30.4	7.3	22.2	21.4	33.3	15.6
周囲との人間関係が築けない	21.5	18.2	24.0	24.2	18.2	30.4	16.9	22.2	28.6	33.3	21.9
その他	7.1	3.9	12.0	3.0	9.1	4.3	12.9	14.8	0.0	0.0	6.3
無回答	15.7	15.6	12.0	12.1	9.1	30.4	11.6	22.2	21.4	33.3	18.8
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q9. インターンシップ実施で企業に懸念すること											
雑用しかさせてもらえない	31.5	35.1	32.0	56.1	27.3	21.7	22.6	14.8	7.1	16.7	28.1
ただ働きで学生が苦勞する	9.9	9.1	12.0	13.6	12.1	4.3	11.3	3.7	7.1	16.7	6.3
学生の事故に親身な対応なし	8.2	11.7	0.0	6.1	6.1	17.4	11.3	3.7	7.1	16.7	3.1
発達段階不適合仕事の押しつけ	27.0	33.8	32.0	25.8	18.2	41.3	26.1	11.1	21.4	16.7	28.1
学生の希望仕事を担当させない	41.7	51.9	44.0	48.5	30.3	34.8	40.9	37.0	28.6	0.0	37.5
その他	14.0	18.2	20.0	7.6	15.2	8.7	16.1	22.2	0.0	0.0	12.5
無回答	26.1	14.3	20.0	18.2	33.3	32.6	28.5	37.0	64.3	33.3	31.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q10. 企業が危惧すると思われるリスク											
事故による実習生の被災	44.8	39.0	32.0	42.4	24.2	43.5	64.0	70.4	21.4	33.3	50.0
実習生過失の機器・商品の破損	17.7	16.9	12.0	28.8	15.2	4.3	18.8	18.5	0.0	0.0	21.9
実習生による機密の漏洩	15.1	16.9	16.0	25.8	12.1	10.9	12.1	3.7	0.0	33.3	12.5
不本意実習生から職場迷惑・混乱	34.0	35.1	36.0	40.9	39.4	34.8	22.8	25.9	42.9	50.0	31.3
ミスマッチの実習生・学校側不満	34.1	37.7	36.0	42.4	33.3	26.1	26.3	40.7	35.7	16.7	25.0
担当職員の拘束による仕事遅滞	25.7	28.6	16.0	36.4	18.2	10.9	19.9	25.9	14.3	33.3	37.5
その他	2.2	2.6	0.0	1.5	3.0	0.0	4.8	0.0	7.1	0.0	0.0
無回答	6.6	5.2	4.0	3.0	9.1	17.4	5.1	0.0	21.4	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q11. 推進条件・1番											
公的な仲介機関	18.1	14.3	4.0	16.7	24.2	26.1	22.8	37.0	7.1	16.7	9.4
民間の仲介機関	1.1	0.0	0.0	1.5	3.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.1
公的なインターンシップ保険	4.7	5.2	4.0	4.5	3.0	0.0	1.6	3.7	14.3	16.7	9.4
公的な資金援助	4.1	3.9	0.0	3.0	3.0	0.0	1.6	7.4	35.7	16.7	0.0
企業経営者、幹部の理解	17.2	15.6	16.0	22.7	15.2	13.0	25.3	7.4	0.0	33.3	12.5
企業の現場の指導者の理解	7.4	13.0	16.0	4.5	0.0	8.7	3.2	11.1	0.0	0.0	9.4
学長の理解・イニシアティブ	5.2	7.8	12.0	6.1	9.1	4.3	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1
教員の理解	4.9	3.9	0.0	3.0	6.1	13.0	3.2	7.4	7.1	0.0	9.4
就職課の理解・イニシアティブ	2.5	3.9	0.0	4.5	3.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1
学務部の理解・イニシアティブ	1.9	0.0	4.0	1.5	6.1	4.3	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1
企業等からの実施要請	5.4	1.3	12.0	7.6	0.0	8.7	14.2	0.0	0.0	0.0	0.0
学生・保護者からの実施要望	3.6	5.2	4.0	0.0	3.0	4.3	4.8	0.0	0.0	0.0	9.4
文部省の法的な枠組み、指導	3.3	3.9	12.0	1.5	3.0	4.3	3.2	0.0	0.0	0.0	3.1
その他	1.6	0.0	4.0	1.5	3.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.1
無回答	19.0	22.1	12.0	21.2	18.2	13.0	11.8	22.2	35.7	16.7	21.9
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q11. 推進条件・2番											
公的な仲介機関	6.0	9.1	8.0	4.5	3.0	4.3	9.7	3.7	0.0	16.7	0.0
民間の仲介機関	3.9	2.6	0.0	4.5	6.1	0.0	5.1	14.8	0.0	0.0	0.0
公的なインターンシップ保険	7.1	2.6	4.0	6.1	9.1	8.7	11.3	14.8	7.1	0.0	6.3
公的な資金援助	7.0	10.4	8.0	6.1	9.1	2.2	6.5	0.0	7.1	16.7	6.3
企業経営者、幹部の理解	15.2	7.8	20.0	10.6	21.2	30.4	13.4	14.8	14.3	33.3	21.9
企業の現場の指導者の理解	15.1	9.1	24.0	22.7	12.1	13.0	18.0	7.4	0.0	16.7	18.8
学長の理解・イニシアティブ	4.1	7.8	4.0	3.0	6.1	0.0	4.8	0.0	7.1	0.0	0.0
教員の理解	7.8	11.7	16.0	6.1	6.1	10.9	8.1	0.0	0.0	0.0	6.3
就職課の理解・イニシアティブ	2.2	3.9	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	6.3
学務部の理解・イニシアティブ	2.1	3.9	0.0	3.0	0.0	0.0	0.8	0.0	7.1	0.0	3.1
企業等からの実施要請	6.0	7.8	0.0	6.1	0.0	13.0	8.1	7.4	14.3	0.0	0.0
学生・保護者からの実施要望	2.2	1.3	4.0	1.5	3.0	4.3	1.6	3.7	0.0	0.0	3.1
文部省の法的な枠組み、指導	1.8	1.3	0.0	1.5	6.1	0.0	0.8	3.7	0.0	0.0	3.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	19.5	20.8	12.0	22.7	18.2	13.0	11.8	22.2	42.9	16.7	25.0
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q11. 推進条件・3番											
公的な仲介機関	3.6	6.5	4.0	3.0	3.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	3.1
民間の仲介機関	2.5	0.0	4.0	1.5	3.0	0.0	3.2	3.7	0.0	16.7	6.3
公的なインターンシップ保険	5.3	3.9	4.0	6.1	3.0	13.0	8.3	7.4	0.0	0.0	0.0
公的な資金援助	5.8	6.5	8.0	6.1	9.1	0.0	8.1	3.7	0.0	0.0	3.1
企業経営者、幹部の理解	10.3	9.1	12.0	7.6	9.1	8.7	12.1	14.8	7.1	16.7	12.5
企業の現場の指導者の理解	16.8	13.0	16.0	13.6	24.2	30.4	8.6	18.5	28.6	16.7	25.0
学長の理解・イニシアティブ	6.0	1.3	12.0	15.2	3.0	4.3	8.1	0.0	0.0	0.0	3.1
教員の理解	10.7	14.3	16.0	3.0	15.2	13.0	9.7	14.8	0.0	16.7	9.4
就職課の理解・イニシアティブ	2.1	2.6	4.0	3.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	3.1
学務部の理解・イニシアティブ	1.6	3.9	0.0	1.5	0.0	4.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
企業等からの実施要請	6.3	9.1	4.0	7.6	9.1	0.0	6.5	7.4	0.0	0.0	3.1
学生・保護者からの実施要望	2.7	1.3	0.0	1.5	0.0	4.3	6.5	0.0	7.1	16.7	3.1
文部省の法的な枠組み、指導	1.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	7.1	0.0	0.0
その他	0.5	0.0	0.0	1.5	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	23.9	24.7	16.0	28.8	21.2	17.4	15.1	29.6	50.0	16.7	28.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q11. 推進条件・4番											
公的な仲介機関	4.7	5.2	0.0	4.5	6.1	13.0	3.2	7.4	0.0	0.0	3.1
民間の仲介機関	1.1	0.0	0.0	0.0	3.0	8.7	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
公的なインターンシップ保険	6.1	10.4	8.0	1.5	3.0	0.0	8.3	3.7	0.0	0.0	12.5
公的な資金援助	6.2	3.9	8.0	3.0	9.1	0.0	13.7	7.4	14.3	0.0	0.0
企業経営者、幹部の理解	7.5	5.2	12.0	6.1	9.1	6.5	8.1	7.4	7.1	0.0	12.5
企業の現場の指導者の理解	9.9	10.4	16.0	9.1	9.1	4.3	11.3	14.8	0.0	16.7	6.3
学長の理解・イニシアティブ	96.0	6.5	0.0	0.0	6.1	6.5	1.6	0.0	0.0	33.3	9.4
教員の理解	15.6	11.7	20.0	21.2	18.2	21.7	9.7	11.1	14.3	16.7	18.8
就職課の理解・イニシアティブ	3.0	3.9	4.0	6.1	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学務部の理解・イニシアティブ	5.2	7.8	4.0	3.0	9.1	0.0	6.5	7.4	0.0	16.7	0.0
企業等からの実施要請	6.0	3.9	12.0	9.1	0.0	0.0	12.9	0.0	7.1	0.0	3.1
学生・保護者からの実施要望	3.2	2.6	0.0	4.5	3.0	4.3	5.6	0.0	0.0	0.0	3.1
文部省の法的な枠組み、指導	2.2	1.3	0.0	1.5	3.0	0.0	0.0	11.1	7.1	0.0	3.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	25.4	27.3	16.0	30.3	21.2	21.7	17.5	29.6	50.0	16.7	28.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q11. 推進条件・5番											
公的な仲介機関	4.4	6.5	0.0	1.5	3.0	8.7	8.1	3.7	7.1	0.0	0.0
民間の仲介機関	2.6	3.9	0.0	3.0	3.0	8.7	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
公的なインターンシップ保険	5.3	3.9	8.0	0.0	6.1	13.0	7.0	3.7	21.4	0.0	3.1
公的な資金援助	5.2	7.8	4.0	3.0	12.1	0.0	4.8	11.1	0.0	0.0	0.0
企業経営者、幹部の理解	1.6	0.0	4.0	1.5	3.0	2.2	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0
企業の現場の指導者の理解	4.7	5.2	8.0	4.5	3.0	0.0	4.8	0.0	7.1	0.0	9.4
学長の理解・イニシアティブ	1.6	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	1.6	3.7	0.0	0.0	6.3
教員の理解	7.9	9.1	12.0	7.6	6.1	0.0	4.8	7.4	0.0	50.0	12.5
就職課の理解・イニシアティブ	5.2	7.8	4.0	4.5	6.1	4.3	1.6	0.0	0.0	33.3	9.4
学務部の理解・イニシアティブ	6.3	3.9	8.0	6.1	9.1	13.0	6.5	3.7	0.0	0.0	9.4
企業等からの実施要請	9.6	9.1	8.0	10.6	9.1	8.7	9.7	18.5	0.0	0.0	9.4
学生・保護者からの実施要望	5.5	3.9	8.0	7.6	3.0	4.3	6.7	7.4	7.1	0.0	3.1
文部省の法的な枠組み、指導	11.4	9.1	16.0	10.6	15.2	15.2	16.1	7.4	7.1	0.0	6.3
その他	0.5	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	28.2	29.9	20.0	33.3	21.2	21.7	22.3	33.3	50.0	16.7	31.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
q12. (1) 大学理系 インターンシップの目標は・・・											
1. 仕事や職場実態認識	27.3	19.5	20.0	24.2	12.1	34.8	44.4	44.4	28.6	33.3	18.8
2. ↑	13.0	9.1	8.0	7.6	6.1	13.0	24.7	14.8	14.3	0.0	21.9
3. どちらとも言えない	10.1	9.1	8.0	4.5	6.1	21.7	9.7	18.5	7.1	33.3	12.5
4. ↓	17.3	13.0	28.0	18.2	33.3	13.0	16.1	11.1	14.3	0.0	15.6
5. 職業スキル・知識習得	14.6	23.4	16.0	19.7	12.1	4.3	5.1	11.1	14.3	16.7	12.5
無回答	17.8	26.0	20.0	25.8	30.3	13.0	0.0	0.0	21.4	16.7	18.8
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
q12. (1) 大学文系 インターンシップの目標は・・・											
1. 仕事や職場実態認識	49.2	54.5	56.0	65.2	24.2	34.8	52.4	51.9	0.0	33.3	50.0
2. ↑	27.2	28.6	44.0	25.8	42.4	26.1	19.6	18.5	14.3	16.7	28.1
3. どちらとも言えない	10.1	9.1	0.0	6.1	18.2	8.7	11.3	18.5	14.3	33.3	6.3
4. ↓	1.4	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	1.6	3.7	0.0	0.0	0.0
5. 職業スキル・知識習得	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	3.7	7.1	0.0	0.0
無回答	11.3	5.2	0.0	1.5	15.2	26.1	15.1	3.7	64.3	16.7	15.6
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
q12. (2) 大学理系 インターンシップの業務内容は・・・											
1. 創造的、ユニーク業務	7.8	9.1	0.0	12.1	15.2	4.3	8.9	3.7	0.0	0.0	3.1
2. ↑	13.7	13.0	24.0	12.1	15.2	17.4	18.0	7.4	0.0	0.0	12.5
3. どちらとも言えない	19.2	13.0	20.0	21.2	15.2	17.4	25.8	22.2	14.3	0.0	25.0
4. ↓	13.8	11.7	12.0	4.5	15.2	4.3	12.1	14.8	42.9	66.7	25.0
5. 普通の業務	27.1	27.3	16.0	24.2	9.1	43.5	35.2	48.1	28.6	16.7	15.6
無回答	18.4	26.0	28.0	25.8	30.3	13.0	0.0	3.7	14.3	16.7	18.8
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
q12. (2) 大学文系 インターンシップの業務内容は・・・											
1. 創造的、ユニーク業務	2.5	3.9	0.0	3.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0
2. ↑	5.8	9.1	4.0	6.1	6.1	0.0	3.2	7.4	7.1	0.0	6.3
3. どちらとも言えない	20.8	14.3	12.0	18.2	39.4	17.4	30.6	22.2	21.4	0.0	15.6
4. ↓	21.5	20.8	36.0	22.7	21.2	13.0	15.3	18.5	7.1	66.7	28.1
5. 普通の業務	38.9	46.8	48.0	48.5	24.2	43.5	29.3	48.1	7.1	16.7	34.4
無回答	10.5	5.2	0.0	1.5	9.1	26.1	15.1	3.7	57.1	16.7	15.6
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
q 1 2. (3) 大学理系 スキル、知識については・・・											
1. 基本スキル、知識習得	11.1	9.1	12.0	18.2	9.1	4.3	12.1	7.4	14.3	16.7	6.3
2. ↑	9.2	9.1	12.0	7.6	21.2	6.5	4.8	11.1	0.0	0.0	12.5
3. どちらとも言えない	20.0	22.1	24.0	12.1	12.1	39.1	17.5	33.3	7.1	16.7	21.9
4. ↓	23.9	18.2	28.0	22.7	21.2	17.4	37.4	22.2	21.4	16.7	21.9
5. 応用スキル、知識習得	17.8	15.6	4.0	13.6	6.1	19.6	28.2	25.9	35.7	33.3	15.6
無回答	18.1	26.0	20.0	25.8	30.3	13.0	0.0	0.0	21.4	16.7	21.9
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
q 1 2. (3) 大学文系 スキル、知識については・・・											
1. 基本スキル、知識習得	3.8	2.6	4.0	4.5	3.0	0.0	4.8	11.1	7.1	0.0	0.0
2. ↑	7.1	7.8	8.0	4.5	18.2	4.3	3.2	7.4	7.1	0.0	9.4
3. どちらとも言えない	30.4	32.5	36.0	28.8	24.2	41.3	36.3	33.3	21.4	16.7	15.6
4. ↓	21.1	19.5	32.0	24.2	24.2	8.7	19.6	14.8	7.1	33.3	28.1
5. 応用スキル、知識習得	26.7	32.5	20.0	36.4	21.2	19.6	21.0	29.6	0.0	33.3	28.1
無回答	10.8	5.2	0.0	1.5	9.1	26.1	15.1	3.7	57.1	16.7	18.8
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(高・大別のインセンティブ) Q 1 3. a 職業生活に必要な知識・技術の習得											
高校が良い	8.8	10.4	12.0	7.6	15.2	17.4	1.6	7.4	7.1	0.0	9.4
大学が良い	29.8	27.3	36.0	16.7	21.2	13.0	41.4	44.4	64.3	16.7	31.3
高・大両方が良い	51.6	53.2	52.0	62.1	54.5	50.0	50.0	40.7	21.4	50.0	50.0
両方行わない方がよい	3.2	2.6	0.0	7.6	0.0	6.5	1.6	7.4	0.0	0.0	0.0
無回答	6.7	6.5	0.0	6.1	9.1	13.0	5.4	0.0	7.1	33.3	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 1 3. b 現実の社会に適應する能力の育成											
高校が良い	12.1	13.0	8.0	10.6	21.2	4.3	12.9	11.1	7.1	16.7	12.5
大学が良い	21.1	15.6	32.0	19.7	15.2	15.2	29.8	22.2	28.6	0.0	21.9
高・大両方が良い	61.0	67.5	56.0	62.1	54.5	67.4	55.1	63.0	57.1	66.7	59.4
両方行わない方がよい	0.8	0.0	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.0	3.9	0.0	4.5	9.1	13.0	2.2	3.7	7.1	16.7	6.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 1 3. c 生徒の学習意欲向上											
高校が良い	15.1	20.8	8.0	13.6	18.2	8.7	11.3	14.8	14.3	0.0	21.9
大学が良い	17.1	19.5	24.0	13.6	12.1	13.0	24.7	14.8	21.4	0.0	9.4
高・大両方が良い	61.2	51.9	68.0	65.2	60.6	65.2	60.2	70.4	57.1	83.3	59.4
両方行わない方がよい	1.6	3.9	0.0	3.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.0	3.9	0.0	4.5	9.1	13.0	2.2	0.0	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 1 3. d 主体的な進路(進学・就職)意識形成											
高校が良い	12.4	18.2	12.0	6.1	18.2	13.0	14.8	11.1	7.1	16.7	3.1
大学が良い	18.7	16.9	16.0	16.7	15.2	4.3	27.7	22.2	21.4	0.0	25.0
高・大両方が良い	63.4	59.7	72.0	72.7	57.6	69.6	54.0	66.7	64.3	66.7	62.5
両方行わない方がよい	0.5	1.3	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.0	3.9	0.0	3.0	9.1	13.0	3.5	0.0	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q 1 3. e 学校における多様なカリキュラムの提供											
高校が良い	2.9	3.9	0.0	4.5	6.1	2.2	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1
大学が良い	44.8	39.0	56.0	43.9	27.3	34.8	52.4	66.7	57.1	16.7	43.8
高・大両方が良い	41.0	48.1	32.0	43.9	54.5	28.3	35.5	25.9	28.6	66.7	43.8
両方行わない方がよい	5.0	3.9	12.0	3.0	0.0	21.7	5.1	3.7	7.1	0.0	0.0
無回答	6.4	5.2	0.0	4.5	12.1	13.0	5.4	3.7	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q13. f 地域社会と学校との交流・連携											
高校が良い	8.4	10.4	4.0	9.1	15.2	8.7	4.0	3.7	7.1	0.0	12.5
大学が良い	18.6	16.9	28.0	19.7	12.1	13.0	22.6	14.8	35.7	0.0	15.6
高・大両方が良い	66.4	67.5	64.0	63.6	63.6	65.2	69.9	81.5	50.0	66.7	62.5
両方行わない方がよい	0.8	0.0	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	5.8	5.2	0.0	4.5	9.1	13.0	3.5	0.0	7.1	33.3	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q13. g 将来的な就職先開拓											
高校が良い	2.9	2.6	0.0	4.5	3.0	4.3	2.4	3.7	7.1	0.0	0.0
大学が良い	32.3	31.2	28.0	28.8	27.3	21.7	45.2	37.0	50.0	16.7	25.0
高・大両方が良い	50.6	55.8	56.0	53.0	51.5	54.3	40.9	48.1	35.7	66.7	50.0
両方行わない方がよい	9.2	6.5	16.0	10.6	9.1	6.5	9.7	11.1	0.0	0.0	12.5
無回答	5.0	3.9	0.0	3.0	9.1	13.0	1.9	0.0	7.1	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q13. h 生産活動に寄与できる											
高校が良い	4.7	9.1	4.0	4.5	3.0	4.3	1.6	3.7	0.0	33.3	0.0
大学が良い	18.5	13.0	20.0	13.6	30.3	13.0	28.2	11.1	42.9	0.0	12.5
高・大両方が良い	47.4	49.4	52.0	50.0	36.4	52.2	48.7	55.6	35.7	33.3	40.6
両方行わない方がよい	22.5	23.4	24.0	28.8	21.2	17.4	12.9	25.9	7.1	16.7	34.4
無回答	6.9	5.2	0.0	3.0	9.1	13.0	8.6	3.7	14.3	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
高校で不足	2.8	5.2	8.0	1.5	0.0	0.0	1.9	0.0	7.1	0.0	3.1
大学で不足	16.6	14.3	16.0	19.7	21.2	21.7	16.9	14.8	14.3	0.0	12.5
高・大両方不足	70.7	76.6	72.0	71.2	60.6	60.9	72.6	74.1	57.1	83.3	68.8
両方とも不足していない	3.8	0.0	4.0	3.0	9.1	4.3	3.2	7.4	7.1	0.0	6.3
無回答	6.1	3.9	0.0	4.5	9.1	13.0	5.4	3.7	14.3	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
般的教養科目と職業準備的な知識・経験との関連づけ											
高校で不足	7.7	7.8	12.0	13.6	3.0	8.7	0.0	7.4	14.3	16.7	6.3
大学で不足	20.7	19.5	28.0	15.2	15.2	13.0	23.4	29.6	35.7	16.7	21.9
高・大両方不足	62.3	68.8	60.0	60.6	72.7	60.9	69.9	55.6	28.6	50.0	50.0
両方とも不足していない	4.1	1.3	0.0	7.6	0.0	4.3	3.2	3.7	14.3	0.0	9.4
無回答	5.3	2.6	0.0	3.0	9.1	13.0	3.5	3.7	7.1	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
(高・大機能分担) Q14. a インターンシップ等の職業経験的学習											
Q14. c 最新の知識・技術に触れる機会											
高校で不足	21.4	16.9	24.0	12.1	12.1	23.9	36.3	37.0	21.4	0.0	18.8
大学で不足	13.6	16.9	16.0	15.2	12.1	13.0	8.9	18.5	14.3	0.0	9.4
高・大両方不足	49.5	59.7	52.0	60.6	63.6	39.1	34.7	25.9	28.6	83.3	43.8
両方とも不足していない	8.6	2.6	4.0	4.5	3.0	10.9	14.5	14.8	28.6	0.0	15.6
無回答	7.0	3.9	4.0	7.6	9.1	13.0	5.6	3.7	7.1	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q14. d 産業および労働市場一般に関する知識取得											
高校で不足	10.4	9.1	12.0	16.7	0.0	8.7	12.9	11.1	14.3	0.0	6.3
大学で不足	11.6	13.0	12.0	13.6	15.2	8.7	10.5	7.4	14.3	0.0	9.4
高・大両方不足	68.3	71.4	68.0	59.1	72.7	69.6	69.9	74.1	57.1	83.3	68.8
両方とも不足していない	3.3	1.3	4.0	4.5	3.0	0.0	4.8	3.7	7.1	0.0	3.1
無回答	6.3	5.2	4.0	6.1	9.1	13.0	1.9	3.7	7.1	16.7	12.5
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表（学部別）

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q14. e 言語, 数理, IT等の基本的スキル											
高校で不足	21.2	14.3	8.0	22.7	12.1	28.3	38.7	18.5	28.6	16.7	15.6
大学で不足	10.6	13.0	8.0	12.1	18.2	4.3	2.7	11.1	14.3	16.7	12.5
高・大両方不足	53.8	58.4	72.0	57.6	51.5	45.7	41.9	59.3	42.9	50.0	53.1
両方とも不足していない	8.2	9.1	8.0	3.0	9.1	8.7	12.9	7.4	7.1	0.0	9.4
無回答	6.1	5.2	4.0	4.5	9.1	13.0	3.8	3.7	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q14. f 創造的思考, 課題解決の能力育成											
高校で不足	11.0	7.8	8.0	16.7	6.1	13.0	13.2	7.4	14.3	16.7	9.4
大学で不足	15.1	14.3	12.0	9.1	21.2	17.4	17.7	11.1	21.4	16.7	18.8
高・大両方不足	66.2	68.8	76.0	68.2	63.6	56.5	65.6	70.4	57.1	50.0	62.5
両方とも不足していない	2.2	3.9	4.0	1.5	0.0	0.0	1.6	7.4	0.0	0.0	0.0
無回答	5.5	5.2	0.0	4.5	9.1	13.0	1.9	3.7	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q14. g 責任感, 自尊心等の人格的スキルの形成											
高校で不足	11.6	11.7	12.0	12.1	12.1	13.0	8.3	11.1	21.4	0.0	12.5
大学で不足	5.2	6.5	4.0	6.1	3.0	8.7	7.8	0.0	7.1	0.0	0.0
高・大両方不足	74.4	70.1	76.0	72.7	75.8	58.7	82.3	81.5	64.3	83.3	78.1
両方とも不足していない	2.1	3.9	4.0	1.5	0.0	6.5	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
無回答	6.8	7.8	4.0	7.6	9.1	13.0	1.6	3.7	7.1	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q15. (高校) 充実すべき職業体験											
会社経営者等の出前授業	60.8	50.6	72.0	60.6	60.6	47.8	75.8	77.8	35.7	66.7	53.1
職場見学	71.4	64.9	84.0	69.7	78.8	69.6	76.6	85.2	42.9	66.7	65.6
アルバイト	25.9	19.5	28.0	30.3	39.4	32.6	24.2	22.2	7.1	0.0	31.3
短期、無報酬インターンシップ	62.6	57.1	76.0	57.6	69.7	69.6	66.7	70.4	35.7	66.7	59.4
長期、無報酬インターンシップ	33.2	32.5	32.0	30.3	36.4	30.4	32.5	37.0	14.3	66.7	40.6
有報酬インターンシップ	13.7	9.1	4.0	9.1	18.2	8.7	27.4	18.5	7.1	0.0	15.6
無回答	24.4	32.5	16.0	27.3	18.2	26.1	14.5	14.8	57.1	33.3	21.9
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q15. (高校) させたくない職業体験											
会社経営者等の出前授業	12.3	14.3	12.0	10.6	21.2	21.7	8.1	3.7	7.1	0.0	15.6
職場見学	2.6	0.0	0.0	1.5	3.0	4.3	5.6	0.0	0.0	0.0	9.4
アルバイト	48.9	48.1	56.0	40.9	42.4	41.3	61.3	63.0	35.7	66.7	40.6
短期、無報酬インターンシップ	10.9	7.8	8.0	13.6	12.1	4.3	15.6	11.1	7.1	0.0	12.5
長期、無報酬インターンシップ	39.4	32.5	48.0	40.9	45.5	39.1	49.7	44.4	28.6	0.0	28.1
有報酬インターンシップ	60.8	58.4	80.0	63.6	63.6	60.9	56.5	66.7	35.7	66.7	56.3
無回答	24.4	32.5	16.0	27.3	18.2	26.1	14.5	14.8	57.1	33.3	21.9
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q15. (大学) 充実すべき職業体験											
会社経営者等の出前授業	88.4	87.0	92.0	92.4	84.8	78.3	96.5	92.6	78.6	83.3	78.1
職場見学	90.1	92.2	96.0	93.9	90.9	73.9	91.7	92.6	85.7	83.3	81.3
アルバイト	48.3	59.7	60.0	51.5	51.5	47.8	32.5	51.9	21.4	16.7	46.9
短期、無報酬インターンシップ	81.9	84.4	80.0	84.8	78.8	82.6	83.6	77.8	64.3	83.3	81.3
長期、無報酬インターンシップ	70.4	67.5	68.0	80.3	72.7	47.8	77.2	63.0	64.3	66.7	68.8
有報酬インターンシップ	32.8	33.8	32.0	21.2	30.3	26.1	53.0	40.7	14.3	16.7	28.1
無回答	5.5	2.6	4.0	3.0	9.1	17.4	1.9	3.7	14.3	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

大学集計表 (学部別)

	合計	人文	法学	商・経	教員養成	理	工	農	薬	家政	その他
Q15. (大学) させたくない職業体験											
会社経営者等の出前授業	4.1	10.4	4.0	1.5	6.1	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	6.3
職場見学	2.7	5.2	0.0	0.0	0.0	4.3	4.8	0.0	0.0	0.0	6.3
アルバイト	43.5	37.7	32.0	42.4	39.4	34.8	65.6	37.0	57.1	66.7	31.3
短期、無報酬インターンシップ	10.1	11.7	16.0	9.1	12.1	0.0	12.9	14.8	14.3	0.0	0.0
長期、無報酬インターンシップ	22.5	28.6	24.0	13.6	18.2	34.8	21.0	29.6	21.4	16.7	18.8
有報酬インターンシップ	60.3	62.3	60.0	75.8	60.6	56.5	45.2	51.9	57.1	66.7	62.5
無回答	5.5	2.6	4.0	3.0	9.1	17.4	1.9	3.7	14.3	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q16. アルバイト観											
インターンシップになる	4.9	5.2	4.0	4.5	6.1	6.5	2.4	11.1	7.1	16.7	0.0
↑	20.6	32.5	8.0	16.7	15.2	13.0	21.2	25.9	14.3	0.0	21.9
どちらともいえない	23.7	18.2	52.0	25.8	24.2	37.0	11.3	29.6	28.6	16.7	18.8
↓	23.4	19.5	16.0	27.3	18.2	17.4	36.3	18.5	7.1	16.7	28.1
インターンシップにならない	23.0	22.1	16.0	24.2	27.3	13.0	28.8	14.8	28.6	33.3	21.9
無回答	4.4	2.6	4.0	1.5	9.1	13.0	0.0	0.0	14.3	16.7	9.4
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q17 (自由回答)											
Q18. a 2000年3月学部卒業者数											
200人未満	22.6	32.5	16.0	9.1	9.1	26.1	12.1	40.7	71.4	33.3	25.0
201~400人	30.0	35.1	44.0	27.3	42.4	41.3	9.7	55.6	7.1	16.7	21.9
401人以上	27.1	14.3	16.0	33.3	30.3	4.3	64.5	0.0	7.1	33.3	25.0
無回答	20.3	18.2	24.0	30.3	18.2	28.3	13.7	3.7	14.3	16.7	28.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q18. b 2000年4月大学院等進学割合											
10%以下	35.3	54.5	60.0	62.1	30.3	0.0	11.3	0.0	0.0	83.3	28.1
10.1~50%	33.0	27.3	16.0	3.0	48.5	50.0	51.3	66.7	35.7	0.0	34.4
50.1%以上	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	23.4	29.6	50.0	0.0	9.4
無回答	22.8	19.5	24.0	33.3	24.2	28.3	17.2	7.4	14.3	33.3	28.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q18. c 2000年4月就職割合											
50%以下	27.3	26.0	16.0	0.0	15.2	50.0	41.9	55.6	71.4	0.0	25.0
50.1~60%	18.2	19.5	24.0	6.1	27.3	13.0	21.5	29.6	14.3	16.7	15.6
60.01%以上	31.8	35.1	36.0	60.6	33.3	8.7	19.4	7.4	0.0	50.0	31.3
無回答	22.8	19.5	24.0	33.3	24.2	28.3	17.2	7.4	14.3	33.3	28.1
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32
Q18. d 2000年4月無業割合											
10%以下	19.2	5.2	0.0	6.1	3.0	17.4	54.8	40.7	57.1	0.0	12.5
10~30%	35.8	35.1	24.0	36.4	42.4	50.0	24.7	51.9	21.4	33.3	43.8
30~58%	18.6	37.7	48.0	16.7	27.3	4.3	0.0	0.0	0.0	33.3	12.5
無回答	26.3	22.1	28.0	40.9	27.3	28.3	20.4	7.4	21.4	33.3	31.3
合計	365	77	25	66	33	23	62	27	14	6	32

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小売・飲食業	その他
Q 1. 回答事業所	1. 本社人事部門	31.3	19.6	34.1	35.2	32.9
	2. 本社総務部門	55.9	60.7	51.6	53.5	60.0
	3. 本社その他の部門	5.2	10.7	5.5	1.4	4.3
	4. 支社・支店の人事部門	1.0	1.8	0.0	2.8	0.0
	5. 支社・支店の総務部門	2.1	5.4	0.0	4.2	0.0
	6. 支社・支店その他の部門	0.3	0.0	0.0	0.0	1.4
	7. 工場の人事部門	0.7	0.0	2.2	0.0	0.0
	8. 工場の総務部門	1.4	0.0	4.4	0.0	0.0
	9. 工場その他の部門	0.7	1.8	1.1	0.0	0.0
	10. その他	1.0	0.0	0.0	2.8	1.4
	無回答	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0
合計		288	56	91	71	70
Q 2. 業種	農・林・水産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	19.4	100.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	31.6	0.0	100.0	0.0	0.0
	電気ガス熱供給水道	0.3	0.0	0.0	0.0	1.4
	運輸・通信	3.8	0.0	0.0	0.0	15.7
	卸・小売・飲食	24.7	0.0	0.0	100.0	0.0
	金融・保険	4.9	0.0	0.0	0.0	20.0
	個人サービス	1.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	情報サービス	3.1	0.0	0.0	0.0	12.9
	その他のサービス	3.1	0.0	0.0	0.0	12.9
	官公庁	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	8.0	0.0	0.0	0.0	32.9
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		288	56	91	71	70
Q 3. 資本金	1千万円未満	2.1	0.0	3.3	1.4	2.9
	1～5千万円未満	42.0	51.8	34.1	43.7	42.9
	0.5～1億円未満	22.6	25.0	26.4	23.9	14.3
	1～10億円未満	24.7	17.9	25.3	28.2	25.7
	10～100億円未満	5.9	5.4	5.5	0.0	12.9
	100億円以上	2.4	0.0	5.5	2.8	0.0
	無回答	0.3	0.0	0.0	0.0	1.4
合計		288	56	91	71	70
Q 4. 従業員数	100人未満	44.1	58.9	37.4	39.4	45.7
	100～299人	29.2	17.9	33.0	35.2	27.1
	300人～	16.3	7.1	19.8	14.1	21.4
	無回答	10.4	16.1	9.9	11.3	5.7
合計		288	56	91	71	70
Q 5. 実施状況	現在実施している	20.1	19.6	20.9	28.2	11.4
	具体的な計画をしている	1.7	0.0	2.2	2.8	1.4
	実施を検討している	10.1	16.1	9.9	9.9	5.7
	将来的にも考えていない	12.5	8.9	9.9	15.5	15.7
	特段の検討はしていない	49.3	50.0	51.6	36.6	58.6
	不明である	4.9	1.8	5.5	5.6	5.7
	無回答	1.4	3.6	0.0	1.4	1.4
合計		288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q 5. SQ1. 高・大の受入	高・大両方受け入れている	20.6	27.3	23.8	13.6	22.2
	高校生を受け入れている	33.3	9.1	28.6	54.5	22.2
	大学生を受け入れている	38.1	63.6	42.9	18.2	44.4
	両方とも受け入れていない	3.2	0.0	0.0	9.1	0.0
	無回答	4.8	0.0	4.8	4.5	11.1
	合計	63	11	21	22	9
Q 5. SQ2. (高校) 実施期間	2・3日程度	29.4	50.0	27.3	20.0	50.0
	1週間程度	44.1	25.0	36.4	60.0	25.0
	2・3週間程度	2.9	0.0	9.1	0.0	0.0
	1ヶ月程度	2.9	0.0	0.0	6.7	0.0
	2～6ヶ月程度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6ヶ月以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	20.6	25.0	27.3	13.3	25.0
合計	34	4	11	15	4	
Q 5. SQ3. (高校) 報酬の有無	支払った	5.9	0.0	0.0	13.3	0.0
	支払っていない	70.6	75.0	72.7	60.0	100.0
	無回答	23.5	25.0	27.3	26.7	0.0
合計	34	4	11	15	4	
Q 5. SQ2. (大学) 実施期間	2・3日程度	13.2	10.0	6.7	14.3	33.3
	1週間程度	23.7	20.0	26.7	14.3	33.3
	2・3週間程度	26.3	20.0	33.3	42.9	0.0
	1ヶ月程度	10.5	10.0	13.3	0.0	16.7
	2～6ヶ月程度	7.9	10.0	13.3	0.0	0.0
	6ヶ月以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	18.4	30.0	6.7	28.6	16.7
合計	38	10	15	7	6	
Q 5. SQ3. (大学) 報酬の有無	支払った	21.1	20.0	33.3	14.3	0.0
	支払っていない	60.5	50.0	60.0	57.1	83.3
	無回答	18.4	30.0	6.7	28.6	16.7
合計	38	10	15	7	6	
Q 5. SQ4. 貴社に対して行 われていること	誓約書の提出	34.9	18.2	47.6	36.4	22.2
	傷害・賠償保険の確認	39.7	27.3	61.9	31.8	22.2
	レポート提出・報告会の開催	54.0	18.2	61.9	72.7	33.3
	実習生の希望職種の確認	19.0	27.3	9.5	22.7	22.2
	トラブル時の窓口・連絡網確認	47.6	45.5	52.4	40.9	55.6
	その他	6.3	9.1	9.5	0.0	11.1
	無回答	12.7	18.2	14.3	9.1	11.1
合計	63	11	21	22	9	
Q 5. SQ5. (左)	社外からの依頼	79.4	90.9	85.7	77.3	55.6
	会社の独自企画	1.6	0.0	4.8	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19.0	9.1	9.5	22.7	44.4
合計	63	11	21	22	9	
Q 5. SQ5. (右上)	学校からの依頼	85.0	72.7	90.0	90.5	75.0
	教員個人からの直接依頼	12.0	10.0	22.2	0.0	20.0
	学生からの直接依頼	4.0	0.0	5.6	5.9	0.0
	職業安定所からの依頼	13.7	20.0	5.6	5.9	50.0
	経済団体等からの依頼	21.2	45.5	21.1	11.8	0.0
	地域の仲介団体からの依頼	7.8	10.0	10.5	5.9	0.0
	その他	4.0	0.0	5.6	5.9	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	50	10	18	17	5	

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q 5. SQ5. (右下)	雇用実績のある学校に依頼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の経路で学校に依頼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生徒・学生個人を公募	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	1	0	1	0	0
Q 5. SQ6. 事故経験	通勤途中での交通事故	1.6	0.0	4.8	0.0	0.0
	実習中の被災	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	機器・商品破損	1.6	0.0	4.8	0.0	0.0
	実習中のその他の事故	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	企画開発情報の漏洩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	顧客情報の漏洩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事故はなかった	95.2	100.0	90.5	100.0	88.9
	無回答	3.2	0.0	4.8	0.0	11.1
	合計	63	11	21	22	9
Q 6. A (企業側メリット) ・事業内容のPR	高校で期待できる	5.6	5.4	6.6	5.6	4.3
	大学で期待できる	12.2	12.5	6.6	12.7	18.6
	両方で期待できる	38.2	30.4	41.8	39.4	38.6
	無回答	44.1	51.8	45.1	42.3	38.6
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. B ・社会的貢献	高校で期待できる	4.9	8.9	5.5	4.2	1.4
	大学で期待できる	6.9	5.4	4.4	9.9	8.6
	両方で期待できる	36.5	26.8	35.2	40.8	41.4
	無回答	51.7	58.9	54.9	45.1	48.6
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. C ・労働力	高校で期待できる	5.6	5.4	5.5	2.8	8.6
	大学で期待できる	5.2	3.6	3.3	5.6	8.6
	両方で期待できる	11.1	12.5	13.2	11.3	7.1
	無回答	78.1	78.6	78.0	80.3	75.7
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. D ・将来雇用対策	高校で期待できる	6.9	8.9	11.0	1.4	5.7
	大学で期待できる	12.8	14.3	8.8	14.1	15.7
	両方で期待できる	24.0	26.8	25.3	22.5	21.4
	無回答	56.3	50.0	54.9	62.0	57.1
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. E ・採用情報取得	高校で期待できる	2.1	1.8	2.2	1.4	2.9
	大学で期待できる	9.0	7.1	3.3	16.9	10.0
	両方で期待できる	20.5	21.4	17.6	21.1	22.9
	無回答	68.4	69.6	76.9	60.6	64.3
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. F ・求人コスト軽減	高校で期待できる	2.4	1.8	5.5	0.0	1.4
	大学で期待できる	6.3	10.7	2.2	9.9	4.3
	両方で期待できる	11.1	10.7	8.8	12.7	12.9
	無回答	80.2	76.8	83.5	77.5	81.4
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. G ・訓練コスト軽減	高校で期待できる	5.9	1.8	8.8	5.6	5.7
	大学で期待できる	5.2	5.4	2.2	5.6	8.6
	両方で期待できる	18.8	25.0	14.3	16.9	21.4
	無回答	70.1	67.9	74.7	71.8	64.3
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q 6. H ・指定校制見直	高校で期待できる	2.4	3.6	2.2	2.8	1.4
	大学で期待できる	2.1	0.0	0.0	5.6	2.9
	両方で期待できる	2.8	5.4	1.1	2.8	2.9
	無回答	92.7	91.1	96.7	88.7	92.9
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. I ・職場活性化	高校で期待できる	6.3	5.4	12.1	4.2	1.4
	大学で期待できる	5.9	1.8	2.2	8.5	11.4
	両方で期待できる	16.7	17.9	12.1	15.5	22.9
	無回答	71.2	75.0	73.6	71.8	64.3
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. J ・従業員研修	高校で期待できる	4.9	1.8	8.8	4.2	2.9
	大学で期待できる	5.2	3.6	3.3	9.9	4.3
	両方で期待できる	19.8	23.2	16.5	26.8	14.3
	無回答	70.1	71.4	71.4	59.2	78.6
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. K ・実習生から学ぶ	高校で期待できる	1.7	0.0	1.1	1.4	4.3
	大学で期待できる	8.7	12.5	2.2	15.5	7.1
	両方で期待できる	11.1	10.7	7.7	18.3	8.6
	無回答	78.5	76.8	89.0	64.8	80.0
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. L ・学校・行政と のパイプ作り	高校で期待できる	2.4	1.8	2.2	4.2	1.4
	大学で期待できる	13.9	16.1	11.0	18.3	11.4
	両方で期待できる	13.9	16.1	19.8	11.3	7.1
	無回答	69.8	66.1	67.0	66.2	80.0
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. M ・産業に役立つ 人材育成	高校で期待できる	2.8	3.6	4.4	1.4	1.4
	大学で期待できる	4.9	7.1	2.2	4.2	7.1
	両方で期待できる	12.5	8.9	15.4	11.3	12.9
	無回答	79.9	80.4	78.0	83.1	78.6
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. N ・産業イメージ 向上	高校で期待できる	3.1	3.6	3.3	5.6	0.0
	大学で期待できる	6.6	10.7	2.2	7.0	8.6
	両方で期待できる	15.6	14.3	22.0	9.9	14.3
	無回答	74.7	71.4	72.5	77.5	77.1
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. O ・早期離職防止	高校で期待できる	4.5	5.4	8.8	0.0	2.9
	大学で期待できる	3.8	3.6	0.0	8.5	4.3
	両方で期待できる	16.0	14.3	16.5	21.1	11.4
	無回答	75.7	76.8	74.7	70.4	81.4
	合計	288	56	91	71	70
Q 6. P ・学校教育活動 への参画	高校で期待できる	7.3	7.1	5.5	12.7	4.3
	大学で期待できる	4.9	7.1	2.2	4.2	7.1
	両方で期待できる	18.1	17.9	16.5	23.9	14.3
	無回答	69.8	67.9	75.8	59.2	74.3
	合計	288	56	91	71	70
Q 7. A (実習生への 教育的効果) ・企業・技術理解	高校で期待できる	5.6	3.6	4.4	7.0	7.1
	大学で期待できる	12.8	12.5	9.9	14.1	15.7
	両方期待できる	59.7	62.5	67.0	59.2	48.6
	両方とも期待できない	9.4	7.1	5.5	9.9	15.7
	無回答	12.5	14.3	13.2	9.9	12.9
合計	288	56	91	71	70	

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q 7. B ・職業適性把握	高校で期待できる	5.9	1.8	8.8	9.9	1.4
	大学で期待できる	9.7	10.7	4.4	11.3	14.3
	両方期待できる	58.0	67.9	56.0	57.7	52.9
	両方とも期待できない	12.2	8.9	17.6	8.5	11.4
	無回答	14.2	10.7	13.2	12.7	20.0
	合計	288	56	91	71	70
Q 7. C ・社会適応能力	高校で期待できる	4.2	0.0	5.5	5.6	4.3
	大学で期待できる	9.4	8.9	6.6	7.0	15.7
	両方期待できる	53.8	46.4	61.5	57.7	45.7
	両方とも期待できない	17.0	19.6	14.3	15.5	20.0
	無回答	15.6	25.0	12.1	14.1	14.3
	合計	288	56	91	71	70
Q 7. D ・学力向上	高校で期待できる	3.5	3.6	5.5	2.8	1.4
	大学で期待できる	3.8	5.4	3.3	2.8	4.3
	両方期待できる	12.2	14.3	7.7	15.5	12.9
	両方とも期待できない	51.7	50.0	50.5	56.3	50.0
	無回答	28.8	26.8	33.0	22.5	31.4
	合計	288	56	91	71	70
Q 7. E ・学外で授業の 応用	高校で期待できる	4.9	7.1	5.5	4.2	2.9
	大学で期待できる	10.4	10.7	13.2	9.9	7.1
	両方期待できる	28.5	32.1	26.4	28.2	28.6
	両方とも期待できない	31.6	26.8	28.6	39.4	31.4
	無回答	24.7	23.2	26.4	18.3	30.0
	合計	288	56	91	71	70
Q 7. F ・就職のための スキル取得	高校で期待できる	5.6	3.6	8.8	5.6	2.9
	大学で期待できる	9.4	7.1	8.8	11.3	10.0
	両方期待できる	46.9	48.2	36.3	53.5	52.9
	両方とも期待できない	17.4	16.1	26.4	11.3	12.9
	無回答	20.8	25.0	19.8	18.3	21.4
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. A (学校改善の 効果) ・生活習慣改善	高校で期待できる	10.1	5.4	11.0	12.7	10.0
	大学で期待できる	6.6	3.6	8.8	7.0	5.7
	両方期待できる	38.9	37.5	37.4	38.0	42.9
	両方とも期待できない	20.1	30.4	19.8	16.9	15.7
	無回答	24.3	23.2	23.1	25.4	25.7
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. B ・進路指導充実	高校で期待できる	15.3	17.9	17.6	21.1	4.3
	大学で期待できる	4.9	1.8	7.7	2.8	5.7
	両方期待できる	53.1	58.9	45.1	50.7	61.4
	両方とも期待できない	10.4	5.4	11.0	11.3	12.9
	無回答	16.3	16.1	18.7	14.1	15.7
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. C ・多様なカリ キュラム提供	高校で期待できる	4.9	3.6	5.5	4.2	5.7
	大学で期待できる	10.8	12.5	8.8	14.1	8.6
	両方期待できる	28.8	30.4	23.1	31.0	32.9
	両方とも期待できない	26.0	25.0	30.8	25.4	21.4
	無回答	29.5	28.6	31.9	25.4	31.4
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q 8. D ・教育経営の 視点拡充	高校で期待できる	3.1	1.8	5.5	2.8	1.4
	大学で期待できる	10.1	8.9	11.0	8.5	11.4
	両方期待できる	30.9	30.4	27.5	33.8	32.9
	両方とも期待できない	28.5	33.9	26.4	29.6	25.7
	無回答	27.4	25.0	29.7	25.4	28.6
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. E ・学校評価向上	高校で期待できる	7.3	10.7	6.6	7.0	5.7
	大学で期待できる	2.1	3.6	1.1	2.8	1.4
	両方期待できる	26.0	30.4	27.5	23.9	22.9
	両方とも期待できない	32.6	32.1	31.9	33.8	32.9
	無回答	31.9	23.2	33.0	32.4	37.1
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. F ・求人活動円滑化	高校で期待できる	7.3	5.4	12.1	5.6	4.3
	大学で期待できる	6.3	5.4	3.3	9.9	7.1
	両方期待できる	47.6	58.9	41.8	52.1	41.4
	両方とも期待できない	14.9	7.1	19.8	8.5	21.4
	無回答	24.0	23.2	23.1	23.9	25.7
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. G ・企業との実績 関係強化	高校で期待できる	8.3	7.1	12.1	11.3	1.4
	大学で期待できる	4.5	5.4	2.2	2.8	8.6
	両方期待できる	47.9	51.8	44.0	47.9	50.0
	両方とも期待できない	15.3	14.3	18.7	14.1	12.9
	無回答	24.0	21.4	23.1	23.9	27.1
	合計	288	56	91	71	70
Q 8. H ・教職員資質向上	高校で期待できる	4.5	1.8	7.7	7.0	0.0
	大学で期待できる	2.1	5.4	1.1	0.0	2.9
	両方期待できる	17.0	17.9	8.8	21.1	22.9
	両方とも期待できない	44.8	48.2	48.4	42.3	40.0
	無回答	31.6	26.8	34.1	29.6	34.3
	合計	288	56	91	71	70
Q 9. 実施に際して 懸念されること	挨拶ができない	35.1	39.3	31.9	36.6	34.3
	言葉使いが悪い	25.0	14.3	23.1	31.0	30.0
	服装、髪型等の乱れ	34.0	30.4	27.5	38.0	41.4
	遅刻・無断欠勤が多い	15.6	12.5	18.7	12.7	17.1
	積極性がない	39.2	50.0	37.4	38.0	34.3
	勝手な行動をする	16.3	17.9	16.5	12.7	18.6
	ミスを報告をしない	21.5	17.9	23.1	22.5	21.4
	電話応答ができない	34.7	28.6	22.0	45.1	45.7
	接客ができない	28.8	30.4	12.1	46.5	31.4
	担当者と人間関係	7.3	8.9	6.6	8.5	5.7
	周囲との人間関係	19.1	16.1	24.2	12.7	21.4
	その他	7.6	5.4	12.1	4.2	7.1
	無回答	18.4	14.3	25.3	16.9	14.3
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q10. 導入により 危惧すること	事故による実習生の被災	43.4	62.5	49.5	38.0	25.7
	機器・商品の破損	1.0	0.0	2.2	1.4	0.0
	機密の漏洩	6.9	1.8	2.2	5.6	18.6
	実習生による迷惑・混乱	6.9	5.4	3.3	9.9	10.0
	ミスマッチによる不満	13.2	14.3	13.2	16.9	8.6
	担当職員の仕事遅滞	6.6	1.8	12.1	5.6	4.3
	その他（	1.7	0.0	3.3	0.0	2.9
	無回答	20.1	14.3	14.3	22.5	30.0
合計		288	56	91	71	70
合計		288	56	91	71	70
Q11. C ・多忙により十分 指導ができない	問題になる	62.2	44.6	73.6	63.4	60.0
	あまり問題にならない	21.9	33.9	15.4	21.1	21.4
	問題にならない	6.9	8.9	5.5	5.6	8.6
	無回答	9.0	12.5	5.5	9.9	10.0
合計		288	56	91	71	70
Q11. D ・アルバイトと 区別が困難	問題になる	21.2	16.1	19.8	23.9	24.3
	あまり問題にならない	41.7	46.4	42.9	40.8	37.1
	問題にならない	27.1	25.0	28.6	26.8	27.1
	無回答	10.1	12.5	8.8	8.5	11.4
合計		288	56	91	71	70
Q11. E ・コスト	問題になる	21.5	10.7	25.3	25.4	21.4
	あまり問題にならない	42.0	60.7	41.8	32.4	37.1
	問題にならない	25.7	14.3	23.1	32.4	31.4
	無回答	10.8	14.3	9.9	9.9	10.0
合計		288	56	91	71	70
Q11. F ・行政支援が 受けにくい	問題になる	10.1	8.9	13.2	8.5	8.6
	あまり問題にならない	41.0	48.2	42.9	42.3	31.4
	問題にならない	36.5	26.8	34.1	39.4	44.3
	無回答	12.5	16.1	9.9	9.9	15.7
合計		288	56	91	71	70
Q11. G ・学校が企業依存	問題になる	19.1	8.9	26.4	22.5	14.3
	あまり問題にならない	44.8	58.9	40.7	40.8	42.9
	問題にならない	24.0	16.1	24.2	26.8	27.1
	無回答	12.2	16.1	8.8	9.9	15.7
合計		288	56	91	71	70
Q11. H ・学校にノウハウ がない	問題になる	25.0	23.2	23.1	28.2	25.7
	あまり問題にならない	40.6	41.1	41.8	46.5	32.9
	問題にならない	21.5	19.6	24.2	15.5	25.7
	無回答	12.8	16.1	11.0	9.9	15.7
合計		288	56	91	71	70
Q11. I 自社にノウハウ がない	問題になる	43.4	46.4	46.2	42.3	38.6
	あまり問題にならない	29.5	19.6	28.6	35.2	32.9
	問題にならない	16.7	21.4	15.4	15.5	15.7
	無回答	10.4	12.5	9.9	7.0	12.9
合計		288	56	91	71	70
Q11. J ・スケジュールが あわない	問題になる	33.3	32.1	35.2	40.8	24.3
	あまり問題にならない	34.7	41.1	31.9	31.0	37.1
	問題にならない	19.4	14.3	23.1	15.5	22.9
	無回答	12.5	12.5	9.9	12.7	15.7
合計		288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q11.K ・トラブルが 煩わしい	問題になる	25.3	26.8	25.3	32.4	17.1
	あまり問題にならない	41.7	48.2	41.8	33.8	44.3
	問題にならない	19.8	10.7	22.0	23.9	20.0
	無回答	13.2	14.3	11.0	9.9	18.6
合計		288	56	91	71	70
Q12. 推進条件・1番	公的な資金援助	18.4	19.6	16.5	15.5	22.9
	企業経営者、幹部の理解	26.7	30.4	20.9	28.2	30.0
	企業の現場の指導者の理解	15.6	16.1	22.0	15.5	7.1
	学校長・学長の理解等	1.4	0.0	1.1	2.8	1.4
	仲介機関からの実施の要請	2.1	1.8	0.0	2.8	4.3
	学校からの実施の要請	4.5	5.4	3.3	5.6	4.3
	生徒・学生の実施要望	8.0	10.7	9.9	5.6	5.7
	実習生の事前研修	5.9	3.6	8.8	5.6	4.3
	法的な枠組み、指導	8.3	8.9	11.0	7.0	5.7
	その他	2.1	0.0	2.2	4.2	1.4
	無回答	6.9	3.6	4.4	7.0	12.9
合計		288	56	91	71	70
Q12. 推進条件・2番	公的な資金援助	3.8	3.6	3.3	5.6	2.9
	企業経営者、幹部の理解	22.2	25.0	19.8	19.7	25.7
	企業の現場の指導者の理解	26.0	26.8	24.2	26.8	27.1
	学校長・学長の理解等	4.5	1.8	5.5	8.5	1.4
	仲介機関からの実施の要請	2.1	0.0	2.2	4.2	1.4
	学校からの実施の要請	10.4	12.5	11.0	9.9	8.6
	生徒・学生の実施要望	7.3	5.4	12.1	5.6	4.3
	実習生の事前研修	11.8	17.9	13.2	5.6	11.4
	法的な枠組み、指導	2.8	1.8	2.2	4.2	2.9
	その他	0.7	1.8	0.0	1.4	0.0
	無回答	8.3	3.6	6.6	8.5	14.3
合計		288	56	91	71	70
Q12. 推進条件・3番	公的な資金援助	5.9	7.1	6.6	5.6	4.3
	企業経営者、幹部の理解	5.2	0.0	5.5	12.7	1.4
	企業の現場の指導者の理解	14.9	17.9	12.1	12.7	18.6
	学校長・学長の理解等	7.6	10.7	5.5	7.0	8.6
	仲介機関からの実施の要請	2.8	5.4	1.1	2.8	2.9
	学校からの実施の要請	13.5	19.6	14.3	11.3	10.0
	生徒・学生の実施要望	16.0	14.3	19.8	14.1	14.3
	実習生の事前研修	14.9	10.7	17.6	15.5	14.3
	法的な枠組み、指導	4.5	1.8	6.6	2.8	5.7
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	14.6	12.5	11.0	15.5	20.0
合計		288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q12. 推進条件・4番	公的な資金援助	6.3	5.4	5.5	7.0	7.1
	企業経営者、幹部の理解	7.3	10.7	9.9	5.6	2.9
	企業の現場の指導者の理解	7.6	3.6	8.8	11.3	5.7
	学校長・学長の理解等	6.6	7.1	4.4	5.6	10.0
	仲介機関からの実施の要請	4.2	3.6	6.6	0.0	5.7
	学校からの実施の要請	8.0	10.7	4.4	12.7	5.7
	生徒・学生の実施要望	15.6	23.2	12.1	15.5	14.3
	実習生の事前研修	14.9	12.5	12.1	18.3	17.1
	法的な枠組み、指導	7.6	5.4	14.3	2.8	5.7
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	21.9	17.9	22.0	21.1	25.7
	合計	288	56	91	71	70
Q12. 推進条件・5番	公的な資金援助	12.8	17.9	13.2	11.3	10.0
	企業経営者、幹部の理解	3.1	1.8	3.3	4.2	2.9
	企業の現場の指導者の理解	6.6	8.9	11.0	2.8	2.9
	学校長・学長の理解等	5.6	5.4	4.4	7.0	5.7
	仲介機関からの実施の要請	6.6	1.8	5.5	12.7	5.7
	学校からの実施の要請	9.7	12.5	11.0	4.2	11.4
	生徒・学生の実施要望	5.9	5.4	5.5	5.6	7.1
	実習生の事前研修	9.0	7.1	4.4	11.3	14.3
	法的な枠組み、指導	11.1	16.1	8.8	14.1	7.1
	その他	1.0	3.6	1.1	0.0	0.0
	無回答	28.5	19.6	31.9	26.8	32.9
	合計	288	56	91	71	70
q13.(1) 目標は・・・ 高校普通科	1. 仕事や職場実態を知る	42.4	37.5	39.6	53.5	38.6
	2. ↑	21.2	28.6	26.4	12.7	17.1
	3. どちらとも言えない	24.0	19.6	24.2	21.1	30.0
	4. ↓	1.7	0.0	1.1	1.4	4.3
	5. 職業スキル・知識習得	3.8	10.7	1.1	2.8	2.9
	無回答	6.9	3.6	7.7	8.5	7.1
	合計	288	56	91	71	70
q13.(1) 高校商業科	1. 仕事や職場実態を知る	33.3	26.8	31.9	39.4	34.3
	2. ↑	18.4	23.2	23.1	8.5	18.6
	3. どちらとも言えない	18.1	12.5	19.8	18.3	20.0
	4. ↓	13.5	21.4	11.0	14.1	10.0
	5. 職業スキル・知識習得	9.0	10.7	5.5	11.3	10.0
	無回答	7.6	5.4	8.8	8.5	7.1
	合計	288	56	91	71	70
q13.(1) 高校工業科	1. 仕事や職場実態を知る	30.2	26.8	37.4	26.8	27.1
	2. ↑	10.4	8.9	11.0	8.5	12.9
	3. どちらとも言えない	13.2	5.4	12.1	16.9	17.1
	4. ↓	21.5	28.6	19.8	18.3	21.4
	5. 職業スキル・知識習得	19.8	28.6	15.4	22.5	15.7
	無回答	4.9	1.8	4.4	7.0	5.7
	合計	288	56	91	71	70
q13.(1) 大学理系	1. 仕事や職場実態を知る	22.6	21.4	24.2	22.5	21.4
	2. ↑	7.6	7.1	9.9	4.2	8.6
	3. どちらとも言えない	14.9	10.7	14.3	14.1	20.0
	4. ↓	19.4	25.0	18.7	19.7	15.7
	5. 職業スキル・知識習得	27.8	32.1	24.2	29.6	27.1
	無回答	7.6	3.6	8.8	9.9	7.1
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q13.(1) 大学文系	1. 仕事や職場実態を知る	38.5	32.1	41.8	43.7	34.3
	2. ↑	18.1	23.2	19.8	18.3	11.4
	3. どちらとも言えない	21.9	19.6	20.9	19.7	27.1
	4. ↓	6.3	7.1	6.6	4.2	7.1
	5. 職業スキル・知識習得	7.6	12.5	2.2	5.6	12.9
	無回答	7.6	5.4	8.8	8.5	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q13.(2) 業務は・・・ 高校普通科	1. 創造的・ユニーク	2.4	7.1	0.0	0.0	4.3
	2. ↑	3.8	3.6	1.1	5.6	5.7
	3. どちらとも言えない	28.8	39.3	25.3	22.5	31.4
	4. ↓	20.8	21.4	26.4	23.9	10.0
	5. 普通の業務	36.5	25.0	39.6	38.0	40.0
	無回答	7.6	3.6	7.7	9.9	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q13.(2) 高校商業科	1. 創造的・ユニーク	2.1	1.8	1.1	1.4	4.3
	2. ↑	4.9	3.6	2.2	5.6	8.6
	3. どちらとも言えない	17.7	19.6	16.5	12.7	22.9
	4. ↓	26.7	33.9	33.0	25.4	14.3
	5. 普通の業務	40.6	35.7	38.5	46.5	41.4
	無回答	8.0	5.4	8.8	8.5	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q13.(2) 高校工業科	1. 創造的・ユニーク	5.9	1.8	4.4	7.0	10.0
	2. ↑	6.6	1.8	5.5	9.9	8.6
	3. どちらとも言えない	16.0	10.7	15.4	14.1	22.9
	4. ↓	24.3	37.5	26.4	21.1	14.3
	5. 普通の業務	42.0	46.4	44.0	40.8	37.1
	無回答	5.2	1.8	4.4	7.0	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q13.(2) 大学理系	1. 創造的・ユニーク	10.4	5.4	13.2	11.3	10.0
	2. ↑	9.4	5.4	7.7	9.9	14.3
	3. どちらとも言えない	17.4	14.3	19.8	15.5	18.6
	4. ↓	18.8	26.8	19.8	15.5	14.3
	5. 普通の業務	36.1	44.6	30.8	38.0	34.3
	無回答	8.0	3.6	8.8	9.9	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q13.(2) 大学文系	1. 創造的・ユニーク	3.8	3.6	4.4	4.2	2.9
	2. ↑	5.6	7.1	6.6	4.2	4.3
	3. どちらとも言えない	27.1	35.7	23.1	22.5	30.0
	4. ↓	22.6	19.6	25.3	22.5	21.4
	5. 普通の業務	33.3	28.6	31.9	38.0	34.3
	無回答	7.6	5.4	8.8	8.5	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q13.(3) スキル・知識取得・ 高校普通科	1. 学校の基礎定着	3.5	7.1	0.0	5.6	2.9
	2. ↑	8.7	10.7	7.7	7.0	10.0
	3. どちらとも言えない	38.2	48.2	40.7	29.6	35.7
	4. ↓	21.9	17.9	26.4	19.7	21.4
	5. 学校で学習しないこと	20.5	12.5	17.6	29.6	21.4
	無回答	7.3	3.6	7.7	8.5	8.6
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q13. (3) 高校商業科	1. 学校の基礎定着	6.3	5.4	4.4	7.0	8.6
	2. ↑	10.8	12.5	11.0	11.3	8.6
	3. どちらとも言えない	29.2	33.9	36.3	15.5	30.0
	4. ↓	22.2	26.8	22.0	23.9	17.1
	5. 学校で学習しないこと	24.0	16.1	18.7	33.8	27.1
	無回答	7.6	5.4	7.7	8.5	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q13. (3) 高校工業科	1. 学校の基礎定着	6.6	5.4	5.5	5.6	10.0
	2. ↑	8.7	12.5	8.8	7.0	7.1
	3. どちらとも言えない	27.4	26.8	30.8	22.5	28.6
	4. ↓	22.6	26.8	24.2	22.5	17.1
	5. 学校で学習しないこと	29.2	26.8	25.3	35.2	30.0
	無回答	5.6	1.8	5.5	7.0	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q13. (3) 大学理系	1. 学校の基礎定着	4.5	3.6	5.5	1.4	7.1
	2. ↑	4.5	7.1	2.2	7.0	2.9
	3. どちらとも言えない	26.4	26.8	30.8	21.1	25.7
	4. ↓	20.5	26.8	19.8	19.7	17.1
	5. 学校で学習しないこと	35.8	30.4	33.0	40.8	38.6
	無回答	8.3	5.4	8.8	9.9	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q13. (3) 大学文系	1. 学校の基礎定着	3.5	7.1	3.3	1.4	2.9
	2. ↑	4.2	3.6	3.3	7.0	2.9
	3. どちらとも言えない	36.1	44.6	36.3	31.0	34.3
	4. ↓	22.9	23.2	25.3	15.5	27.1
	5. 学校で学習しないこと	25.7	16.1	23.1	36.6	25.7
	無回答	7.6	5.4	8.8	8.5	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q14. A (高・大別の インセンティブ) ・職業に必要な 知識・技術習得	高校がよい	14.2	12.5	19.8	11.3	11.4
	大学がよい	11.8	16.1	9.9	11.3	11.4
	両方がよい	63.2	64.3	62.6	62.0	64.3
	両方行わないほうがよい	3.1	1.8	1.1	5.6	4.3
	無回答	7.6	5.4	6.6	9.9	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q14. B ・社会対応能力	高校がよい	17.0	12.5	16.5	16.9	21.4
	大学がよい	10.4	17.9	4.4	7.0	15.7
	両方がよい	64.2	60.7	69.2	67.6	57.1
	両方行わないほうがよい	2.4	3.6	2.2	2.8	1.4
	無回答	5.9	5.4	7.7	5.6	4.3
	合計	288	56	91	71	70
Q14. C ・学習意欲向上	高校がよい	24.0	17.9	23.1	28.2	25.7
	大学がよい	3.5	3.6	4.4	2.8	2.9
	両方がよい	59.0	66.1	56.0	53.5	62.9
	両方行わないほうがよい	5.2	5.4	5.5	8.5	1.4
	無回答	8.3	7.1	11.0	7.0	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q14. D ・進路意識形成	高校がよい	26.4	26.8	28.6	25.4	24.3
	大学がよい	8.3	7.1	5.5	11.3	10.0
	両方がよい	54.2	58.9	51.6	53.5	54.3
	両方行わないほうがよい	2.1	0.0	2.2	2.8	2.9
	無回答	9.0	7.1	12.1	7.0	8.6
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q14. E ・多様なカリ キュラム提供	高校がよい	12.5	7.1	8.8	18.3	15.7
	大学がよい	18.8	25.0	16.5	21.1	14.3
	両方がよい	47.9	46.4	50.5	40.8	52.9
	両方行わないほうがよい	10.1	12.5	11.0	9.9	7.1
	無回答	10.8	8.9	13.2	9.9	10.0
	合計	288	56	91	71	70
Q14. F ・地域と学校の 交流	高校がよい	20.5	26.8	19.8	21.1	15.7
	大学がよい	8.3	12.5	5.5	8.5	8.6
	両方がよい	55.9	48.2	56.0	56.3	61.4
	両方行わないほうがよい	5.6	3.6	7.7	4.2	5.7
	無回答	9.7	8.9	11.0	9.9	8.6
	合計	288	56	91	71	70
Q14. G ・自社の雇用対策	高校がよい	8.7	8.9	9.9	7.0	8.6
	大学がよい	17.4	16.1	14.3	18.3	21.4
	両方がよい	49.0	50.0	46.2	54.9	45.7
	両方行わないほうがよい	14.9	16.1	17.6	12.7	12.9
	無回答	10.1	8.9	12.1	7.0	11.4
	合計	288	56	91	71	70
Q14. H 企業・産業PR	高校がよい	5.2	5.4	5.5	2.8	7.1
	大学がよい	10.8	10.7	12.1	12.7	7.1
	両方がよい	62.8	62.5	56.0	67.6	67.1
	両方行わないほうがよい	10.4	12.5	12.1	8.5	8.6
	無回答	10.8	8.9	14.3	8.5	10.0
	合計	288	56	91	71	70
Q14. I ・生産活動寄与	高校がよい	10.1	8.9	16.5	2.8	10.0
	大学がよい	7.6	8.9	5.5	11.3	5.7
	両方がよい	43.8	46.4	38.5	45.1	47.1
	両方行わないほうがよい	27.8	26.8	28.6	31.0	24.3
	無回答	10.8	8.9	11.0	9.9	12.9
	合計	288	56	91	71	70
Q14. J ・実習生より便益 従業員資質向上	高校がよい	6.6	7.1	6.6	7.0	5.7
	大学がよい	11.8	14.3	9.9	15.5	8.6
	両方がよい	49.3	50.0	44.0	49.3	55.7
	両方行わないほうがよい	21.5	19.6	26.4	19.7	18.6
	無回答	10.8	8.9	13.2	8.5	11.4
	合計	288	56	91	71	70
Q15. A (高・大で不足 しているもの) ・職業経験的学習	高校で不足	8.3	7.1	6.6	9.9	10.0
	大学で不足	3.8	5.4	1.1	4.2	5.7
	両方で不足	69.1	78.6	70.3	69.0	60.0
	両方とも不足していない	6.3	3.6	7.7	5.6	7.1
	無回答	12.5	5.4	14.3	11.3	17.1
	合計	288	56	91	71	70
Q15. B ・教養科目と職業 知識・経験との関連	高校で不足	13.2	17.9	11.0	15.5	10.0
	大学で不足	7.6	14.3	8.8	5.6	2.9
	両方で不足	64.6	55.4	67.0	63.4	70.0
	両方とも不足していない	4.5	7.1	1.1	5.6	5.7
	無回答	10.1	5.4	12.1	9.9	11.4
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q15. C ・最新知識・技術	高校で不足	18.1	21.4	17.6	19.7	14.3
	大学で不足	4.9	3.6	4.4	4.2	7.1
	両方で不足	50.7	42.9	56.0	47.9	52.9
	両方とも不足していない	15.6	25.0	9.9	16.9	14.3
	無回答	10.8	7.1	12.1	11.3	11.4
	合計	288	56	91	71	70
Q15. D ・産業、労働の 知識取得	高校で不足	13.2	19.6	12.1	15.5	7.1
	大学で不足	6.3	3.6	4.4	4.2	12.9
	両方で不足	62.5	57.1	65.9	60.6	64.3
	両方とも不足していない	7.3	12.5	6.6	8.5	2.9
	無回答	10.8	7.1	11.0	11.3	12.9
	合計	288	56	91	71	70
Q15. E ・言語、数理、IT 等基本的スキル	高校で不足	18.4	26.8	19.8	15.5	12.9
	大学で不足	7.6	3.6	9.9	5.6	10.0
	両方で不足	49.3	42.9	45.1	56.3	52.9
	両方とも不足していない	13.9	23.2	12.1	8.5	14.3
	無回答	10.8	3.6	13.2	14.1	10.0
	合計	288	56	91	71	70
Q15. F ・創造的思考、 課題解決能力育成	高校で不足	11.8	19.6	4.4	14.1	12.9
	大学で不足	9.4	10.7	6.6	5.6	15.7
	両方で不足	68.4	60.7	78.0	69.0	61.4
	両方とも不足していない	2.8	3.6	1.1	4.2	2.9
	無回答	7.6	5.4	9.9	7.0	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q15. G ・人格的スキル	高校で不足	7.3	7.1	4.4	7.0	11.4
	大学で不足	4.5	7.1	2.2	1.4	8.6
	両方で不足	75.7	75.0	81.3	78.9	65.7
	両方とも不足していない	5.6	8.9	5.5	1.4	7.1
	無回答	6.9	1.8	6.6	11.3	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q16. (高校) 充実すべき 職業体験	会社経営者等の出前授業	52.1	51.8	48.4	59.2	50.0
	職場見学	85.1	91.1	84.6	84.5	81.4
	アルバイト	41.3	37.5	47.3	42.3	35.7
	短期、無報酬インターンシップ	71.5	73.2	71.4	76.1	65.7
	長期、無報酬インターンシップ	53.1	58.9	57.1	38.0	58.6
	有報酬インターンシップ	36.1	33.9	35.2	38.0	37.1
	無回答	6.3	3.6	7.7	5.6	7.1
	合計	288	56	91	71	70
Q16. (高校) させたくない 職業体験	会社経営者等の出前授業	39.2	44.6	41.8	32.4	38.6
	職場見学	7.3	5.4	6.6	8.5	8.6
	アルバイト	50.3	53.6	42.9	52.1	55.7
	短期、無報酬インターンシップ	20.1	21.4	19.8	16.9	22.9
	長期、無報酬インターンシップ	39.2	37.5	34.1	54.9	31.4
	有報酬インターンシップ	55.2	57.1	54.9	56.3	52.9
	無回答	6.3	3.6	7.7	5.6	7.1
	合計	288	56	91	71	70

企業集計表（業種別）

		合計	建設業	製造業	卸・小 売・飲食 業	その他
Q16. (大学) 充実すべき 職業体験	会社経営者等の出前授業	58.7	53.6	57.1	66.2	57.1
	職場見学	79.2	80.4	80.2	77.5	78.6
	アルバイト	53.1	39.3	59.3	64.8	44.3
	短期、無報酬インターンシップ	63.9	73.2	62.6	66.2	55.7
	長期、無報酬インターンシップ	57.6	58.9	61.5	52.1	57.1
	有報酬インターンシップ	44.1	50.0	41.8	43.7	42.9
	無回答	9.4	7.1	9.9	8.5	11.4
合計		288	56	91	71	70
Q16. (大学) させたくない 職業体験	会社経営者等の出前授業	30.2	39.3	31.9	22.5	28.6
	職場見学	10.4	12.5	9.9	12.7	7.1
	アルバイト	35.4	50.0	29.7	26.8	40.0
	短期、無報酬インターンシップ	25.0	19.6	26.4	23.9	28.6
	長期、無報酬インターンシップ	31.6	33.9	27.5	38.0	28.6
	有報酬インターンシップ	44.4	39.3	47.3	47.9	41.4
	無回答	9.4	7.1	9.9	8.5	11.4
合計		288	56	91	71	70
Q17. 人材確保のために 重視する経営方針	採用活動、応募機会拡大	19.1	17.9	18.7	18.3	21.4
	採用回数増加・開催地域の拡大	15.3	7.1	16.5	14.1	21.4
	面談会、企業ガイダンス参加	30.9	30.4	31.9	32.4	28.6
	学校との長期的信頼関係構築	38.9	35.7	52.7	23.9	38.6
	インターンシップ利用採用活動	11.8	14.3	16.5	5.6	10.0
	募集・採用情報を広く提供	32.3	26.8	29.7	35.2	37.1
	イメージアップの広報活動	13.5	7.1	12.1	14.1	20.0
	ホーム・ページで情報発信	47.6	44.6	49.5	45.1	50.0
	能力開発制度の充実	29.2	21.4	34.1	32.4	25.7
	人事労務管理制度の導入	14.9	14.3	20.9	16.9	5.7
	職場、福利、厚生施設の充実	31.3	35.7	35.2	25.4	28.6
	特に方策は考えていない	10.1	19.6	5.5	11.3	7.1
	その他	2.1	5.4	0.0	2.8	1.4
無回答	5.6	3.6	4.4	5.6	8.6	
合計		288	56	91	71	70
Q18. アルバイト観	1. インターンシップになりうる	20.1	14.3	17.6	32.4	15.7
	2. ↑	22.2	23.2	22.0	23.9	20.0
	3. どちらとも言えない	22.2	25.0	20.9	21.1	22.9
	4. ↓	14.2	8.9	22.0	9.9	12.9
	5. なりえない	13.2	19.6	12.1	7.0	15.7
	無回答	8.0	8.9	5.5	5.6	12.9
合計		288	56	91	71	70

「高校自由回答」

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 企業と学校の連携、企業がどれだけ主旨に理解を示してくれるか？法制化なども考えるべき。アメリカで導入している school-to-work などの導入を考えてはどうか？文部省の主導で。
(〈実施中〉普通高校・進路指導部)
- 我が校ではアルバイト経験者やアルバイトを現在も持っている生徒の数は多い。仕事の内容より報酬が目的であるから、気に入らないことがあるとすぐに辞めてしまう。「喧嘩して辞めた。」という者が多数いる。そんな状況で職場体験はどれくらい意味を持つかはわからない。しかし、3年生の2学期はそのような意識も変化してくるので、遅いがそれからの方が効果はあると思う。
(〈実施しない〉普通高校・進路)
- 学校5日制に伴って、土日のあり方を含め高校生活をどう過ごすか、大きな問題である。学校のカリキュラムと学力の向上にかかわって、インターンシップの時間の確保が難しい。長期休暇中におもいきって取れるかどうかである。とにかく大胆にやらないとなかなか大変である。
(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導)
- 本県では20校近くが実施していますが、(職業高校が主) その多くの理解者は相当な時間と労力を割いて計画しています。しかも受け入れてくれる企業は少なく、そこで体験できる仕事の内容も子供達の希望に応じられるような多彩さはありません。現在多くの企業がアルバイト・パート採用しており子供達もアルバイトをやり、その中でかなりの責任を要求されつつ働いております。インターンシップ(わずかに2、3日)で得られる職業意識とは比較にはならない程です。アルバイトのやらせ方については学校は家庭ともっと連携が必要だとは思いますが、インターンシップの導入は学校内で対応するには教員は多忙すぎます。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)
- 今年度、本県では2つの地区でインターンシップ制が導入されました。しかし、普通科での導入は行われていません。特に、郡部で企業等雇用先が遠距離の場合の交通手段の費用、時間、事故等の面での対応に問題があります。現在、進路研究や「総合的な学習の時間」の導入においても同様の課題で苦慮しています。この調査結果等で新しい教育の方向がより明確になることを祈念いたします。
(〈実施しない〉普通高校・教務主任)
- 本校は下記の今年4月の進路状況にあるようにほとんどの生徒が4年制大学(短大は6人、浪人はほぼ全員が4年制大学希望)を目指しています。大学進学に的を絞ってきたため、本校ではQ4に答えたように特段の検討をしたことはありませんでした。ただし、大学進学後の進路を長い目で見た場合、インターンシップは高校においても意味があると思いますので、本調査を機に考えてみたいと思います。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部主任)
- 普通科の為か、この言葉が先行しているだけで「現実はどう実施できるか」と考えてもいません。必要性は感じていますが・・・一歩も踏み込めないでおります。
- ・300名を越える生徒全員を配分するのは困難である。これだけの数を受け入れる企業が集まるか心配である。また、他校も同じように実施するとなると、実施期間も同様の時期となってしまう、実施が困難になると思われる。・生徒も多様化していて、意識の差が大きく、意欲的な生徒ならよいが、そうでない者を企業へ無理に送ると迷惑をかけることとなる。・したがって、現状では希望者を募り、学校を通して企業を紹介するか、アルバイトのように自分で見つけてきた企業へインターンシップという形で分参で参加させるなどの方法で実施せざるを得ないと思う。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)
- 本校では、2年生の希望者を対象に夏期休業中に実施して3年目になるが、13年度より2学年次に設置する「産業社会と人間」(総合学科の必修科目)で全生徒に取り組ませ、単位認定させようとしているが、現在、計画の段階で障害になっている事柄を列記します。1、受入企業の確保2、多学年の平常授業との同時展開は無理(夏期休業中の実施を国、県に承認してもらえない)3、事前指導、事後指導に対するクラス担任の意識がもう一つ。全職員の「教育」に対する意識が各自の「専門教科」への意識より低い。
(〈実施しない〉普通高校・教頭)
- 近年、学校現場に“インターンシップ”という言葉が多用されるようになりました。そして、その傾向はどれもすべての高校に一律に適用することが望ましいことであるというように受けとれます。この“一律”という“言葉”のひとり歩きのように、この調査も職業高校を対象としたものではなく一律に調査がなされることが多いのも現状です。とてもきになります。
(〈実施しない〉普通高校・教務部長)
- インターンシップは生徒の意識向上の為のみに使用すべきだが現実には違う内容を考えている人もいる。産業界でもアルバイトこそがインターンシップなのだと考えている人もいることはとても危険である。・本調査は高校の実態が良くわからないか、学問的に特化させたいかその他なぜか、とても答えにくいものが多かった。本当の結果はでにくいのではないかと思います。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)
- できる学校から大いにやってもらいたいと思います。また、その為の条件整備もお願いいたします。総合学科の改編が予想されているので、将来計画の中でじっくり検討していきたい。
(〈計画・検討中〉普通高校・教頭)
- 企業が収益の上がらない事業から撤退するリストラを推進している現在、将来の企業人を育てるインターンシップに対応する余裕(先行投資)ができるのか、はなはだ疑問である。しかし、その必要性は言うまでもなく高く、国を挙げての体制作りが望まれる。
(〈計画・検討中〉普通高校・教務部)
- 進路指導にとり入れてみたいと思ったが、実現しないまま今に至る。求人票が届きはじめてから自分のつきたい仕事は？と考える生徒もいるし、またこの不況の中希望する職業に就くことのできる生徒の方がむしろまれであると思う。インターンシップが少しでもこの現状を何とかする助けになればよいと思う。

() ・

- 過疎及び経済停滞地域で町内に適当なインターンシップのできる企業がないことが最大のネックの様になります。

(〈計画・検討中〉普通高校・教頭)

- ・普通科では一部の生徒しか参加させられないので、その際の単位習得等に未解決の部分がある。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導)

- 本校は過疎化の進む町にある小規模校で在校生の通学区も多岐にわたり、インターンシップの実施を平8、9年度検討しましたが結果的には実施できませんでした。その際の障壁は地元企業の受け入れが進まなかったことと、十分にインターンシップが理解されていないこと(保護者、企業、教頭に) ことだったと思います。また、景気の動向も多分に関係していたと思います。それに代替するものとして職場見学を実施したところ生徒、保護者には好評を得ています。調査についてですが、Q17の項目はわかりづらかったです。

(〈実施しない〉普通高校・進路課長)

- 進学希望が大多数を占める普通科高校でインターンシップに費やされる時間を確保することは大変難しいと考えます。特に上級生ともなればほとんど無理なのが現状だと思います。下級生(1年生)に対してならば可能性も考えられますが、そうすると1年生という人間は成長度が未熟な段階で果たして企業側の期待するような働きが可能か? という懸念が沸いてきます。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- ・自己責任の確率、自己判断力の進展に役立てられる者には有益。・同じことをしても有益にできない者もあり、一概には言えない。

(〈実施中〉普通高校・教頭)

- 本校においては特設の検討もしていないため回答しづらい設問が多かった。

(〈計画・検討中〉普通高校・教頭)

- インターンシップについて検討しないといけないと思いつつ、いざこのようなアンケート(調査)に回答する際に、困ってしまう設問もあり、まだまだ本気で考えていないことに気づかされました。どのような結果が出るのか楽しみです。他校の実践例など紹介してもらえれば嬉しいのですが、よろしく検討の程お願いします。(回答に関しては担当者のあくまでも私見です。)

(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導部)

- 高校教育改革の先進校として、この3年間、考えられることは全て取り組んできた。但し、インターンシップだけが未対応である。その理由の最も大きい事柄は、前任校で就職指導を10年間続けて来て、企業側の内情等を充分知っていることにある。企業側の意識及び理解を得ることの方が大変だろうと思う。また、業種・職種によっても企業側と学校側の考え方を調整する場合かなり温度差が伴うと思われる。労力相応の成果の見極めがかなり難しい。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部長)

- 兵庫県では全公立中学校で1週間の職場体験(トライやるウィーク)を実施している。知事の強力な後押しなどがあつた。普通科高校でも、長期実施したいが、

大学進学のための授業の遅れが問題だ。(このような意識の改革と)全公立高で実施することなどに対する国の後押しがないと無理だろう。この調査についてはQ14のところ記したとQ17の(1)(2)の意味がよく分からない。

(〈不明・無回答〉普通高校・教頭)

- 本校の生徒99%以上が進学を希望しており、そのほとんどが4年生大学志望者である。就職希望者は最近3名以下である(今年度0)その内は公務員であったり又近域にはない自己開拓した特殊な分野のことが多い。なおこの地域には大企業はなく又生徒が目指すような仕事は極めて少なく、現在生徒数1学年400名(10クラス)という大人数では全体的に実施することは不可能に近いような状況なので、アンケートで意図されているような回答が出来ませんでしたこと、お知らせしておきます。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部長)

- 今後の検討課題として浮上してくると思われるが、Q4-Q16は校内では取り上げられておらず、お答えできません。

(〈実施中〉普通高校・進路指導部)

- 普通高校(進学者が大多数)の場合インターンシップはほとんど行われていないのが現状です。

(〈実施しない〉普通高校・進路課長、1年学年主任)

- 生徒が進路を考える上でインターンシップはとても有意義であると考え。勤労体験から、働くとはどういうことかを実感するとともに地域の人からの教育を受けることができるよい機会であると考え。また、資格試験の受験において実務経験を課すことがある。この場合インターンシップの単位を実務経験と考えることはできないだろうか。

(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導課)

- ・現在の高校生は社会との結びつき意識が大変薄くなってきている。社会への帰属意識を高める上でこうした体験学習は意味がある。・推進する上では教員の理解が最も必要であると思われる。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 普通科教育が教育改革の中で取り残されている感じがある。総合学科への移行で改善される面もあるが、普通科のまま、ただ単に大学受験の為の教育するだけでは充分でない。本校の場合国のリーダーとなるべき人材を養成しているという教育方針もあるので彼らにただ単に接客だけをトレーニングするインターンシップを導入しても仕方がないと思う。どのような方針により彼らに職業観をもたせるのか、今後の総合的な学習の時間の関係で考えていきたいと検討中である来年度より総合的学習の時間(移行措置として)実施する。

(〈実施中〉普通高校・教務)

- インターンシップの主旨は分かるが実際にやるとなると問題は多い。まずは環境を整えることを考えるべだと思う。こういう調査は続けられて行政が積極的に動き出すのを期待します。

(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導部2)

- 商業高校などで行われている職場実習を普通科の本校でも試みたいとの考えはあるが、本校にできるかどうかは今後の課題である。また、生徒を校外に出して

学習させるかは受入業者をみつけることや打ち合わせ、生徒への指導など教師にとってはかなり厳しいことになる。学校全体としてやる気が出なければ難しい。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部長)

- インターンシップについての必要性については、個人的にはたまに話されることがありますが、学校域は部として検討したことはありません。少子化、高校、大学生の学力低下、フリーアルバイトの増加はゆとり教育等から考えると、ごく近いうちに検討してゆかねばならない事かとも思っています。自分の考えもまとまらぬまま〇をつけましたのご容赦願います。
(〈実施中〉普通高校・進路指導部2)

- 教師、父母、受入企業(受け入れ側)の意識が不十分であるので、理解、納得をまず先に進めなければならない。この生徒を取り巻く状況は、生徒のすばやく理解をさせる条件になり、スムーズな運営、実行につながると思う。
(〈実施中〉普通高校・進路指導部)

- 社会人が働く基本的な意義は「生活」です。学生の場合はほとんどが「遊び」です。基本的なところで社会人と学生は異なります。よって「全ての責任性」という観点が違ってきます。今の高校生は責任感を含めて自分のプライドを勘違いしています。親の苦労を変え、感謝する気持ちをもつという意味でインターンシップは大切ですし、必要だと考えます。今、国が推進しようとしているボランティア活動がありますが国の助成金制度があればと思います。
(〈計画・検討中〉普通高校・職業指導部)

- ・インターンシップは就職における青田買いになり易い。・不況のご時勢だから仕方ないのかも知れないが、高校教育がしだいに企業の希望する人材育成になりつつあるような気がする。
(〈実施しない〉普通高校・進路部長)

- 本校でもインターンシップのことに、話題になることはあります。実施してみたいと言う教員もいます。実現するには大きな現行カリキュラム等の変更を要することと、誰がいつ動き出すかということで先の話だと思います。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 職業観を植え付けるのに良い制度だと思います。大学で積極的に進めている若者職業意識に変化を与える努力をして欲しいと思います。また職業高校、就職希望者の多い高校は生活指導上大変な苦労があると思いますがこの制度で若者の就職感を変える努力は高校側でもすべきだと思います。
(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導主事)

- 現実の労働市場と学校が理解するインターンシップのあり方との間かなりのズレがあると思われます。よって現実の市場におけるアルバイトにはかなりの問題点があると考えられます。学校主体で制度を確立する前にもっと健全な労働市場のあり方、及び職場の環境を研究しその健全性が確認された部分でのみ徐々にインターンシップ制を導入するべきであると考えます。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 本校は普通科で且つ大学の付属校である。90%以上が付属の大学へ進学するので実感としてのインターン

シップがとらえられない現状があること。

(〈計画・検討中〉普通高校・教務主任)

- インターンシップを希望する生徒につき、短期・無報酬で行ったならば職業生活に必要な知識が身につけられるかと思うがそのような受け入れをしてくれる企業があるか否か、心配である。
(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 小・中学校も含め、基礎的な学力の低下が気になっています。「日本経済新聞」でも教育問題をとりあげずにはいられない状況は憂慮すべき状況ですが、良い意味での競争原理も又必要なのはと個人的に思っています。そうした中で試みの一つとしてのインターンシップは現状を変革する意味の手段としては必要だと思っています。しかし、目標になってはいけないのではないのでしょうか。高校ではやはり、基礎学力の確立が大切で、急がばまわれなのだろうと思っています。やや生ぬるいのですが。

(〈計画・検討中〉普通高校・教頭)

- 文部省はインターンシップを「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義しているが、自らの専攻に関連したものでなくても・・・。

(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導部)

- インターンシップについて検討したこともありませんので問を受けとめるのに一寸とまどいました。
(〈実施しない〉普通高校・教頭)

- 職業体験を実施することは大切なことだと思います。進路指導、自分を見つめるために社会体験は必要です。

(〈実施しない〉普通高校・教務主任)

- 付属高校(80%以上が進学する)なので、普段みている生徒や学校の状況をベースに置いてしまうのでやや考えづらいところがあった。

(〈実施しない〉普通高校・教務主任)

- 高校生のレベルだと、将来自分がどの様な仕事をしたらよいのか、なかなかわからないと思います。そのような状況の中で少しでも仕事を体験することは職業選択の上で、役立つように思います。できれば多種多様な仕事を体験できればベストだと思います。

(〈実施中〉普通高校・就職主任)

- 報告書を楽しみにしています。

(〈実施しない〉普通高校・教頭)

- インターンシップは大切だと思う。しかし、高校生の場合(地域にもよると思うが)職種が限定されるため必要度は低まると思う。アルバイトは職業理解には全くつながらない。むしろ職業観を謝らせることになる。本調査は意図がはっきりしない部分がある。高校と大学のどちらかとか両方とか聞かれても高卒で就職する者には大学はあり得ない。統計上、どのように表されるのか疑問である。

(〈計画・検討中〉普通高校・教務・進路ほか)

- 現在の青少年について経験(自生界・人間界)を積むことが困難な環境下にあることは切実な問題ではあ

- る。しかしながらこれからの社界は「ゆとりの中で生きる力の育成」ということで、まず家庭生活、地域社会の中で（つまり義務教育レベル）で充実させることが責務であるとする。紙面によりアンケートも大切だが、聞き取り調査も必要でないか。
（〈実施しない〉普通高校・校長）
- 遅くなり申し訳ありません。現在のところ、当校ではインターンシップに取り組んでおらず、お答えすることができません。ご容赦ください。
（〈実施しない〉普通高校・進路指導）
 - ・普通高校と職業高校では、生徒の実態や意識に大きな違いがあり、一概には判断できない。・職業に対する体験学習をすることが目的だと思うので、無報酬であるべきだと考える。
（〈実施しない〉普通高校・就職指導課）
 - 2003年の新教育課程で、「総合学習の時間」が必修科目として設定される。そこでインターンシップも実施の一つの選択肢になると思う。毎週1時間か2時間になると、どのような方法が考えられるのか。お教えいただきたい。
（〈実施しない〉普通高校・進路部長）
 - 不況が続き、高校生の門は年毎に狭くなってきています。即戦力が欲しい、1から教育するという余裕がないという理由で。このような時、企業はインターンシップを採り入れる（高校生対象の）余裕があるのかという疑問があります。
（〈実施しない〉普通高校・進路指導部）
 - 実際現場としては実感がわきません。
（〈実施しない〉普通高校・進路指導部）
 - 本校では就職希望の生徒はほとんどいないので、会社関係の実情を知らせる必要性はあまりありません。進路を考える上でのことなら必要かもしれませんが、実際の進路指導（大学・短大・専門学校）に追われているのが現状です。（女子校というのも関係していると思われます。職業意識は低い）
（〈実施しない〉普通高校・進路指導部）
 - 普通科の進学校にとってはなかなか意識上ののぼらない傾向がある。全体的な学力観・学習観の改革なしには議論しにくいのが現状である。
（〈実施しない〉普通高校・教頭）
 - 本校ではアルバイトは原則禁止であるが、生徒の実態からアルバイトについてはいずれ再考したい。ただ、金銭万能の風潮、モノがあふれた時代において、消費をすすめるようなアルバイト（インターンシップ）はおかしい。勤労体験と勤労によって得られる代価の価値を理解させられるよう、よく相談、準備をした上で臨めば効果は大きいだろう。建前でなく、踏み込んだ議論をするときだと思う。
（〈実施しない〉普通高校・校長）
 - 普通科で大学進学を目的とした本校においては、インターンシップは高校1,2年生段階での職業についての進路学習における、体験学習に当たるとしています。それ以外の目的を持ち込むことは進学のための教科学習の時間を割くことになり、困難であると思っています。
（〈実施しない〉普通高校・進路指導部）
 - 上記「アルバイト」については、現状の事業所に学生の指導・教育意識の欠如がみられることが多いため、本校を含め多くの高校で「アルバイト禁止」となっている。残念なことである。大人の社会が、安く簡単に使える労働力として「学生アルバイト」ととらえ、将来の社会を担う若者を教育する姿勢、意識が必要であろう。特に大学生アルバイトは、即社会人となることから、現状では学生側でも、アルバイト感覚が抜けないまま、就職→退職となっているのではないだろうか。
（〈不明・無回答〉普通高校・教務・進路指導部長）
 - 大きな教育的効果は期待できるものの、事前指導や準備で指導者（教員）の負担になる。本校では次年度実施に向けて検討中である。
（〈実施中〉商業高校・進路指導）
 - 本校は、20年前よりインターンシップを採用して授業を実施しております。そのため現在においても企業と信頼関係を築いているため、問題なく実施しております。
（〈実施中〉商業高校・教務部）
 - 本校は都市から離れたへき地校である。小さな町の企業は限られており、生徒の希望を100%満たすことが不可能である。仮に都市に出ても予算や宿泊等の面で難しく、限られた企業でのみしか実施できない。
（〈計画・検討中〉商業高校・教部）
 - 本校でも企業見学等で地域産業への理解、職業意識の向上を考えて行っているが、受け入れる企業が少なく、理解が得られない。また、管理職と現場従業員との意識の差があり統一制がない。インターンシップの必要性等を公的機関で推進してもらいたい。
（〈実施中〉商業高校・総務部）
 - 受入企業を探すのが大変である。又、大手とよばれる企業ほど受け入れない傾向があるため、今後は、行政等の援助が必要である。
（〈実施中〉商業高校・進路指導部）
 - 将来の職業選択に役立つし、又学校とは違った現場での社会人としてのマナーや勤労という体験は人生に対しての意識を感じたり学校と違った体験は貴重だと思う。
（〈実施中〉商業高校・商業科）
 - インターンシップを大学での導入を考えているのでしょうか。地域によって大きな差があると思います。本校のように小さな町ではなかなか受け入れが難しいようです。
（〈計画・検討中〉商業高校・商業科主任・情報処理科兼務）
 - インターンシップを展開するために1. 恒常的な受け入れ先の確保（他校との競合もあり）2. 生徒の希望との調整3. 安全4. 吾用5. 教師の意識改革6. 評価以上が重要と思われる。
（〈実施中〉商業高校・商業科科長）
 - 本校は2,3年次に職場見学を実施しているが、インターンシップ実施計画を立案中である。事前・事後指導が重要であると思っている。設問にあるように“アルバイト”でもそれなりの経験は可能と思うが成果は個人差が大きい。職業観等は家庭での担当部分もあるの

で、そうした面での工夫も必要だろう。

(〈実施しない〉商業高校・教頭)

- 1. 学校での学習の大切さが理解できること。2. 企業の社会的役割、従業員の役割が認識できること。3. 企業経営の厳しい環境が理解できること。4. 自分の将来やってみたい仕事にはなかなか就けない状況にあること。以上のことが体験的に理解できるインターンシップが望ましい。

(〈計画・検討中〉商業高校・進路指導部)

- 企業の不況期にインターンシップはあまり歓迎されていない。無理な推進は、企業にとっても生徒にとっても良い効果は期待できないと思われる。

(〈実施中〉商業高校・商業科主任)

- インターンシップの趣旨は、大変意義あるものと思うが、受入事業所が少なく、多数の生徒に経験させられない。本校では流通経済科1クラスが百貨店で販売実習を実施していますが、受入側の百貨店によっては断る所もあり、苦慮している。

(〈実施しない〉商業高校・商業科主任)

- ・事前指導と事後指導を計画的・組織的に実施しなければ、教育活動にはならないし、と考えます。その意味では単独の進路指導部・教務部等の高校内の縦割分掌組織だけでは機能できないのではないのでしょうか。・受入先との交渉や調整の役割を受け持つ第三者的コーディネータが必要と考えます。各高校がそれぞれに受入先をすべて手配し交渉したり、あるいはばらばらに調整作業を行うことは受入先にとっても繁雑極まりないものになるはず。

(〈実施中〉商業高校・教務部)

- 大変遅くなり申し訳ございません。集計結果に興味がありますので、できれば報告してください。よろしくお願致します。

(〈実施中〉商業高校・商業科主任)

- 本校でも選択授業履修者によるインターンシップを実施している。(今年度89名)近年実施する学校が増え、受け入れ先を開拓するのに苦労している。受け入れ先企業等にこの制度が認知されていないことが多い。本格実施(政府が言う、就業体験)していくなら公的機関よりPRを行って欲しい。

(〈実施しない〉商業高校・進路部)

- 本調査Q14、Q18について、高校卒業した後に進学者の多い学校と就職者の多い学校とでは回答の意味も違って来る。かつては本校は70%以上が卒業後に就職(定職)した。2000年3月卒業者はかなり就職者が少なく進学者数も多い。これは異学である現3年生はこのようにはならない。高校卒業後はいずれかの企業に入るということを前提に学校教育を行っている。(もちろん進学者を無視するわけではない)

(〈実施しない〉商業高校・進路指導部)

- 現在、本校ではインターンシップを導入し2年目を迎えております。課題研究(2単位)の中での実施であり、実施生徒は約30名(3年生)です。今後、この人数を増やしていき、最終的には全員の生徒にインターンシップを体験させたいと考えております。しかし、現状では、学校側の体制が不十分なこと、受入先企業の問題があり実施できません。この制度は地域全体で主旨を

理解し、多くの人々の協力が無い限り難しいと思われる。本調査の結果、全員実施している学校の実情がわかれば大変参考になると考えますので何らかの形で報告をしていただきたいと思います。

(〈計画・検討中〉商業高校・進路課)

- 受入企業への依頼が困難でしょう。業績不振の企業はインターンシップどころではないでしょう。社員が労力・時間を何も分からない高校生相手に使うのですから。一部の希望者がインターンシップに参加することまでが限度。全員参加は学校・企業とも無理だと思います。

(〈実施しない〉商業高校・進路指導部)

- アルバイトとインターンシップの違いが明確にならない。また、生徒の意識改革に時間がかかる。

(〈計画・検討中〉商業高校・教務)

- 平成12、13年度、文部省及び労働省のインターンシップ研究指定校になっています。このアンケート集計により、全国の動向がわかれば幸いです。「キャリア体験」「ジュニアインターンシップ」「現場実習」等呼び名が様々で文書作成等に苦労します。

(〈実施しない〉商業高校・進路指導部)

- インターンシップを職業に有利と求人者に有利という業務面の利点のみが強調されやすいが、目的の第一は学生に業務を体験させることにあると思う。体験の中から「自分で判断、自分で行動する」原理を見つけ出すことが、インターンシップの最大の効力ではないかと思う。制度化された場合、安易な方向に進まなければ良いかと考える。

(〈実施中〉商業高校・商業部長)

- 企業の中ではインターンシップに関わる理解が不十分なので、そのために必要な人員の確保が大変であるので、現状では2、3日ぐらいが適当であるという企業が多い。

(〈実施中〉商業高校・進路指導)

- 文部省は、現場を知らないで実施せよと言うが、まず、受け入れをしていただける企業を捜すだけで、大変な労力である。事前・当日・事後指導にあてる労力と時間は大変なものである。少なくとも受入先企業について労働省と連携をとり、何らかの措置をとってほしい。

(〈実施中〉商業高校・進路指導主事)

- 職業観・勤労観の育成のためにインターンシップは大切な手段の一つと考えます。しかし、まだ定着しておらず試行錯誤の段階であると思います。早く一定のルールができ、社会、学校に受け入れて欲しいと思います。

(〈実施中〉商業高校・進路指導部)

- (1) 全校生徒をインターンシップで送り出すには心配な点が多い。(目的意識を持っている生徒は心配していない) (2) 企業の協力が得られないと、数的確保が問題となる。(3) 万が一、事故が起きた場合の責任問題。

(〈実施中〉商業高校・流通経済科長)

- 現在インターンシップを2年次の夏休みを利用して実施し、人数は約1クラス分(40名)しか実施できない。次年度からは人数を増やしたいが、受入企業との調整

がうまく合わない。希望は2年生全員を体験させたいが、色々な面で困難である。

(〈計画・検討中〉商業高校・進路指導課)

- 来年度より実施方向で検討中です。目的意識を十分理解させて体験学習を行う予定です。
(〈実施しない〉商業高校・教務)
- 都市型高校で生徒全員にインターンシップを導入したとき街中に高校生があふれ、生徒指導上はもちろん、受け入れ企業も混乱をきたし、経済発展の妨げとなること必至。生徒・学生はやはり学校で学習、運動に精を出し、将来の日本社会の基盤となる心構えを植え付けさせたい。勤労意欲等は企業の責任で行うべきである。学歴により力量のない学生を採用し続けてきたツケが回ってきたと考える。
(〈計画・検討中〉商業高校・校長)
- ・文部省、教育委員会のリーダーシップ(強い)・受け入れについて学校での1学年の生徒は約300名。地元でどのように配置させるか、それだけの企業数がないのが現状である。
(〈計画・検討中〉商業高校・教務主任)
- ・受入先の確保をどうするか。・事故等を起こした場合、保険等をどうするか。・校内体制をどうするか。(例)普通教科担当者への理解を。・そこまでの交通手段の確保。
(〈実施しない〉商業高校・三重県産業教育振興会商業部会事務局)
- 実施しやすさから結局夏休み中になってしまうのではないかと懸念する。これでは生徒のゆとりがかえってなくなると夏期アルバイトとイメージがだぶって良い効果がえられない。
(〈実施しない〉商業高校・進路指導)
- インターンシップを実施するにあたって、協力企業の開拓が学校独自で開拓しているのが現状です。これをもっと簡単にできることが前進の重要と思います。学校、個人の協力企業開拓能力には限界がある。
(〈実施中〉商業高校・商業教育推進部)
- 現在希望者を対象に実施しているが、生徒の希望する職種でのインターンシップは限られているため、物理的に実施が困難な状態である。各校が実施するようになればより一層、困難になると思われる。
(〈実施中〉商業高校・進路指導主事)
- 高校にとってはインターンシップは単なる職業体験にとどまらず学内の主旨の位置付け(総合学習etc)が欠かせないと考えている。学内の教育活動へのベースがないと、とかく職業体験、就職先選びへと安易に(不正に)流れてしまう危険がある。Q17にあるように職業体験だけ取り上げればアルバイトで十分であり逆にアルバイトのためにお金だけが先走り、肝心の職業すら十分にこなせない。安易にお金を稼ぐ手段になってしまう。インターンシップの主旨は十分分かるが安易に走るべきではないと考える。
(〈実施しない〉商業高校・進路指導部2)
- 小、中学校での積極的な取り組みを期待する。小学校では社会見学のようなスタイルでよいのでどんどん社会の実態を見せるべきだ。高校ではすでに普通科高校と専門高校がはっきり別れているのでその進路を決定する意味でも中学校でインターンシップをしっかり

経験し、進路決定の参考になればと思う。

(〈実施中〉商業高校・進路)

- 学校側、企業側とも、まだその趣旨が十分に理解されていない。負担が増える雑用ぐらいしかさせられない(させてもらえない)などの声が聞かれる。
(〈実施中〉商業高校・進路指導課)
- 企業側の理解がまだまだ十分ではなく、受入先を確保するのが大変です。逆に企業側からすれば、中学・高校・高専・専門学校・短大・大学などインターンシップを実施する学校が急増し、その対応に大変だと聞いています。この所整備を産業界、教育行政に関係している部所できちんと行って欲しいと思います。
(〈計画・検討中〉商業高校・進路指導課)
- 生徒を受け入れてくれる企業を探すのは大変である。特に大規模校では大変である。
(〈計画・検討中〉商業高校・厚生課)
- インターンシップに今年度より取り組みます。大きな時間をかけて準備しておりますが、効果についての予想が立ちません。今回のアンケートについては希望的な意見で答えました。
(〈実施中〉商業高校・進路指導主事)
- 長期のインターンシップを体験させることは望ましいと思うがそれに対するバックアップが何も無いに等しい。一部の熱心な学校・企業がやっているように思う。
(〈実施中〉商業高校・進路指導部)
- インターンシップの目的は、教職員の研修にも大いに役立つ。否定される同僚も多いがインターンシップから学ぶものは我々の生徒指導にも大いに役に立っている。とくに、コミュニケーションスキル。
(〈計画・検討中〉商業高校・研修部)
- インターンシップ導入の課題として、受入先企業の確保が難しい。
(〈実施中〉商業高校・教務)
- ・受入企業によって生徒が体験できる内容にギャップがある。・受入企業の意識がまだ積極性に欠ける面がある。
(〈実施中〉商業高校・進路)
- ・インターンシップ終業後の生徒の意見 インターンシップを体験して責任感や1つ1つの仕事の大切さが良くわかった。自分のなりたい職業を見つけるのに役立つ。苦労の中にも喜びがある。その喜びはお金とは別に嬉しいものである。働くことによって技術が身につく人間関係が広がる。・受入企業のインターンシップに対する意見 現場実体験と学習の相乗効果、地域住民との交流による相互の信頼関係の構築を期待。今後の取り組みの強化を望む。就職先としてのイメージアップにつながる。社会にとっても期待のできる役に立つ人材が育つ。
(〈実施中〉その他・教務・研修「産業社会と人間」担当)
- 高校生の場合、受入が非常にきびしいものがあります。また製造業(食品)の場合検便等(0157を含む)の実施が義務付けられているところもあり、その際の費用をいったい誰が負担するのかなどの問題ができて

ています。文部省等がインターンシップを推進していますが、やるなら適切な予算の配分など、今後考えていかねばならない問題はかなり多いと思います。

(〈実施中〉商業高校・進路指導部)

- ・商業高校のため(事務分野の実習はほとんどないため)販売の実習が中心となると思われるが、中小規模の商店での接客等の指導がどれだけやってもらえるかを懸念している。・大学でのことについての質問の解答は(実態現状等の理解が困難であるため)難があった。

(〈実施中〉商業高校・進路指導部)

- ・現在インターンシップを始めて8年目になります。今後すべての学校で実施することになれば、受入事業所に大変ご迷惑をかけることになると思われます。受入事業所に対して何らかの補助金制度があればと思われれます。・インターンシップの実施期間が長期になると、学校内の諸活動に大きな問題(授業、部活、検定等)が生じる心配があります。

(〈実施中〉商業高校・進路指導主事)

- 全部の学校が実施したら、時期等の問題があり重なって受入企業がなくインターンシップの実施は、困難と考えられる。(一部生徒の体験に終わることが予想される)

(〈計画・検討中〉商業高校・教務)

- 近隣校ですでにインターンシップが実施されており、数年後には本校も実施するだろうと思えます。そのための情報収集、資料整理をそろそろ準備しなければと思っています。新指導要領「総合的な学習の時間」等もあり、教職員の理解、負担分担が問題となりそうです。

(〈実施中〉普通高校・進路指導部進学係)

- 受入先が一番の悩みである。日程等が調整しにくい。公的機関が間に入ってくれば助かるのだが。

(〈実施中〉商業高校・学科主任)

- インターンシップそのものについてまだなじみが薄いことからその意義メリットが十分理解されていない。企業側に実習プログラム、教材作成の支援ノウハウの提供などが不十分ではないかと思う。今後実習の質を上げるため受入体制の確立及びその支援体制の確立、地方の中小都市では中小企業に頼ることも多く経済団体(商工会議所・商店連合会)・関係諸庁(職安)からの推進促成のための積極的な協力が必要。学校との情報交換や互いのニーズに対するマッチングが円滑に行われるような協議会の設定が急務。校内の組織体制の確立。

(〈実施中〉商業高校・商業科主任)

- 本校では2学年次全員と2日間のインターンシップの他に、3年次、課題研究の授業で希望者に半年以上のインターンシップを導入している。また、外部講師や職場見学なども実施している。今回の学習指導要領の改正でインターンシップが重要視されて、さらに強化する必要があるが学校5日制を前にして、これ以上インターンシップがカリキュラム上に入ってくると授業の確保が困難となる。普通高校に積極的に入れるべきで、専門高校では、今現在でも十分のような気がする。これは私個人の意見である。

(〈実施中〉商業高校・進路指導部)

- 不況下の中、企業に学生を受入ても指導する人員が不足してなかなか拡大する事が難しい。

(〈実施中〉商業高校・商業科主任)

- 本校では就職希望者が多いので、インターンシップの進め方が大変でいろんな面で躊躇しています。受入企業、人選他まだはりの段階で波に乗り切れずの様子です。

(〈計画・検討中〉商業高校・進路指導部長)

- 地域の企業へのアンケート調査の結果、工業高校でインターンシップを行いたいと知っている会社から5割であり、知っていても受け入れられない会社も5割あった。もっと全国的にインターンシップへの周知を促さなくてはならないのではないかと。また、企業へのインターンシップはもちろんだが、幼稚園、老人ホーム、大学などの連携により、ボランティア型のインターンシップがあっても良いのではないだろうか。非常に協力的な企業がある中、関心もない企業もあり、もっと世論がインターンシップの重要性を認識して初めて、有意義な活動になるのだろう。教員サイドも更に意識改革が必要かも。

(〈実施中〉工業高校・進路指導部)

- 1年では産業見学、2年では3日程の体験的現場実習3年で就職を見越しての2週間程のインターンシップが宜しいかと考える。

(〈実施中〉工業高校・材料技術科主任)

- 1、地域によっては受入企業が少ないため(企業そのものが少ない)、一定期間での実施や希望職種通りに行かない場合が多い。2、中小企業の場合、受入れることにより、指導者が仕事ができなくなるなど経営面に支障をきたす。3、万が一事故があった場合とか保険(学校では傷害保険に加入)の関係でその足を踏む企業もある。4、事故があった場合のことを考えて、見学・社内研修のみになってしまうこともある。

(〈実施中〉工業高校・工業教育推進委員会)

- インターンシップは今後実施する予定なので、このアンケートに答えるのにはデータ不足などで返答に困ってしまった。クラスの人数が40名なので、どのような方法で、インターンシップを実施するか、検討中である。工業高校で5つの学科があり、近くこれに対応できる企業があまりないので頭が痛い状態である。

(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導主事)

- (1) 2000年11月7日～ 9日の5日です。(2) 受入企業も決定し、現在は事前指導マニュアルの作成中です。(3) 全てが試行錯誤です。

(〈実施中〉工業高校・インターンシップ委員会)

- 平成12、13年度、栃木県のモデル校としてあり方を研究している。

(〈実施中〉工業高校・インターンシップ事務局)

- 学校内での学習を考えると、実際には短期間しか実施できないのが現状である。教科としていかに組み込むのか、単位の認定をどうするのかなど、クリアしなければならない問題も多い。また全ての生徒を対象に実施する場合、負担がかなり大きくなると思われる。

(〈実施しない〉工業高校・進路指導)

- 教員、管理職の働きかけで協力事業所が増えてきました。就業体験は2年生が適切であり、将来の進路を選択する過程で生徒には大変良い体験になっています。学校と企業のパートナーシップがきわめて重要であることを実践して思いました。
(〈不明・無回答〉工業高校・工業科主任)
- 本校は、今年度東京都のインターンシップ推進校として、受入企業の開拓及び実施について取り組んでいます。保険面、資金面等諸条件の整っていない現状では職員の中でも賛否両論の意見がありますが、機械科として、12月の期末テスト後の補習期間中にインターンシップを行う方向で、受入可能企業と調整中であります。
(〈実施しない〉工業高校・機械科 科長)
- 工業高校に於いてもモラトリアムな傾向が強くなっている。目的意識の希薄な生徒に、自分の専門学科で学ぶ意味や意義を、実際の生産現場での体験を通して知り、学ぶことによって興味、関心を喚起することがインターンシップの意義と思う。“どんな職場でも良い”とするとアルバイトと大差ないものになる。(その意義もある労働意識や職業意識などが) その為にもインターンシップ実施のマッチングとプランニングが大切であり、苦勞するところだ。行政機関が仲介して企業と学校(高校)とのマッチングが必要と思う。又人的・予算的措置を現状のままで行うのは、長続きしないと思います。
(〈実施中〉工業高校・新向工検討委員会)
- ・主旨に関しては理解していただける企業はあるが、実際に受け入れていただける数は少ない。お題目だけが先行し、実施になると本当に現場が苦勞する。国・県レベルでの条件整備がなにより必要である。・学校にとっては受け入れていただければ本当にありがたいが、担当者は受入たからといって日常の仕事がなくなるわけではない。そう考えると、受入た企業には報酬か税金の優遇など目に見える対応が必要である。・高校生のインターンシップは本当に必要である。今回の調査がより良い条件整備に反映されれば幸いです。
(〈実施中〉工業高校・科長)
- 1、インターンシップの考え方自体はすばらしいことと思うが、いかんせん運営していく上での諸々のことが整備されておらず見切り発車という感はいなめない。当然のことながら学校現場での苦勞は計り知れず、日常業務において支障をきたしているのが現状である。是非、各機関で協体制度を強化して現場におろしてもらいたい。
(〈実施中〉工業高校・総務部・インターンシップ推進委員会(県、ハローワークからの指定校))
- 保険の費用の問題、助成金の問題、教員の勤務の問題等々の課題が多すぎる。
(〈実施中〉工業高校・教頭)
- 週休2日になって授業時数が減少する中、さまざまな行事見直しが必要になってくる。インターンシップのために授業を減らすことができない。基礎・基本の定着のためには時間をかけることが必要。インターンシップは長期休業中に実施するようになるが、生徒の長期休業をインターンシップで、制約しなくてはならない。
(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)
- 本校では実施はしているが、課題研究の中で、あるいは現場見学(クラス全員)、地域の職安からの指導等の中で行っているものである。本格的に長期にわたり、実施するのは今後であるが生徒の事故の保障や企業との連携をどうしていくかが最大の問題と考えている。
(〈実施中〉工業高校・教頭)
- インターンシップの価値を、企業や地域社会が認識し、社会総体の中で、生徒達を育成するという、コンセンサスが大事である。いわゆる社会(産業など)のための生徒の教育という発想から生徒の教育のための社会の形成という発想への転換がもためられていると思います。その意味でインターンシップは大切だ。またアンケートは大切であると思います。生徒達へのアンケート燃して欲しいと思います。
(〈実施中〉工業高校・電子機械科科長)
- 企業経営等15年間の経験からの意見を述べます。学生時代にインターンシップを実施しても、殆ど効果は期待できないと思います。それよりも高校時代は勉強と部活と友人関係を、大学生はできるかぎりアカデミックな内容を深めて、自由かつ柔軟な発想をできる素地を身に付けておくべきだと思います。職業観や意識は企業人になると自然に身に付きます。その時、学生時代どれだけ学問をしたかでそのレベルが決まるものだと思います。
(〈実施中〉工業高校・教務主任)
- 本校では今年度は県からの指示もあってインターンシップ実施に取り組みました。昨年は2年生の冬休みにごく少数の生徒でした。今年度は2年生の生徒に参加を呼びかけて37名の希望者を募り、夏休みに33名が実施しました。(4名は冬休みに)実施するのはこの程度の生徒数が最も良いように感じました。これ以上だと意欲のない生徒も居て不安を感じます。来年度も意欲ある生徒を出来るだけ参加させたいと思っています。
(〈実施中〉工業高校・2年学年・生徒指導部・インターンシップ実施委員会)
- 1.工業高校においては製造分野に依頼しているが、中小企業の理解がされ受入れ先の拡大を期待したい。
2.公の機関でインターンシップ受け入れ専門の施設を設置し、年間を通じて各学校が依頼できるとよい。
(〈実施中〉工業高校・)
- インターンシップに参加する生徒、受け入れる企業の相方の意識がきちっとシンクロしないで効果は難しい。普通に考えれば、企業側にその負担は大きいと重うが、一つの社会的な使命だと感じていただかないと形式に終始してしまうような気がする。また、事故や怪我の場合の保障や対策も今のところ明確にされていない。現実問題としては、インターンシップへ出たくない生徒もいて、それが有力企業(就職者が多い企業)に与える影響が心配である。各企業は一人の生徒を見て学校を判断してしまうのではないかとこのことで心配です。
(〈実施中〉工業高校・工業部)
- 受入企業の確保が大変です。本校では学校独自で依頼し確保していますが、各方面でインターンシップが実施されると企業の確保が難しくなってきますし、企業側も心配しております。県(行政)の指導も必要になってくるものと考えております。

- (〈計画・検討中〉工業高校・進路課)
- 文部省等からの企業・国民へのPRが不足しており、国民的理解が小さく、もっと積極的に行って欲しい。
(〈実施しない〉工業高校・教務部(主任))
 - 学校は多忙を極めている。インターンシップ制度への対応は大事であるが余裕が無いのが現状です。また、企業へ送り出す生徒も、安心して見ていられる者ばかりではない。教育現場での責任論が常に言及される現状では、積極的になれない。
(〈計画・検討中〉工業高校・工務部)
 - 生徒が成長するように意欲を持って取り組んで行きたい。
(〈計画・検討中〉工業高校・教務)
 - 仲介してもらえらる連帯機関の協力が無いと学校が独自で受入先を探すのは苦勞する。将来的に、高校生全員に必要なことだと思う。
(〈実施中〉工業高校・工務)
 - ・早く法的措置をする。・企業の情報開示(できるだけ透明度を高める)・保険の完備(国の助成)
(〈実施中〉普通高校・進路指導)
 - 就業体験は教育効果が高いので、必ず実施しなければならないように法律を改正できないものでしょうか。
(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)
 - 受け入れ先企業がまだ少ないし、受け入れ態勢もできていないのが現状だと思う。本校でも実施するならば希望者を募り少人数に絞っていくつもりです。
(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)
 - 本校は職業高校です。高校生の離職率も高くなっていますので、ぜひ来年からは実施したいと学校に働きかけています。インターンシップというと、進路指導というイメージでとらえやすく、他の分掌では関係ないという傾向になりがちです。しかし、進路は企業に近すぎて、見返りを求められたりしても困りますので、学校全体としての取り組みと、3年生以外での実施をお願いしています。進路は学校側へ企業を紹介したり、住所をまとめたり、タックシールを打ち出したりと事務に徹するべきだと考えています。
(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)
 - 現在、実施計画中であり、課題の把握が困難で十分な回答ができず申し訳ありません。インターンシップは、工業高校の場合、技術・技能の面においても考えるべきで、単なる社会体験で終わらせたくないと考えている。
(〈実施中〉工業高校・教頭)
 - ・インターンシップを通して、自校の解決しようとする課題を明確にしておかねばならない。・長続きをする方法を模索しなければならない。
(〈計画・検討中〉工業高校・教頭)
 - インターンシップは全員でなく希望者にすべきである。
(〈実施中〉工業高校・進路指導部)
 - 企業側と事前・事後の話し合いを十分に必要がある。企業側に文部省だけでなく、通産省、労働省などからもインターンシップ協力要請の文書を流して欲しい。
(〈実施中〉工業高校・インターンシップ推進委員・生活指導部)
 - ・高校では分析できない質問があり少々答え難い所がある。・小さな市では生徒を引き受けてくれる企業が少なく全生徒が希望する職場への体験はなかなかできない。
(〈実施中〉工業高校・教務部)
 - 現在、受け入れ先の理解と受け入れ時の保険制度の確立を学校側においては教育課程における配置および教科・科目等との関連性など、全般的に実績・実路例の提示が少ないため、導入に際し、まだまだクリアしなくてはいけない課題が多々あり、実施に向けて、かなり時間を要しそうです。
(〈実施中〉工業高校・教務部)
 - 本年度初めて希望者のみ実施しましたので学校全体で実施するとやや不安な事があります。体験した生徒は良い体験をすることができたと思っています。また、この体験した企業に就職を決めた生徒もおります。
(〈実施中〉工業高校・進路指導部)
 - 全生徒に体験させることは不可能と思われる。(教科科目として位置づけにくい)(学校周辺企業数の不足、受け入れ企業数不足、時期不一致等の問題)
(〈計画・検討中〉工業高校・工業科担当部長)
 - 学校と企業との関係について教師が60社近くとアクセスする事の忙しさがどうにかならないか。(生徒を受け入れてもらうため)内容が難しいと感じました。
(〈実施中〉工業高校・2年生主任)
 - 業種によっては長期に実施するのが困難なものが多いので産学の連携が必要ではないかと思う。
(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)
 - 災害等に十分に対処している内容になっていない。
(〈実施中〉工業高校・教頭)
 - 747 インターンシップは、教育効果及び生徒の自己形成において大変良いことだと思います。今後とも続けていきたいと思いますが、受け入れてくれる企業がないのが現状です。産学一体となり、推進していかないと、インターンシップを実施したくても実施できないようになる可能性があると思います。
(〈実施中〉工業高校・教務主任)
 - 1、来年度から240名の生徒の希望先を決めるのが大きな悩みとなっている。2、各種の予算が全く目途が立っていない現状である。
(〈計画・検討中〉工業高校・教務部)
 - H15より全員実施の予定であるが受入先企業数や生徒希望企業の確保、実施時期等の多数の問題があり、全員実施は現在のところ不可能に近い。
(〈計画・検討中〉工業高校・科長)
 - 企業にインターンシップを依頼する時に最も心配されることが、万一の事故の際の責任問題です。依頼する立場からして「責任は企業にあります」とは言い難い。実際に事故がおきたとき、裁判などになったとき

の対応もインターンシップを推進させる立場にある学校、県、文部省は早急に検討すべきと考えます。

(〈計画・検討中〉工業高校・教務)

- 本校でも平成13年度より実施予定で現在検討中である。

(〈実施中〉工業高校・進路指導主事)

- インターンシップについては、企業や文部省、教育委員会等が組織的に動かないと厳しい面がある。学校側としては受入企業の開拓に苦勞する部分が多々あると考えており、そういった組織作りをしていくことがインターンシップを進めていく上で大事なことと思う。また、実施に伴い生徒に事故があった場合の公的な補償制度の充実を切望する。

(〈実施中〉工業高校・工業部理事)

- 現場実習の生徒の数が多くなり、期間も長くなる。安全面等を考慮すると、企業側の準備も大変であると思う。企業側のメリットもある様にして、企業側がインターンシップの受け入れを希望する様なシステムにして欲しい。

(〈不明・無回答〉工業高校・工業科建築・土木主任)

- 予算の確保、受け入れ企業へ特典を与える。

(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)

- Q15の項目については全ての点で著しく不足していると思います。

(〈実施中〉その他・進路指導主事)

- 今現在、本校でのインターンシップは2年生の10名程度であり、今後は一クラスとか一学年とか拡大出来れば良いと思う。また、本校では教職員のインターンシップも本年よりスタートし良い経験として授業、その他に影響大であると感じています。

(〈実施しない〉工業高校・)

- 地方都市・町村等でのインターンシップはかなり問題がある。小企業・限られた職種、専門は技能を必要とする企業がない。企業人の考え方、協力体制等全国一律の考え方はおかしい。本県の進学率向上を目指す立場から言えば、むしろ充実した教育環境の整備が先決である。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 全大学、高校でインターンシップが実施された場合、企業でこれらすべてを受け入れられるのか心配である。同年令の者が同じ学年で同時進行していないと、例えば留年をすると周囲から白い眼で見られるような社会通念から変革していかなければ、真の意味でのインターンシップになってはいかないのではないかと。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導主事)

- 企業にとっては高校生を教育するという立場に立つて指導するという余裕はないと思われる。

(〈計画・検討中〉普通高校・教務)

- 本校では2年後を目途にインターンシップができればと考え、準備・検討に入ったところです。何か資料があれば参考にさせてください。また、アンケートの提出が遅れましたことをお詫び申し上げます。

(〈実施しない〉普通高校・進路指導部)

- 教育的な意義があると思う。

(〈実施中〉普通高校・教頭)

- インターンシップについて全く取り組んだことがない学校でのアンケートは、単に答えた個人の意見にすぎないこととなると思います。インターンシップをやるとしたら窓口となる教育現場の一個人の意見です。再度の回答請求ごころう様です。これを見たのは今回はじめてですので、このようなアンケートは担当者が具体的に分かるように、宛先をかかれるのがいいと思いました。

(〈計画・検討中〉普通高校・教務)

- 高校生を受け入れるだけの余裕が企業にないように見える。全校1200名、1学年400名を一斉に行かせることは不可能と思う。

(〈不明・無回答〉普通高校・進路)

- 週5日制完全実施、総合的学習の時間の導入など進学のための勉強にしのぎをけずっている中、インターンシップなどを実施するだけの時間的ゆとりなどない。そのようなことをしているは国立大入試の「5教科7科目」などできるわけがない。

(〈実施しない〉普通高校・教務)

- 本校では、インターンシップについては現在考えておりません。インターンシップのあり方についてはよくわかりません。特にQ8などは実感がなく答えにくいものでした。

(〈計画・検討中〉普通高校・進路指導部)

- 高校におけるインターンシップの実施については、何より、受け入れ側の企業の理解が前提である。まだ、郡部等の学校では、受け入れ先の企業そのものがなかったり、生徒の望む様な企業での実施は殆ど不可能である。公的機関の仲介や、資金面の援助等が不可欠であり、都市部と郡部の学校間での不平等は極力是正されなければならないと考える。

(〈不明・無回答〉普通高校・進路指導)

- 高校生のインターンシップは必要と考えるが本校の近くには企業が少ないのが現状である。

(〈計画・検討中〉普通高校・教頭)

- 以前にも後にもこの用紙を見せたのですが、本校ではやっていないので書き様がないということでした。再度来ましたが、又、同じ様なことをいってしまいましたので、書ける所だけ世話係の私が記入し提出したいと思います。提出が遅れ、申し訳ありませんでした。

(〈不明・無回答〉普通高校・進路指導主任)

- 現在の高校生は、職業観が充分形成されてなく、学習にもその分力が入らぬ面がある。現実を少しでも理解し、将来を考えることは大変有意義と思われれます。

(〈計画・検討中〉普通高校・校長)

- 社会事情の変化(サラリーマン化と専門性による細分化)により「職業観の教育」は最重要課題と考えています。従って短期・長期のインターンシップは小学校から大学まで形を変えて導入する必要があると思っています。インターンシップは高校までは職業観の教育を前面に、大学以上は職業適性と企業側からは人材確保という面をもって行うのが自然。報酬は高校までは無報酬、大学以上は最大の報酬、従ってアルバイト

とは明確に異なる視点が必要だと考えています。インターンシップを低賃金労働力の確保にしてほしくない。参加する側（高校まで）もされる側もボランティアの一環で。

（〈実施しない〉普通高校・校長）

- Career Education のひとつとして Internship の導入が学校教育で必要ではないか、またその時の条件はなどについて、どう考えるのかということは大切なことかもしれませんが、残念ながら日本では職業教育については制度的な面が多くなされ（高校も大学も）「職場で働く」ことの意味は多くの人の場合、かなりの経験によって体得したのではないかと思います。そもそも職業の真の姿を子供に早い段階で教えないような傾向があるように思います。職業の持つ要素を正負の両方をしっかり教えられる覚悟があるかどうかにかかっているように思います。、まず、その理念と緻密なSystemを構築できるかどうかにかかっているように思うのです。

（〈実施しない〉普通高校・校長）

- インターンシップについては、十分に計画を練った上での実践においては有意義なものとなるであろう。高校側が見た期間については、やはり長期休暇中においてのみ可能であるかもしれない。（新教育課程における週5日制から）

（〈不明・無回答〉普通高校・教頭）

- このアンケートの設問の内容が理解しにくい項目が多いように感じました。高校内部の意識についてもう少し調査した上で設問されたらと思いました。現在我が校では、志望する学部・学科が決まらない生徒が多いことに鑑み、1年次には「仕事・生き方」ガイダンスで社会人を招き（35人）、1時間ほど講演をしてもらっています。また、2年次には「学部・学科」ガイダンスで11

（〈実施しない〉普通高校・進路指導部）

- 大学の教授を招き1時間ほど講演をしてもらっています。インターンシップと意を同じくする部分もあると思っています。進路指導部としてはあくまで進学の一助になればとの思いが強いわけです。夏休みにインターンシップを2週間実施し、単位の取得を2-3単位認め、希望者に限定するのが現実的なのところでしょう。

（〈〉・）

- インターンシップの実施方法や期間によって回答が変わってくる質問がありませんか？

（〈実施しない〉その他・進路指導部主任）

- 将来の目標を持ってないまま、ただ学校生活を行っている生徒が多い。そんな中で、インターンシップの導入により、多くの仕事を知ることで自分が何に適しているのかを知るよい機会だと思います。本校のカリキュラムではインターンシップの導入は不可能に近いと思いますが、絶対に、これから必要になると思います。

（〈実施しない〉普通高校・教務部）

- 学校側、企業側、生徒、保護者の理解、協力があって成功して行くと思われるので、難しいものだいがあ

る。
（〈実施しない〉普通高校・教務部）

- よく工夫されたアンケート内容です。

（〈実施中〉普通高校・）

- 1. 全校又は全学年一斉に実施することは無理なので、授業と平行して実施することになる。その時は時間割り振りをどうするか、難しい。2. インターンシップの受け入れ先が少ないので、それを確保するのに大変な苦勞を要する。

（〈実施中〉商業高校・教頭）

- インターンシップの成否は、受け入れ企業があるかどうかで決まる。景気が停滞している中、受け入れ企業にはそれなりのインターンシップ受入謝金が支払うことのできる財源確保がほしい。

（〈実施中〉商業高校・進路指導課）

- 1. インターンシップを継続して実施していく場合、また、生徒の実施人数を増やしたい場合、受入企業の確保が最大の悩みである。公的機関等で積極的に支援して頂きたい。2. 事故等に際しての保険の補助を受け入れて頂きたい。

（〈実施中〉商業高校・教頭）

- 企業等は、教育に対し教員が想像する以上に真剣に考えている。しかし、学校は新しい取り組みに対し、消極的であり、危機感をもっていない。このことによって、インターンシップだけでなく、様々な取り組みが机上論的なものになってしまう。また、インターンシップだけに限って言えば、管理職のほとんどが実施人数だけにこだわり、その実習内容等にはあまり興味を示さない傾向にある。「全員実施」が立派なのではなく、「実施した生徒の心」が大切なのではないだろうか。教師を主体とした教育ではなく、他人の子供であっても生徒の将来を考えた教師をしようではありませんか。それが私の願いです。

（〈〉商業高校・渉外部）

- 現在本校では3年生の課題研究という授業の中の一部の生徒がインターンシップを夏休みに3日間で実施している。進路選択の立場から考えると2年生の後半で実施させたい。さらに全員が・・・という気持ちはあるがカリキュラム上学校の組織上今無理である。これを改善していかなければという課題を本校ではかかえている。

（〈実施中〉商業高校・教務）

- 高校・大学とも求人状況が厳しく、インターンシップの受入先選びが難しい。また、インターンシップの受入と求人の関連性はなくその期待もしにくい。専門高校では必修の方向で進んでいるインターンシップについて、本校では「総合的学習の時間」での実施に向けて検討中である。

（〈不明・無回答〉商業高校・進路指導部長）

- 産業界で積極的に受け入れ、指導・援助していただければ現状としてありがたいと思います。ぜひ、この調査内容をどこかの場面で生かしていただければ幸いです。

（〈計画・検討中〉商業高校・教務）

- 生徒が将来の進路希望に応じたインターンシップを体験することは、地域の受け入れ企業の数からみて困難である（本校は2年生198名、69事業所をお願いした）。社会的スキルの修得にはある程度望めると思われるが、この事業を今後継続して実施してゆくには、社会的コンセンサスの形成が必要であろう。また、学習意

- 欲の喚起、主体的進路選択に取り組む態度の育成の為には、インターンシップの内容をどの様に充実させるかが重要と考えられる。枠組みとしてのインターンシップはスタートしたが教育的意義を高める取り組みは、今後の課題である。（本校は、11月下旬3日間の実施である）
- （〈実施しない〉商業高校・進路指導部）
- 同時期に、企業で多人数の受入先確保が難しい。
（〈実施しない〉商業高校・教務部）
 - 1. 積極的に受け入れてくれる企業が現状では少ない。就業体験中、企業にとっては収入損益面でデメリットが大きい。公的な補助のようなものがなければ受け入れ先の確保が困難。2. 事故が起こった場合の対応（特に保険関係）
（〈実施しない〉商業高校・教務）
 - インターンシップは生徒の自立、目的意識を高める為に大変良いシステムだと思います。しかし、相手先の見つけ方が大変難しいと思うのですが、実施されている学校の苦労話、ノウハウを聞きたいと思います。
（〈実施中〉商業高校・教頭）
 - 勤労を体験する事は大切でありインターンシップの必要性は感じています。ただ本校の様に受け入れ企業の少ない地域では、地元との協力が不可欠です。
（〈実施中〉商業高校・商業部）
 - 高校段階でのインターンシップの教育効果は大きいものがあると確信している。大学でも一段と充実した長期のインターンシップを準備して欲しいと強く願っています。
（〈実施中〉商業高校・商業科主任）
 - 社会（企業）全体が本気で子供達を大切に育てることを考え、それを行政が力を入れて押し進め、地域一体となって進めてもらいたい。現段階では、受け入れていただける企業数も、人数も少なく生徒の希望に十分に対応できない。
（〈実施しない〉商業高校・進路指導部）
 - 生徒にインターンシップを体験させたいと考えている。企業等の受け入れができるか？生徒にとって意義のあるインターンシップとなるか？教師の理解も必要である実施に向けて今後検討していきたい。
（〈実施中〉商業高校・教務）
 - 改めて、大変参考になりました。
（〈実施しない〉商業高校・教務部主任）
 - インターンシップそのものについては理解できる。ただし本校を取りまく企業体では、インターンシップに協力してもらえそうな企業は少なく、受け入れが不可能と思われる。
（〈実施中〉商業高校・教頭）
 - 学期中の実施は影響が大きすぎるように思います。長期休暇を利用して、地域の企業に多くの生徒が参加できる体制が大切かと思う。
（〈計画・検討中〉商業高校・進路指導部長）
 - 今後さらに推進していく必要がある。
- （〈計画・検討中〉その他・教頭）
- インターンシップ受入先の確保が大変である。受入企業が少なく、専門高校が多数の場合には、時期の調整など必要になろう。1校で考えた場合にも、多くの生徒を受入れられる企業数がない地区では困難である。インターンシップを定着させるには、インターンシップについての理解が社会全体になされることと、受入企業への公的優遇策や、公的機関の働きかけ（関与）も必要かと思われます。
（〈実施中〉商業高校・教頭）
 - 本校では今年度から2年生で実施いたしました。経費等について課題はありましたが、企業側からも好評を頂き、又、生徒からも貴重な体験となったという感想を多く聞き、今後共継続したいと考えております。本調査を参考にしたいと思しますので、結果の送付をよろしくお願い申し上げます。
（〈実施中〉工業高校・教務部）
 - 求人等で来校する企業にインターンシップの受入れについてアンケートを行った。正直なところ企業はなるべくなら受入れしたくない事がわかった。その理由としては短期の就業体験では、工業高校生に就いてもらいたい職種を体験させられないので企業を理解してもらえないとの事である。1ヵ月以上のインターンシップや、1日だけの見学程度なら総務で対応できるので受け入れられるとの事である。
（〈実施中〉工業高校・進路指導主事）
 - インターンシップ先の確保、制上の配慮等企業にメリットがないと日本で定着していかないのではないかと
（〈計画・検討中〉工業高校・教務部）
 - 具体的な受け入れ先が見えてこないで検討が先に進んでいません。
（〈実施中〉工業高校・進路指導部）
 - 現場（高校）からも要請もなく導入し、議論もなくお上のおしつけだけで実施される情勢には問題がある。インターンシップを受け入れる会社も情報・機械関係で建築科の生徒を受け入れる建設会社は皆無である。職場は非常に迷惑しているのが現実では？
（〈実施中〉工業高校・建築科主任）
 - インターンシップの受け入れに対して企業は消極的である。公的な機関による企業へのインターンシップ受け入れの動機づけが必要である。受け入れることによる何らかの企業へのメリットを保障してやらねば現在のような不況下において、生徒を受け入れる企業は少ない。
（〈計画・検討中〉工業高校・建築科科長）
 - 1. 昨年度は機械科2学年35名（全員）で実施。2. 今年度は各科10名、計50名を3回に分けて実施。（1）企業の確保が大変である。（協力企業の確保）（2）損害保険（保障問題）が心配である。（3）年に3回実施すると準備等が大変である。
（〈計画・検討中〉工業高校・機械科科長）
 - 現在2年生1クラス/6クラス、3年生/6クラスが3-4日の日程で実施している。今後の課題として学年、日数の統一、全クラス実施、保険加入等があり、検討が必要である。また、受入企業数も景気に左右され、協

力企業の確保が難しい状況である。

(〈実施中〉その他・学業指導課課長)

(〈実施中〉工業高校・教務)

- 現在のインターンシップは学校の要望に企業が応じるという形がほとんどであると考えられる。日本の若者の将来、日本そのものの将来のためにはインターンシップは必ず効力を発するものだと思う。文部省や労働省が共にリーダーシップを発揮し、現実に沿った確実な職業観を生徒・学生に身につけさせるよう社会全体の問題として捉えるべきである。

(〈実施中〉工業高校・進路指導部)

- 本校では希望者による選択履修形式でインターンシップを行っている。そして、これを学校設定科目「職業体験」として増加単位1単位を認めている。この方法が今のところベストと思われる。

(〈実施しない〉工業高校・工業部主任)

- 「インターンシップ」についての詳細を把握できていないので、何とも申しようがないのですが、新学習指導要領の“総合的な学習の時間”の中に枠組みできるような内容であると、今後の学習活動面で新風を吹き込めるのではないのでしょうか？

(〈計画・検討中〉工業高校・教務部)

- インターンシップを実施しているがうまく生徒の進路選択や職業観の育成には結びついていない気がする。1週間の体験であれば生徒はじょうずにその企業に溶け込んでやっている。遅刻等をする事なしに。それを学校に戻ってから同様な行動を取るかという点と全く別である。学校に戻れば基本的な習慣の身につけていない生徒はそれなりになり、真面目な生徒は真面目なままである。世間で期待している程は、インターンシップの効用はないと思うが、100のうちの1-2でも何かの刺激を生徒に与えることが出来れば良いとの考えに立って、インターンシップには賛成である。調査についてもいくつかの高校を選んで数年にわたって実施し、その中で学校に出かけていき、またインターンシップ時にも教員と一緒に企業をまわって生徒の様子を見ればよいのではないのでしょうか？

(〈不明・無回答〉工業高校・進路指導部)

- 職業観の育成には、インターンシップは非常に有益であると思う。

(〈計画・検討中〉工業高校・進路指導部)

- しょうじきな所、見学会、体験授業等は実施していますが、動機付けとしてはよいのですが、その後の学習への方向づけが難しいです。また、本格的なインターンシップは、学内の行事として非常に負担が大きく計画段階で困っています。

(〈実施しない〉普通高校・進路主任)

- 大学生はいざ知らず、高校生は幅広い進路知識、意欲、体験を重視する。専門的具体的であるが必要性はなく、見学+3日程度の体験ぐらいにとどめる。むしろボランティア体験こそ重要である。

(〈実施中〉普通高校・副校長)

- 生徒が企業の業務を直接体験することで、自己を正しく認識し、仕事に取り組む態度を磨き、就職について真摯に考える教育効果も高めたい。現実社会の厳しさに接することによって社会人としての自立を促すことを本校の実施目的・必要性としている。

「大学自由回答」

- 本学におけるインターンシップの派遣期間は実質的には1週間程度である。しかしながらインターンシップの内容充実及び受け入れ企業の研修体制を考えると、派遣（受け入れ）期間の大幅延長が必要ではないのか。
(〈計画・検討中〉工学系)
- ただ単なる就労経験でなく、産業界と大学（短大、高専、高校を含む。）とのパイプを持ち、国が援助していく体制を持つ必要がある。将来の幹部育成のためのインターンシップ制度も併せて考慮する必要がある。
(〈計画・検討中〉教員養成系)
- 本学は教育学部以外の大学であるが、これまで教員養成課程と総合科学課程から成っており、今年度から改組して教員養成4課程と学芸4課程とした。総合科学課程学生（2年生以上）と学芸4課程学生は、主として学校教育以外の社会全般に進出する学生であるので、彼らは、インターンシップを通して卒業後を見据えての自覚と心構えを充実させることが必要とされる。教員養成課程にあつては、職場体験としての教育実習等が単位としてその教育課程の中に位置づけられているようにインターンシップ等の就業体験を総合科学と学芸4課程の学生の教育課程の中にきちんと組み込む事は、彼らの学生生活を一層充実させることになる。何よりも教員養成の学生と分け隔てなく公平に教育的サービスを与える事である。
(〈実施中〉教員養成系)
- 本調査について、回答内容は本学インターンシップ担当教官によるものです。
(〈実施中〉工学系)
- 質問項目が当大学にそぐわない点も見受けられる。
(〈実施中〉理学系)
- 受け入れ数の関係で企業とのマッチングがうまくいかない場合がある。単位認定していないので学生の希望者が少ない。
(〈実施中〉商学・経済学系)
- 学生側から見たインターンシップ参加の選択肢を広げるため参加協力企業の数をふやす努力が望まれる。
(〈実施中〉工学系)
- 大学側は、インターンシップを正規の教育課程に位置づけようとする動きも見受けられるが、これに対して企業側は本格的実施については消極的な意見が目立っている。これに関しては、企業側は受け入れに対して時間、人員を含めた相当の負担がかかるのが原因であろう。また、特に学生側から要望のある夏、冬、春休みの実施についても、学生、企業、双方にとって選択肢が広がり、負担軽減につながるのであれば本格的実施に向けてそのあり方について検討すべきであると思う。
(〈実施中〉商学・経済学系)
- 企業側（受け入れ先）の体制がまだ整っていないと思う。幅広い業種の受け入れがあれば、今後インターンシップは推進されるだろうが、又、今の学生は無報酬だと興味を示さないのが現実である。
(〈実施しない〉その他)
- 企業側の受け入れ期間が途中で変更となり、初めから申し込み予定していた学生が参加できなかったことがあり、途中での変更はしないで欲しい。
(〈実施中〉人文学系)
- 大学としてインターンシップの初歩的な勉強を始めた段階である。まずは埼玉県庁のインターンシップ受け入れ計画を活用して少人数から実施していく事になるのではないかとと思う。民間企業については本学学生の就職先が地元の中小企業（卸・小売、サービス業が中心）であり恐らく企業としての受け入れメリットを見つけ難いことから、まず実施は無理だと思っている。学生にインターンシップ実施の効果をも別の形で実現するのが現実的と思う。
(〈計画・検討中〉人文学系)
- 日本において、人材育成という考え方がかなり遅れているため、インターンシップという制度が、職業の理解、学習（研究）の向上という観点から、本当に学生（生徒）のために活かそうとしているのか、企業・学校双方の意志に問題ありと考えている。もしそうなら、このような制度をわざわざ別枠で考えるのではなく、日常的な中で行われているはずと考えるからである。その意味で、本学でも学内で理解をとりつける積極的な取り組みに欠けているのが現状である。
(〈実施しない〉法学系)
- 特に、中書企業における受け入れが難しい。しかし、大企業に行くよりも中小企業の方が厳しく教育をしてくれるので意味がある。今後、中小企業の受け入れが増えることを望む。
(〈実施中〉人文学系)
- 設問に工夫が必要（Q6、12）。本学は本年度から全学的にインターンシップを授業科目に組み込んで実施しましたが、まだ成果発表会を行っておりませんので、次年度に向けての改善は12月頃になります。アンケートは①実施している大学②検討中の大学③未実施の大学等に分けてやった方が回答しやすいと思いました。回答に迷った設問もあります。この点についてはご容赦ください。
(〈実施中〉工学系)
- 学習の場でやることかという気持ち強い。本来、もっと別の場で個人的に培うものだと思います。
(〈不明・無回答〉人文学系)
- 先日、代々木で開催された「インターンシップ・フォーラム2000」で吉本先生の主張も伺うことができました。本学では学部性格（管理栄養士及び保育士、幼稚園・小学校教諭養成）上、新たにインターンシップをおくことがむずかしく、来年度から短大専攻科にて試行し、学部生は自由科目として受講可能となるレベルですので本調査の回答は保留いたしました。今後も先生方の大学としての立場での発言に期待しております。ともすれば、企業主導で話が進む実情はいなめません。
(〈計画・検討中〉家政学系)

- インターンシップについては企業および学校にとってまだまだ負担度が大きいように思われる。本調査の各設問に対して、インターンシップ認識度合（理解度）により回答が異なってくるのではないかと。非常に回答しがたい設問が多かった。（かなり私見的回答になってしまった）
（〈実施しない〉人文学系）
- 本学の就職課では学生に対して卒業後すばらしい職業人生を過ごしてもらうにはどうしたらよいか、その知恵を身につけてもらいたいと思います。その延長で、実際の体験の場としてインターンシップの重要性を感じております。
（〈実施中〉人文学系）
- インターンシップは、社会に出る前の学生にとって貴重な体験になると思うが、資金援助の面など難しい問題もある。
（〈実施しない〉人文学系）
- ①本学の場合、人文学部のみであり、学部教育と職場教育をどうリンクしていくかについて明確になっていない。②学部教育と単位化との関係が課題 ③企業側の受け入れ態勢が十分整っていない現状にあると思う。③アルバイト過多の現状を見ると、アルバイトとインターンシップのリンクが必要とされている。
（〈計画・検討中〉人文学系）
- インターンシップの目的は、「就業意識」と「ミスマッチ防止」が大きなウェイトを占めると考えます。つとめて多くの学生に何回か就業体験させて上記目的が達成されると考えます。大学側は、就業意識の低い学生を重点的に、企業側は多種・大規模な受け入れが必要であり、双方の積極的な努力があって目的は達成されると考えます。
（〈実施中〉工学系）
- 要望：行政側の積極的な関わりが必須である。初めだけからんで、後は大学と企業にまかせる、ということでは浸透しない。また、企業側の建前上のメリットでなく、本音のメリットが何であるか、どこにあるのかをしっかりと把握する必要がある。意見：設問の中には、大学側の取り組み姿勢如何、或いは受け入れ企業の意識や体制、取り組み姿勢で答えが変わるところもあるので、回答が難しいところがあった。前提条件をもう少し付け加えると精度がもっと上がると思われます。
（〈計画・検討中〉人文学系）
- 本学の場合、インターンシップ参加希望の学生はかなりの多いと思われるが、夏期休業中（インターンシップ期間）に集中講義等が入るため、希望者全員が参加できないのが残念である。
（〈実施中〉人文学系）
- インターンシップ事業に参加する企業が増加し、学生が自由に選択できるようになることを望む。
（〈実施しない〉人文学系）
- 当学部の学生がインターンシップに行き、メリットのある企業は、地域には殆ど無い（実は就職先も少ない。）。地域内で行くとしたら自分の学んでいることと直接関係ないところとなる。
（〈実施しない〉理学系）
- インターンの学生を受け入れる会社等側が、「教育機関とともに力を合わせて、真の職業人となるための教育を行う一つの形態が、インターンシップである」という認識を確立して頂かないと、業務の消化あるいは学生の青田買いの一手法になってしまう恐れがある。さらに、地域差（大学の位置と、企業が多く存在する地域との差）も大きな問題となり、何らかの方策を考えておく必要がある。
（〈実施中〉工学系）
- 企業側と高校、大学側の十分な打ち合わせ、意志疎通が必要だと考えます。まずは、インターンシップよりも企業の方の高校や大学での就職についての考え、働くことの意義などの講義などから始めた方がよいような気がします。
（〈実施しない〉農学系）
- 注：以上のアンケートは、インターンシップに取り組んでいる土木工学科の担当者に回答してもらったものです。なお、学部全体としては取り組んでいません。
（〈実施中〉工学系）
- インターンシップの公的仲介機関の設置を全国的規模で実現し、全国の大学がカリキュラムの一環として利用できるようなものが効果があると考えます。大学インターンシップ・センターの設置。
（〈実施中〉工学系）
- 工学部では実社会での経験である企業実習は以前から組織的ではないが行われている。インターンシップの意義は講義、実験実習等の大学で学習した知識を実社会で現実に行っている場合の総合的な学習が行える点にある。最近、高校、そして大学においてさえも学生は断片的な知識は豊富であるが、各自の将来の目的に関係する総合的な判断能力は極めて低下している。それは社会教育の不足に由来するのである。その意味において、一般教育的な素養の育成、そして学習の意義を理解する上でインターンシップは意味のある試みである。
（〈計画・検討中〉工学系）
- ①インターンシップ受け入れ先（企業等）について、学生の希望が集中する傾向があり、調整に苦労している。②インターンシップ先の宿泊施設の確保について、希望者が個人で確保しなければならない例もある（特に女子学生向けの宿泊施設の確保が困難）。今後の検討事項である。
（〈実施中〉農学系）
- 大学教員のインターンシップへの理解が不十分である。学生の教育に対する認識が不足している。それゆえ、インターンシップの推進体制が組織化しにくい。（一部教官の負担になっている）
（〈実施中〉その他）
- ①参加する学生の目的意識が大切である。②大学・企業・学生間での研修プログラムに関する事前調整が一番重要である。③アンケート方式では一つの問いに対する答えが、YesかNoになってしまう。問いに対して良い面、悪い面両方がありえる場合があり、答えられない場合が出てくる。

(〈実施中〉工学系)

- ①担当教官の負担が過大になっている。学生と企業の直接交渉によるマッチングと報告システムが必要であり、公的インターンシップに関する作成書類が多すぎる。②アルバイトとインターンシップは学生も受け入れ側もまったく別のもと考えないといけない。いくつかの設問は疑問である。

(〈実施中〉工学系)

- インターンシップの意義が正しくとらえられているか疑問である。我が国の大学における教育の重点は、基礎知識の習得におかれ、応用面は卒業後に期待されていることを考えれば、インターンシップはもっと重視されてしかるべきである。ただ、学生の意識がアルバイトの延長にとどまっている現状では、インターンシップを充実させることは相当に困難である。

(〈実施中〉工学系)

- 本学部は、法学科と経済学科、総合政策学科とでかなりカリキュラムの編成が異なっており、学部として回答を求められても困るものがある。インターンシップと言っても、大学が主体となって教育の一環として行われるもの、企業が学生を募集して大学と関係なく行うものがある。後者は有償であるが、完全なアルバイトとは言えない。この調査は、そのような実態を踏まえて行っているのだろうか。

(〈実施中〉その他)

- 受け入れ側の企業での対応が人手不足で困難な状況にあり、斡旋するのが難しい状況にある。

(〈実施中〉工学系)

- 学部単位で質問されても的確な回答は難しい。今回の回答も、必ずしも学部全体としての意見ではなく、ある学科の経験に基づくところが大きい点をご留意願いたい。

(〈実施中〉工学系)

- 本学部でインターンシップとして実施しているのは優良農家における一週間の宿泊実習である。そのため、就職とは直接的に結びつきにくい、会社員の子弟でありながら農業を始めた学生も2、3おり、実際の職場での体験が大きな影響を与えることが実感できている。

(〈実施中〉農学系)

- こうした調査により、現状と問題点を広く示して欲しい。

(〈不明・無回答〉人文学系)

- 今年から始めたばかりで今後の推移を見守りたい。

(〈実施中〉その他)

- 本学部のインターンシップは、今年度より始まったばかりであり、派遣対象となった企業・役所は3カ所、派遣人員も5人という小規模なものであったため、全てがまだ暗中模索の状況である。ただ、参加した学生は、企業と消費者との意識のズレを実感したり、見かけと異なった業務の大変さ、社会人となることへの覚悟を知るなど、おおむね有意義だったという感想を持っているので、今後ともこのプログラムは継続したい。強いて問題点を挙げるとすれば、

企業の側が学生をアルバイトと同等に見なし、彼らの視点から(例え幼いものであれ、)学ぼうとしない所であろう。

(〈実施中〉人文学系)

- インターンシップに限らず、色々な教育改革が提示されるが、実際に実施してみると、担当教員、企業の担当者の負担が非常に大きい。立案する側は、机上のプランだけでなく、自分で実際に手がけた上で学校にプランを提示して欲しい。

(〈実施中〉理学系)

- 項目が多く、大変である。もっと整理して大事な項目のみにすべきである。

(〈実施中〉工学系)

- インターンシップを単位化するにあたって評価スタンダードのようなものがあればと思います。特に、業種毎に高校、大学のそれぞれについて企業側の意向を知りたいのです。

(〈実施中〉理学系)

- 昨年度(平成11年度)から実施したばかりであるが、学生は概ね好評である。

(〈実施中〉工学系)

- 文部省、通産省、労働省の主導を一本化して欲しい。受け入れ先のインターンシップに対するより良い理解を促して行きたい。

(〈実施中〉人文学系)

- 専門家によって事前指導、ガイダンス体制の整備が必要である。

(〈実施しない〉理学系)

- 現在、文部省が考えているインターンシップは、就職とは関連づけられないとの立場で行っているため、専らカリキュラム関係の担当部署で処理している。インターンシップの重要性が人口に膾炙し、体験する学生数や受け入れ企業数が増加してくれば(また、文部省もインターンシップを推進しようと考えているなら)専門的な部署(専門の担当者)の設置や育成に予算を割くべきだと思う(安定した実施に向けて)。なお、大学で行うインターンシップは大学教育の中での位置づけを明確にし、もっと長期にわたる就業体験を必修科目として開設できるような方向へ検討していくべきだと思う。なお、担当者の私見での回答です。御了承ください。

(〈実施中〉工学系)

- 本学部では、本年度1名のインターンシップ参加者がありました。まだインターンシップが定着していないように思われます。

(〈実施中〉人文学系)

- 本学部では、各学科ごとに企業実習、企業見学を企画実施しており、新たにインターンシップを取り入れても効果は小さい。それぞれの大学・学部の状況に合わせてインターンシップ事業を展開していくことが望まれる。

(〈実施中〉工学系)

- ①教官の理解のなさがインターンシップのあり方に問題を作っている。②学生があまりにもアルバイト(日当のお金の高い方)のみ学生が流れる)に時

- 間をとられすぎ。③興味のある調査です。まとまったら1冊お送りください。
(〈実施中〉教員養成系)
- まだまだ学部内構成員(教職員及び学生)のインターンシップへの熱意(本当に必要と感ずること)が不足している。一般的な意識の向上と共に、理解を深める手法を考えることが大切である。多くの場で検討が進められ、全員が積極的に取り組める方向へ進めていって欲しい。本調査中の一部にやや理解しがたい部分があり、回答に困った。
(〈実施中〉工学系)
 - 薬学は、薬学研究と薬剤師養成を目的としているのでインターンシップについては、以前から病院・薬局における実習科目として卒業要件に組み込まれている。従って、本調査の質問項目の一部には、現状と整合しないものが含まれている。
(〈実施中〉薬学系)
 - 全学生が一律に行うことは不可能である。企業側が全て受け入れる事も不可能である。したがって、ある選抜された学生に制限すべきである。
(〈計画・検討中〉工学系)
 - 地方大学は地元の企業が極く少なく、大都市周辺へ出なくてはなりません。(食事)宿泊は企業もちでという依頼に、良い回答は得られておりません。最低限どこかでそれを保証しないと、インターンシップは定着出来そうもありません。報酬という方では、アルバイトとの違いが判らなくなります。本調査でも、報酬・無報酬の分け方で宿泊負担のみはどちらへ入れるかが判定できませんでした。
(〈実施中〉農学系)
 - 窓口を一本化して欲しい。
(〈実施中〉理学系)
 - 文部省からの予算は年度毎にバラつきがあり、施設への謝礼等に関して苦勞している。文部省はきちんとした予算措置をすべきであり、それができないのであれば、安易に推進すべきではない。又、教員の負担が大きくなり、研究に支障をきたす恐れがある。287 無回答
(〈実施中〉教員養成系)
 - 反応カテゴリー間の間隔が必ずしも適切とは思えないものがあり、とても答えづらい設問がありました。また、企業の反応についての問いに対しては、正直言って「分からない」としか答えようのないものがあり、やはり回答に苦慮しました。
(〈実施中〉その他)
 - インターンシップは企業のホームページで募集され、学生はそれを検索して、応募する。企業はメール等の応答の様子で受け入れの可否を決め、可の場合は受け入れる。受け入れ期間が終了の後、企業・学生が大学にレポートを出し、単位を認める。これが本来の姿。②大学や公的機関がインターンシップの世話をしないのが良い。③企業の人材集めとして自然にインターンシップは増加すると思うので、しばらくほっておくのがよい。
(〈実施中〉理学系)
 - ①官主導のインターンシップは実態にそぐわない。綿密なマッチングが最重要と思うが、それがなされえない。②現在実施中のインターンシップにも様々な形態がある。それへの理解が欠けているため、設問が必ずしも適切とはいえない。
(〈実施中〉教員養成系)
 - インターンシップに関する社会へのより一層の啓蒙が必要。このような調査の結果をフィードバックして、制度の改良に役立ててください。
(〈実施中〉理学系)
 - ①報酬については企業側の裁量事項であり、無報酬が原則でも異論はないが、交通費・食事費については学生の負担が重く、実費程度は受け入れ企業等で支給して欲しい。学生側にも参加しやすい環境をつくってやる事も必要である。
(〈実施中〉工学系)
 - 学部または学科によっては受け入れ先が限られている。受け入れ先の拡大充実を計る。また、ある程度の受け入れ先の資格基準を作る必要もあると考える。
(〈実施中〉農学系)
 - 教員側がインターンシップを体験させたい(体験してもらいたい)と考える企業や業務内容と学生側が望む企業や業務内容がだいぶ異なっている。
(〈実施中〉その他)
 - 現在の所、インターンシップを就職と強く結びつけて考える向きがある。結びつきその自体は悪い事ではないが、就職の早期化傾向と結びついて大学での勉強に悪影響を及ぼす危険があるのではないか。その様な危険を避けつつ、勉強の目的の明確化、積極化を推進できる様なシステムを構築していく必要がある。
(〈実施中〉法学系)
 - 設問の意図がわからない項目が多く、正しく回答ができたかどうかやや不安です。
(〈実施中〉農学系)
 - インターンシップを本学部で実施するようになってから3年になります。インターンシップするための事前指導にも力を入れ、教員希望者にも参加するよう勧めています。これを実施する就職委員会も年々“力”を入れているようです。
(〈実施中〉教員養成系)
 - 質問が本学部で行われているインターンシップとずれている。本学部で行うものはもっと教員の手作りのインターンシップである。本アンケートによるインターンシップのイメージでは位置づけが弱いのではないか。本学部では教員対企業・学生との接触、指導が密であり、そうでなければやっていけない。本アンケートは形式のみの質問であり、実態については不問である。
(〈実施中〉人文学系)
 - 一部の学科を除いて自由選択科目で実施しているが希望者が少ない。まだ社会的な認知度が低いと思う。地方大学では地の利が小さい。インターンシップ奨学制度のようなものがあると良いと思う。

(〈実施中〉教員養成系)

- 本学では、現在二系統のインターンシップ授業を開設している。ひとつは各学部が専門教育の中の授業のいくつかをインターンシップ授業として位置づけ、学内での講義と現場実習を有機的に連携させるものである。もう一つは、全学インターンシップ委員会が職業意識を育成させる目的で、全学の学生に開設している「企業研修（インターンシップ）」という授業で、これの運営は委員会と学生部教務係で行っている。企業開拓をはじめ、学外との接点にあたるのは県インターンシップ推進協議会、通産局、県などと大学が連携しておこなっている。本年度は、二つの系統のインターンシップ授業を合わせて、本学3年次学生の約1割がインターンシップ授業を体験しているが、近い将来これを3割程度まで上昇させたい。そうすることで初めて組織としてインターンシップの効果があがるのではないかと考えており、努力中である。
(〈実施中〉理学系)
- 設問者がインターンシップをよく理解してないのではないか。設問がわかりにくい。
(〈実施中〉農学系)
- まだまだ実態が不鮮明で具体的にどんな段取りで取り組めばいいのかわかりません。
(〈実施中〉人文学系)
- 大学側が期待するインターンシップは企業に大きな負担となり、企業が安易に受け入れれば、教育効果のないものとなりかねないという難しさがあると思われる。選択科目として一部の少数の学生から実施し、改善・充実させていくのも一方法であろう。
(〈実施中〉薬学系)
- 現在のところ実施主体は個人レベルであり、組織的な盛り上げに全く欠ける。
(〈計画・検討中〉人文学系)
- 地方大学においては、企業が少ない事もあり受け入れ先の選択・承諾が困難。単位認定化する場合、初規約の整備等を含め、諸問題があるが、大学としては実施の方向で検討している。
(〈計画・検討中〉商学・経済学系)
- インターンシップとしての制度は良いと考えられるが、それを実行するには、企業側への報酬や、学生への旅費、宿泊費などの経費をどうするかが一番の問題となっているので、これを解決する方法を考えている段階である。長崎には製造企業がないけど、地方特有の問題があるようです。
(〈計画・検討中〉薬学系)
- 当該学科では必修科目として課しているため、学生にとっては極めて良い経験になっている。しかしながら、100名の学生分の受け入れ企業を探すのが大変な業務になっているので、インターンシップの仲介機関が増えることを希望する。
(〈実施中〉工学系)
- 当学科で行っているインターンシップ事業は工場見学、工場実習、企業人による講演会の3つである。この中の一つを取り上げて調査されても全体像はつかめないと思います。また、人がどのように考えて

いるかを問う設問は意味がないかと思います。

(〈実施中〉工学系)

- 学生にもっと意欲を持って欲しい。
(〈実施しない〉工学系)
- 社会人、職業人に必要とされる基本的な意識、意欲の高揚と、そのための知識や能力を付けさせることを最優先に行うことが大切と考える。
(〈実施中〉農学系)
- Q14は答えにくい所がありました。Q13についても同様です。
(〈実施中〉人文学系)
- 本学は薬学部であり、インターンシップに類することとして病院薬剤部、保険調剤薬局における1ヶ月の実務実習を3年次に行っており、力を注いであります。また、薬剤師は免許が必要なので学部学生がアルバイトで行うことは出来ませんが、学生が個人的に病院薬剤部に夏期休暇等を利用して研修に行くことは可能です。製薬会社対象としたインターンシップは現在のところ行っておりません。
(〈実施しない〉薬学系)
- 企業側の受け入れ体制がまだ整っていない。希望者が多くても、受け入れ先がない場合が多い・仲介機関が必要になることが予測される。
(〈実施中〉工学系)
- 地方大学なのでどうか分かりませんが、学生の意識が低い。
(〈実施中〉教員養成系)
- 受け入れ企業の開拓に苦労している。
(〈実施中〉商学・経済学系)
- 現在、個別の大学や学部の努力によって実現されているが、もっと社会的に実施できる体制、例えば他県出身の学生が自己の県に戻って実施できるように体制が実現できれば理想的である。
(〈実施中〉教員養成系)
- 教育学部の様な教員養成の学部としては教育実習を義務づけており、教員としてのインターンシップは義務として存在している。一方、教育学部卒で教職に就く者は30%程度である。現状をみると、教員養成系の学部においても将来は積極的なインターンシップが必要と思われる。何よりもその大きな理由は労働に対する若者の価値観がここ数年、特に希薄になった。その結果の1つとして、フリーターの激増、勤労に対する意識変化には看過できない問題をはらんでいるように思われる。
(〈実施しない〉教員養成系)
- Q8、Q9のようにネガティブな回答を引き出そうとする質問には回答しかねます。インターンシップに出かけた学生たちは、それぞれ感動を得て帰学していることから各自きちんとした対応が出来ていたと考える。
(〈実施中〉理学系)

- インターンシップに関して理解もあり、参加意欲もある学生と、そうでない学生との格差が著しい。後者の学生に対し、インターンシップの意義を理解させることが重要。ただし、その手段として単位を位置づけるのは適当ではない。
(〈実施中〉その他)
- 薬学では、インターンシップ制度の確立。4週間研修。大学院では6ヶ月。卒業研修体制の構築が全国的に移行をめざしている。
(〈実施中〉薬学系)
- 現在、当学部のカリキュラム上の時間的余裕は1～3年までにおいてはほとんどなく、4年生においては就職活動に多くの時間をとられ、卒業研究も十分な時間を取るのが難しい状況にあります。従って、当学部ではインターンシップのあり方を考える以前に、インターンシップを導入するカリキュラム上の時間的ゆとりがないのが現状です。
(〈実施しない〉その他)
- これを大学教育から切り離しておく方がよい。理論的な考え方を学生が培う時を教育は持つべきであるから。仕事も経験を持つ人が大学に入るのには大いに賛成。その人が同じ事をより小さな形ですることに教育の上での効果はない。
(〈実施中〉人文学系)
- 本学の場合、国で動いている実務研究をインターンシップと捉えて上記アンケートの答えた、それ以外の一般的なインターンシップは大学院も含め望ましいものと受け取っていない。
(〈実施中〉薬学系)
- 具体的な経験は、学部としてはなく、回答で求められている内容には具体性があるため回答したものについては推測によらざるを得なかった。従って的確性については疑問。Q11は前提の(高卒就職か進学か)を抜きに書けない。
(〈計画・検討中〉その他)
- インターンシップへの参加学生本人に目的意識がある場合のみ有効である。参加すれば何かが得られるとの軽い思いでの参加は意味がない。インターンシップを啓発するに当たっては、この前提を十分に周知させる必要がある。
(〈実施中〉工学系)
- 現在、インターンシップの導入を検討していますが、就職のための準備としてだけでは、大学にとってあまり意味あるものとは思えない。あくまで大学教育の一環として位置づけが重要です。その点が企業サイドにどの程度理解されているのかが懸念されます。
(〈計画・検討中〉商学・経済学系)
- インターンシップ制度導入している企業はまだまだ少ない。
(〈不明・無回答〉商学・経済学系)
- 当方学部は、6学科から構成され、各学科は複数の大講座から構成され、各大講座は複数の教育・研究分野から構成されている。各々の構成ごとに本調査の回答は異なるものと予想し、平均的な意見を想定しながら回答させて頂いた。
(〈実施しない〉理学系)
- 工学部の場合、多分野(学科)から成り、各分野毎に考えや教育方法、業界との結びつきなどが異なる。したがってこの種のアンケートに学部としてまとめて回答するには無理があり、また、回答内容で学部の意見や考えがまとまっているとは言えないことに注意する必要がある。
(〈実施しない〉工学系)
- 調査票は、実際にインターンシップを実施している学科の教育委員の先生に記入していただきました。工学部では、13学科の内、1学科だけが実施しています。他の12学科が実施できないのは、受け入れ先企業が確保出来ないためです。本学部では、インターンシップを授業の一環として、単位認定を視野に入れて検討を行っていますが、「企業に相当な負担を強いる。」「授業の一環としての業務を提供できる企業は少ない。」「企業が受け入れる学生数には限りがある。」との意見が多い。
(〈実施中〉工学系)
- 設問や選択肢が適切でないと思われる問があり、実情が伝えられたかどうか分からない。また、後半の設問は個人的な見解として回答するしかなかった。
(〈実施中〉農学系)
- インターンシップが始まったばかりで、諸制度(保険、単位の認定、・・・)が定まっていない。今後、あらゆる事態を想定した制度の確立が待たれるところである。
(〈実施中〉商学・経済学系)
- より多くの学生(できれば希望者全員)が参加できるようなシステムが望まれる。
(〈実施中〉農学系)
- インターンシップの制度を日本で定着させるためには、教育現場のかなりの努力が必要と思われる。
(〈実施中〉家政学系)
- 時期尚早。仮定の設問に対する回答は信用がおけない。
(〈実施しない〉その他)
- Q3につきましては具体的ではありませんが、した方がよいという意見が多く、する方向で検討中です。
(〈計画・検討中〉工学系)
- 本学では、今年度よりインターンシップを授業の一環として取り入れている。事前指導、実習、事後レポート等の結果、スタート時の授業目的はほぼ達成されている。企業、学生、大学の3者間ではそれぞれ満足する成果を上げることが出来た。今後は、学生の要望する職種でのインターンシップが出来るように、実習先を開拓し、より充実したものになりたい。
(〈実施中〉商学・経済学系)
- ①本調査票は、インターンシップ必須の前提で作成されている。インターンシップ不要の考え方を掘り起こすことも必要であろう。②インターンシップは、大学を企業戦士養成所化する危険性を孕んでいる。大学という教育機構の本来のあるべき理念を就職予備校と規定するなら別だが、そうでないならば、大学の理念をまず明瞭化、強化すべきで、現在のイン

ターンシップへの（国の？）姿勢は基本に欠けている。③学部カリキュラムの教育効果を高めるのに現在は精一杯であり、インターンシップに対しては、消極的にならざるを得ない。

（〈実施しない〉人文学系）

- アンケートを答えるにあたって自分をどの立場において答えるべきか迷い、設問によってそこがぶれてしまいました。長期的視野に立った教育者の立場と、現在抱えている学生をいかに効率よく社会に送り出すかという現実的立場です。記入後見直しにおいて重大なミスに気づきました。拓大の教員として拓大生を見てというより、大学生一般を想定して書いてしまいました。学風というのはやはりあって、拓大生はよく言えば「素直・誠実・まじめ」悪く言えば「批判力に欠ける」というところがあり、Q6のCは1or2、Q8も5, 7, 8かもしれません。いくつか与えられた選択肢では私の考えが伝わらないと思われるものがありました。

（〈計画・検討中〉商学・経済学系）

- インターンシップに対するイメージにもかなりの違いがあるように思われます。回答に際しても、主観が入り、回答者が異なれば回答が違ってしまうように思います。

（〈実施しない〉商学・経済学系）

- 学部単位での職業指導は正式には行っておらず、学科ごとの3つのコースを設置して学生に選択させています。また、ゼミを必修として指導教員が相談に乗るようにしています。インターンシップは就職部の主導で、希望者を対象に実施しています。インターンシップを全員必修や科目として設定する予定は、現在のところありません。

（〈実施中〉その他）

- インターンシップ体験希望者は少ないが、校舎が地方（静岡）にあるため、宿泊が問題になっている。（首都圏の企業が多いため）

（〈実施中〉その他）

- 現在の所、インターンシップ参加は学生の希望をもとに実施している。従って、その様な学生は積極的であり、むしろQ8の各項目がない又は少ない学生である。紹介する大学としては、企業にそのような学生を送っている。

（〈実施中〉理学系）

- 本学では、一部の学科でミニ・インターンシップ的工場実習等を行っているが、その他は実施されていない。インターンシップに対する議論も活発には行われていない。一方、実験・実習、および卒研を通じて、しっかりした専門教育を行っている。

（〈計画・検討中〉工学系）

- 現状は、むしろ学校側の方がその意義を高く評価していて、できれば導入したいと考える方向が強く出てきているように思われるが、受け入れ側の方では、そのメリットが十分に把握できずにとまどっている様子が見られる。企業もその一員である社会全体で若者を教育しようという一功利主義、損得勘定めきの一立場に立たなければ、インターンシップ制は恐らくこれ以上の発展は望めないような思いもある。

（〈計画・検討中〉商学・経済学系）

- いろいろなインターンシップのとりくみがあって当然であるので、個別の教育機関、地域に合ったものにすれば良いと思う。従って要望や意見は個別の事例で行うものと考えます。（この調査について）質問の趣旨が明瞭でないものや、選択肢が調査項目に適していない部分が数多く見受けられました。実際にインターンシップを実施されている機関の実務経験者やその推進役となっている方と調査項目の検討と選択肢、回答書式についてご相談されてはいかがでしょうかと思います。（失礼なことを記しまして申し訳ありません）どう答えたら良いか不明な部分もありましたので、お問い合わせは〇〇迄。

（〈不明・無回答〉その他）

- 大学での基礎教育、専門教育がまだ十分に実施されておらず、またその方向性についても的確な方向に位置づけられていない状態です。今後、十分に検討し、学生の為になるよう研究していきたいと思えます。ご指導の程お願い申し上げます。

（〈実施しない〉人文学系）

- まだ実施しておりませんので、お答えできない部分もありました。

（〈計画・検討中〉工学系）

- 日本でのインターンシップは欧米とは違っている。それぞれの大学がインターンシップに何を求めるのか等、大学の実施理念によって、方法、成果は違ってくると思う。理念については触れていないように思われる。

（〈実施中〉その他）

- 文学部での教員免許状を出しているので、教育実習の期間が長くなったり、介護体験の実習が増えたりと、学内での十分な教育期間が取れなくなりつつあり、この上、インターンシップを本格的に実施すると、ますます十分な専門教育時間を確保出来なくなる恐れがある。

（〈実施中〉人文学系）

- ①インターンシップが体裁のよいアルバイトにならないようにすること。②企業にとって安い労働力の確保にならないようにすること。③学生に対する教育の主体は大学にあり、企業ではないことを認識すること。

（〈計画・検討中〉商学・経済学系）

- 社会科学系大の場合、①学生の実習に対するモチベーションの向上 ②企業にとって職場の活性化・社会への貢献 ③大学にとって、授業内容（とくに基幹となる科目）の平準化、等、3者にとってメリットがあることがインターンシップ実施にとって必要。

（〈計画・検討中〉商学・経済学系）

- インターンシップでは、教育の一部を受け入れ先に委ねる以上に受け入れ先のそれなりの自覚が必要。優秀な学生の確保策、アルバイトの代替を考えないで欲しい。

（〈計画・検討中〉商学・経済学系）

- 企業等がインターンシップを受け入れる場合、受け入れ部署のインターンシップに関する意識・指導方法に欠如する部分があるため、学生たちに逆効果を与えている。

- (〈実施中〉人文学系)
- このアンケートについては、学部の職員としてインターンシップ業務を担当している立場から回答しておりますので、私見がかなり含まれていることを御了承ください。また、学部の教学としてインターンシップを導入したのは今年からですので、まだまだ模索中です。
(〈実施中〉商学・経済学系)
 - ①大学・企業・学生ともに過度な期待を持つことなく、互いに目的・利害を理解することが長続きするために重要であろう。②まだ経験が浅い制度なので教育的効果は即断できない。
(〈実施中〉商学・経済学系)
 - 同じ学科の外国人教員と話し合ったが、真のインターンシップはある程度の長さ(月単位)で、しかも有給で職業(仕事)を体験することだと思う。その教員も私も共にそれを体験した。これは少数意見だろう。一方、工学系の教員の中には、インターンシップ=工場見学、と考える者が多い。ただし、中年以上の教員。現在のインターンシップのイメージを明確にする必要を強く感じているのでこの調査は基調だ。私見だが、全学生にインターンシップを課すべきではないと考えている。
(〈実施しない〉工学系)
 - まだ計画中で何とも言えない。
(〈計画・検討中〉人文学系)
 - 積極的に推進すべきであると考えている。あまりに教育システム(その大部分の学生を社会人として社会へ送り出すのが使命)と企業活動の具体的中身(学生はほとんど知らない)が離れすぎているように思います。その2者を結ぶ役目がインターンシップと理解し、神戸学院大学の人文学部のような大学カリキュラムに企業活動を教える機会の少ない学部では必要な制度であると思っています。
(〈実施中〉人文学系)
 - ①学内における単位認定の問題と実習期間②受け入れ企業数の問題と、学生の希望する業種・職種からの受け入れ企業数等。
(〈実施中〉人文学系)
 - 実体験学習を生かしやすい領域とそうでない領域があります。とくに管理されすぎてしまうと、その意義やメリットが損なわれる場合もあります。インターンシップもコンセプトを区別した体系が必要になってきているように思います。
(〈実施中〉商学・経済学系)
 - 国際教養学部は、2000年4月より新たに起業学科を設置しました。現在の1年次生には専門科目がほとんどありません。2年次から「起業」「企業経営」「産業・市場」系列の専門科目がでてきます。そして3年次にインターンシップが科目として配置してあります。しかし、この調査には起業学科のことを入れていません。なお、専門科目には上記の系列以外に
- 「人材開発」「国際関係」「人間・環境」「地域言語」「地域研究」があります。
(〈実施中〉その他)
- ①現場の最新の知識・技能に触れたり、就職先を開拓することも大切であるが、前向きに生きる姿勢をしっかりと培わねばと思う(いかに楽に、いかに多くの収入を得るかしか考えていない学生が多い)。
②教養や生きる力育成の取り組みは高校や大学からでは遅いと思われる。③大学の教職員の意識改革が必要である。学部の多様化、現場の実態、社会の変化などへの適切な対応が望まれる。
(〈実施しない〉家政学系)
 - 本学では今年夏からインターンシップをはじめたので、少々準備不足もあったが、結果は学生・受け入れ企業ともおおむね好評であった。今後、充実させるには、受け入れ企業が少ないので、これから開拓する必要があるし、学生に対してもPRや自覚的な参加を促す必要がある。質問項目で理解しがたい項目が多々あった。例えばQ2のa, e, fなど。
(〈実施中〉商学・経済学系)
 - インターンシップで現実職場がどれくらい提供されるのかが問題である。500人の学生のうち3人や4人程度が参加しても大きなインパクトは持ちえないだろう。
(〈実施中〉商学・経済学系)
 - インターンシップの必要性は感じているが、カリキュラムとの整合性、単位認定の問題、学生・教員双方の関心度の低さなど、クリアしなければならない問題が多く、検討に入る機運までには至っていない。実際には実施する中で一つ一つ解決しなければならないと思っているが。
(〈実施しない〉人文学系)
 - 本調査票は事務担当者が記入いたしましたので、その旨お含み願います。
(〈実施中〉工学系)
 - 受け入れ体制がまだ不十分であり、まだ指導体制も未確立なまま、1週間のインターンシップを導入している。学生はこのような不十分な体制にもかかわらず、新鮮な体験をしている場合も多い。現実的な教育・研究を実現するためにも、就職のミスマッチを減らすためにもインターンシップの充実を社会的に推進していくことが必要ではないだろうか。
(〈実施中〉その他)
 - 県、東北ブロック等の単位でモデル事業は展開されているが、全国レベルでの支援機関もしくはシステム(インターネット等)を構築して欲しい。(中小企業総合事業団の広域連携プロモータは、全国ネットであるが、製造業に限定している)
(〈実施中〉その他)
 - 文学部の場合、教育目標、授業内容と就業体験可能な業種との間に隔たりが大きいことが最大の問題。授業内容の領域が、大多数のインターンシップ実施事業体では要求されていないのが実情。開設授業にしても、就業行動と直接結びつくような科目が見出しにくい。この点で、インターンシップは理念としては受け入れられても、現実化にはまだ時間を要するのではないかと予測される。

(〈実施中〉人文学系)

- 大学、企業の双方がメリット、デメリットを抜きにして就職活動の中での体験学習の位置づけをはっきりと認識しないと成り立っていかないと思います。

(〈実施中〉商学・経済学系)

「企業自由回答」

※中小企業-大企業の区分は、第3部第3章と同じ

- インターンシップという言葉自体が定着しておらず、臆気な印象で返答しておりますが、アルバイト等は本人の自覚の問題とはいえ、最も手軽な金を得る手段であり、中には学業を疎かにする者もあって決して代替にはなり得ないと思われる。また、就業体験といってもその人間が確実に自社に就職するならば、事前見習いという事で理解できるが、単に一時的な体験では、ギリギリの人数で行っている中小企業にとってこれに割く時間、人員等、リスクが企業側だけに偏ってしまうのではないかと。(一時的な人員確保な業務内容ならば別だが) また、専門的な知識や技術を持っているとは言っても、学内で行っている実習と現実の生産現場とのギャップもあり、学生から習得できる部分は少ないように思われる。

(〈実施しない〉製造等-中小企業)

- インターンシップ制度は、学生、学校、企業等すべてにとって重要であると考えます。一方、企業はトップの教えによって変動します。又、社員一人一人にも余裕がなくなっているのも事実です。限界があります。その中で、インターンシップを実施している企業は、その状況下の中で社会貢献のためということで行っています。学校・学生の方もここを理解した上で、企業実習をしていただきたい。具体的に言えば、目的意識を明確にし、質問もどんどんしてもらえれば、企業としてもやりがいがある。

(〈実施中〉製造等-大企業)

- 折角著差ですが弊社では当局からの厳格なGMP規制により、厳しい工程管理に努めており、貴校のご趣旨に沿えるような回答が出来ないと判断いたしました。悪しからず御了承ください。

(〈実施しない〉製造等-大企業)

- 自分の職業を選択するのはあくまで個人の意志が尊重されるべきである。インターンシップも学生が自分で道を選択するための補助として活用されることを希望します。制度、仕組みであるから参加しなければならない等、目的意識のない人間まで実施することは問題と考えます。以上

(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)

- インターンシップによる就業体験は、非常に有意義なものであると考えております。当地でも和歌山大学を中心に制度化を進めているようです。制度化する場合、受け入れ企業の種類の負担(人的な負担・経済的な負担)をできるだけ軽減していただき、中小の幅広い企業において受け入れができる様なものにして欲しいと思います。(特定の有力企業だけでなく)

(〈実施しない〉.)

- 私の出身大学であります大阪工科大学でもインターンシップを行っていると考えておりますが、生徒のレベルによっては日常業務に支障をきたすと思います。生徒本人は素養がない者は出すべきではないと思います。“その気”のある人のみ厳選するようにしないと受け入れ企業は迷惑なだけなので、国として全生徒を対象とすることがない様にと考えます。

(〈実施しない〉製造等-中小企業)

- 学問との関係もあって、インターンシップの学生を過保護的に取り扱ってしまう傾向がある様に思う。また、学生が単なる単位取得をめざすだけの目的でインターンシップに入る場合がある。逆に企業側も一従業員として単なる労働力と見なす場合もある。いずれにしても企業・学校・学生三者間の共通認識(目的の共有化)が必要であると感じる。

(〈実施中〉製造等-大企業)

- 現在、当社では高校生の企業実習のみ行っているが、高校生の態度を見ているとイヤイヤなのが見て取れる。これは授業の一環としてやっているからで面白い筈がない。これよりも自発的な意志で行うアルバイトの方が有効だと思う。自分の経験だが、アルバイトで憶えた事は今でも身にしみて今の仕事に活かされていると思う。上からの押しつけよりも自発的な意欲が大切だと思う。

(〈実施中〉製造等-中小企業)

- 文部省が教育改革の一環としてインターンシップを取り入れようとしているが、本人の職業選択を重点に考えてインターンシップを行うのなら賛成。もっと今の若い人には道徳の時間を持つ方が重要ではないか。今の若い世代は人間関係・世間体などを取得させる事も必要ではないか。

(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)

- 残念ながら今のところは総じて必要性がないため余り関心がないのが実情である。

(〈実施しない〉.)

- インターンシップの前提に会社側、大学側、学生の意識が一致しなければ実施すべきでない。特に、道徳意識、社会的な協調性などは一般的常識として必要であり、必須条件と考える。

(〈実施しない〉製造等-大企業)

- 中小企業においてインターンシップを行うのは難しいと考えます。社内整備がされていない環境の中に学生を入れるのは、互いに大げさに言えば混乱を招き、失望させるだけではないかと思えます。

(〈不明・無回答〉卸小売等-中小企業)

- インターンシップという言葉自体が初耳であり、検討されているという事も知りませんでした。又、弊社は不動産管理等がメインの会社で社員も少数ですので、営業活動を行っている子会社「井上ニット(株)」にあてはめて答えましたので、御了承ください。

(〈不明・無回答〉.)

- 学校でというより、家庭でのしつけ、教育がまず不足し、学校での悪平等で基礎学力の不足した即戦力にならない子供達が量産されている現状は改良していかねばならないと思うのに文部省は更に学力を低下させているようで、はなはだ心配です。

(〈〉)

- 当社は街の中小の小さいホテルで、貴方達のご要求のお答えを出すような会社でなく、もっと他の会社へお出しください。

(〈不明・無回答〉卸小売等-中小企業)

- 学校側、企業側がよく話し合いを行った上でお互いメリットのある仕事内容であれば大変良いことだと思います。
(〈実施しない〉.)
- 企業としての回答はできない部分がありましたので、個人的な立場として回答させて頂きました。
(〈不明・無回答〉.)
- 自動車運転教習を業務とする当社に、インターンシップ制度はなじまない。
(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)
- 当社に於いても一部インターンシップとまで行かないまでも会社見学の様なことは受け入れています。※インターンシップそのものが、まだ理解されていないのでマスコミ、行政、教育機関等でアピールが必要。社会的な流れが出始めれば、今後進展していくものと思われれます。
(〈計画・検討中〉卸小売等-中小企業)
- 守秘義務(顧客情報)のある金融業としてインターンシップは採用できず、その関連の質問はカットさせて頂いていただきました。あしからず。
(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)
- アルバイトとインターンシップは本質的に異なると思います。本来、学生・生徒は学業が職務でありますが往々にしてアルバイトが主体になり、金工面優先で本業の学業がおろそかになっているように思います。インターンシップは社会生活を直接肌で感じ、自分の能力や学んだ事を実践に役立てると同時に、足りない部分を補ってもらえる有効な場と考えられます。気構え・心構えからしてアルバイトとインターンシップでは取り組み方が違うと考えております。今後は、このインターンシップ制度は益々広がることと思いますが、この為に学業のレベルが低下するようだとこの制度は失敗となりますのでこの点には気を付けていかないとしたいと思います。
(〈実施しない〉.)
- 初めてなので、数回経験してみたい。
(〈実施中〉製造等-中小企業)
- 企業への質問か、学校側への質問か、内容がつかみにくい。
(〈実施しない〉製造等-中小企業)
- 特に高校生の場合は、就職希望か、そうでないかでインターンシップのやり方に違いがでてくると思われます。また、就職を控えた学生にとって、就職先を選択する上で重要な体験になると思われるので、在学中に1回だけではなく、2回以上、別の企業で行うと良いと思います。
(〈計画・検討中〉製造等-中小企業)
- もっと多チャンネルのインターンシップ制度を構築する必要がある。
(〈不明・無回答〉卸小売等-中小企業)
- これから大いに期待したい制度であります。大学・関係機関・企業の相互の意志交換を維持し、積極的に進めたいと思っています。
- (〈実施中〉卸小売等-中小企業)
- インターンシップの有効性は、業種や企業の規模によってかなり格差が生じるものですので、充分調査し、役立てて頂きたいと思えます。
(〈計画・検討中〉.)
- 業種：建設(機械設備)新設・修繕なので社外業務が多く、かつ少人数作業です。このためインターンシップ導入はなかなか難しいと思えます。
(〈実施しない〉製造等-中小企業)
- 国が後押しをし、学校にインターンシップを理解されるようにしていただきたい。特に、高校については(差別)の内容が企業側に理解しにくい所があり、企業として積極的になれないところがあります。
(〈計画・検討中〉卸小売等-中小企業)
- 営業職については基礎的な商品知識の取り扱い等に時間がかかるためあまり意味をなさない。サービス職については、環境が特殊(重量物が重い。特殊な動きをする)なため十分な活動が出来ないと思われる。又、危険性もあり、監督時に人手がかかりすぎると思われる。
(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)
- 今年初めて整備専門学校生徒を受け入れた。その目的をどの様なやり方で達成していくかのノウハウがなく困った。
(〈実施中〉.)
- 予定がない、やったこともないので具体的なものはありませんが、働く事の重要性をもっと教育すべきだと思う。個々人の意志を尊重するあまり働かないことも尊重するような風潮になっているように感じます。
(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)
- 現実の面でこの制度を採用する余裕はない。
(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)
- 受け入れる企業のニーズと、学生のニーズが果たしてマッチするのかわく疑問。弊社は小売業であり、人と人とのコミュニケーション(対面コンサルティング販売)が重要。一朝一夕でこのことを理解させるのは採用後の教育での悩みでもあるが、非常に難しいと感じている。
(〈計画・検討中〉卸小売等-大企業)
- 学生が職業を体験し、将来の進路を決めるということは全く素晴らしい事と思います。ただ、短期間だと疑似体験の域を出ず「こういう事をした」だけに終わってしまいそうな気がします。やはり本人が、確固とした職業観を持つ様指導していただき、その上で自分の信念を通すにはどうしたら良いかとの考えを決めた上で職場体験して欲しいと思えます。
(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)
- 学生自身の自主的なインターンシップでないと思えない。
(〈実施中〉卸小売等-中小企業)
- 担当職員の拘束及び企業によっては実施しにくい企業がある。本人はインターンシップを利用したくな

- いが、学校から言われてしかたなくと思えるところがある。企業としては大変困っている。
(〈実施中〉.)
- 特にありません
(〈実施しない〉卸小売等-大企業)
 - 大学および高校等、地域に開かれた交流の場を多く持つ事がこれから大事であると思います。企業と大学が自由に往来できる情報の場、研修の、研究の場、人材育成教育の場となれば最高です。
(〈実施中〉.)
 - 学校教育の中で、フリーターと職業有との差の教育を徹底的に行ってもらいたい。自由が単純化へ移行しており、このままでは日本人の教育は苦勞を知らないまま中身の無い職業観に陥るものと思われまます。もっと教育に力を入れてもらいたい。インターンシップ制度についてもっと学校側でも何が欠落しているかを考え、企業と一体化し、メリットを出してもらいたい。
(〈実施中〉製造等-中小企業)
 - インターンシップ体験の前後の学生の職場に対しての意識や感想をもっと具体的に知りたい。また、インターンシップがその後、その学生にどのような影響を与えたか?をフォローして報告してもらいたい。
(〈実施中〉卸小売等-中小企業)
 - 私どもの会社はOA機器関連の販売サービス業ですから、会社に入ってからどうしてもパソコンの知識は不可欠の状況です。しかし、就職活動で訪問してくる学生は殆どがパソコンの知識を持たずにやってきます。これだけIT関連の企業が増加している昨今、学校側でも、特に大学でのパソコン関連に対する授業が殆ど実施されていないような気がします。今年、採用試験にきた受験生(大学・短大の学生)は、殆どがパソコンの知識を持っていませんし、学校でホームページを見るくらいの知識しかありませんでした。今、即、戦力になる人材をほしい企業は専門学校への案内を考えます。
(〈実施しない〉.)
 - ①現在の学生(一般)は努力がたらない。②自己啓発力がとぼしい。③中小の厳しい状況を理解できない。自己中心型が多い。
(〈計画・検討中〉製造等-中小企業)
 - アルバイトとインターンシップは峻別されるものかと考えます。アルバイトにも当然責任というものがありますが、一般的に見て(当然特殊なケースはありますが)アルバイト程度の責任で職業を理解してほしくないと思います。大多数の人にとって職業を辞めることは大変でアルバイトとは比較にならないと考えるからです。こう書くと直ちに労働の流動化・フリーターの増加等の反論を持ち出されるケースが考えられますが、対象となる母集団を考えた場合、一般的反論になりうるとは思えません。このところを欲分析されて、その延長線上でインターンシップを考えることが必要ではないかと思えます。どうか有意義な議論が行われますよう期待いたします。
(〈実施しない〉.)
 - 当社においては、インターンシップの受け入れを実施した事がなく、状況等の把握すらできていない。現在の厳しい状況下での採用は難しく、今後の景気の動向を見守りたい。インターンシップが採用とどうつながっていくのか疑問が残る。
(〈実施しない〉製造等-中小企業)
 - インターンシップによって実務経験をする事は、本人にとっても役に立つと思いますが、当社としては当分新規採用を考えておりませんので、現在のところ現実的な受け入れはできない状態です。今後の学生達の活躍に期待します。
(〈不明・無回答〉製造等-中小企業)
 - 過去、夏休み等の長期休み期間中に学生のアルバイトを多く雇い入れをしていたが、就職につながった例は、1例のみであった。即ち、建設業への就職は経験による慣れではないことを痛感させられた。
(〈不明・無回答〉製造等-中小企業)
 - 学生側は、インターンシップの目的を明確に認識すること、学校はその目的を達成できる事業内容の企業を選定すること。受け入れ企業は、個々の学生が何を学びたいのかを知り、いつも課題を提供できる体制づくりが必要と考える。
(〈実施しない〉製造等-中小企業)
 - インターンシップには大賛成ですが、1~2週間の短期的なものだと企業としてそんなに多くのものを(実になるもの)を与えることはできないと感ずる。また、高校生のインターンシップにおいては、せめて高校3年生にしてほしいと思う。高1と高3では物事の考え方がずいぶんと違うため。
(〈実施中〉製造等-大企業)
 - 働くという事の意識と責任感が希薄な状態でのインターンシップは危険性が大きく、企業としては受け入れがたい。
(〈実施しない〉製造等-中小企業)
 - インターンシップという言葉が先行していて実態はそれについていけないような気がする。インターンシップを実施すること自体は良い事だとはわかるが、実際に実施するためにはまだまだいろいろと整備していかなければならないことが多いと思う。
(〈実施しない〉製造等-大企業)
 - インターンシップを行う上で、企業側の準備不足が見られる。どのようなカリキュラムで行うべきか、はっきりしたものが分かりにくい。学校側もカリキュラム作成に参加する形も考えるとよい。
(〈計画・検討中〉.)
 - 大学の長い休みの間に最低1ヶ月位はインターンシップを受けさせ、これを必修単位とする。これにより、社会常識や知識の欠如に気づき、修正できればよいと思います。
(〈実施しない〉製造等-中小企業)
 - 助成金手続きが大変であるように思えました。
(〈不明・無回答〉製造等-大企業)

- ①インターンシップと就職（採用）活動とが現状では乖離している印象を持っています。連動できる時期（例えば大卒は3年の春休み、高卒は3年の夏休み）等の設定が必要だと思います。②特に高卒の場合、会社訪問等も行政により規制されているため、インターンシップは本人、企業にとっても早期に取り組むべきと考えます。
（〈計画・検討中〉製造等-大企業）
- ①特に、大学卒においてアルバイト経験を誇示する傾向が強いように感ずる。②何のために大学に行ったのか、目的が見えてこない人が多い③ここでは触れていないが、中学生からアルバイトによる学習（アルバイト観の(1)の考え方等）を実施した方が職業体験としては良いと思う。中学高校と新聞配達を経験した立場からいえば継続する事の大事さとそこから生ずる取引上のノウハウを理屈抜きで肌で覚えたように思う。教育的視点で仕組みをつくることは大事であると思うが、親が子供を思いきって放り出す勇気？も必要であろう。
（〈実施中〉卸小売等-中小企業）
- インターンシップがあるとと思ってませんでしたし、インターンシップのあり方について要望等聞かれても、実行した事もないし、内容も把握出来ません。
（〈実施しない〉卸小売等-中小企業）
- 送り出す側（学校）の取り組み姿勢が容易すぎる。日本企業には多くの学生をインターンシップとして受け入れる体制は出来ていない。受け入れても、お客さん扱いするしかないのが現状である。
（〈実施中〉製造等-大企業）
- インターンシップやアルバイトは社会経験と人間関係、報酬を汗で稼ぐことは良い事であり、早く社会の適合性を肌で覚え、実社会に役立つと考えます。特に、新採用したとき、アルバイト経験のある人とならない人は、人に対する接し方に差異があり、身に付いた接し方が自然と教育されている。社会のためにインターンシップはこれから重要と思います。
（〈計画・検討中〉製造等-中小企業）
- 弊社の親会社である旭化成工業（株）においては、大学生のインターンシップを何年も前から実施しているが、「彼ら（学生）を見てみると、個々人の意識レベルの違いが極めて大きい様に思える（熱心な者とそうでない者との差）。学生サイドが「問題意識を持っているかどうか」がこの制度を実りあるものにするか否かのKeyPointと思う。
（〈実施しない〉製造等-中小企業）
- 「インターンシップ」という言葉ばかりが先走っていて、実態の整理が不十分であるように見受けられる。従来の大学・高専等における企業での学生実習は、どう評価されているのか。またそれは何に根拠すものなのか。私見ではあるが、日本の学校では職業教育などそもそも重視されてこなかったため、インターンシップによるフィードバックが成立し得ないことに問題があるのではないだろうか。
（〈実施しない〉製造等-大企業）
- 工場の稼働が異常になりつつあり、指導できる取り組みが可能になる様に進めています。設備搬入が落ち着き次第、体制を作りたいと考えています。
（〈実施しない〉.）
- 教材、体制不備の当社から見れば、協力するのは困難かと思いつつ私見として答えました。
（〈実施しない〉製造等-大企業）
- 全く経験がないので、多くの項目で判断できませんでした。
（〈実施しない〉製造等-大企業）
- この方法では、考え方の一貫性が保たれない（設問が良くない）。インターンシップは企業の一方向的な負担となる（特に、中小企業は難しい）。担当者はもちろん、企業のイメージ（報酬の有無、報酬の多少、通勤対応、食事などのこと、けが等）を気にしなければならぬ。文部・労働・通産の縄張り争いが見え隠れする。各学校から依頼がバラバラでそれぞれの対応はできない。紹介機関など一本化が必要。文部省や学校でやるべき事ができていない。企業に押しつけ。
（〈実施しない〉製造等-中小企業）
- 学校のカリキュラムの中にインターンシップが導入されれば、現実の社会の実情を卒業前に知ることができて、就職直後の不適応による挫折が減ると思われる。
（〈実施しない〉製造等-中小企業）
- インターンシップと呼ばれるものは、その対象となる学年-学校-企業がその目的と計画に深い理解と一致がないと成立しない。実施に向けては、3者それぞれの費やすエネルギーは大きい。社会経験を積み上げるには、学生自身がしっかりと目的を持ってアルバイトをしていくことが優れた方法であると思う。
（〈実施しない〉.）
- とにかくインターンシップ等よりも個人の人間性ややる気だと思う。インターンシップも良い事ではあるが、これからは全ての生徒・学生においてやる気だと思えます。無気力・無関心の若い方が多く見受けられる。
（〈計画・検討中〉製造等-中小企業）
- 現在まで、地元の高校でたのまれて1、2度受け入れた事がありますが、あまり期待しておりません。なぜならば、当社の場合、事務系は専門職知識は問わず、どちらかと言うと性格的な部分を重視しています。また、工学系では、即現場という事になりますので、学生が現場に行ってもやってもらい事がなく、ただ経験するだけと言うのが実情ですので、現場所長にとっては、不必要な立場ではないでしょうか。また、事故、ケガ等の心配等もあります。ただ、将来的には良い方法があれば、対応しなければと考えています。当社では、定期的に新卒者を入れておりませんので、設問の内容に満足な回答が出来ませんでした。
（〈実施しない〉.）
- インターンシップは必ずしもいずれの業種においても有効なものとはなり得ない。学生が社会を垣間見ることには可能であるが、我々の様な建設業において

は企業を中心となる現場は遠隔地となり、安全管理にも問題が発生する。有効な効果を生み出すためには企業・学校・本人の互いの理解を得る綿密な努力が必要となる。

(〈実施しない〉製造等-中小企業)

- 当社は本年度より内定学生(整備専門学校生)のみ、インターンシップを実施しております。

(〈実施中〉卸小売等-大企業)

- 短期間のインターンシップでは形だけのものに終わる傾向が強い。学校側(高校)も実施することに労力を費やし、中身の充実までは手がまわらないのが実情だと思われます。

(〈実施中〉卸小売等-大企業)

- 以前、学校(情報系専門学校)要請により実施したことがあるが、生徒にとっては、一応の成果があったと思います。

(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)

- インターンシップ制度は教育機関の甘え。社会や企業の活動、経済のダイナミズム等を“学ぶ”のであるなら、“学びの場”を創ることが教育機関の使命であって、それを採用と絡めて企業にも努力を求めのはいかなものか。当社では、20年以上前から実業系の高校生に職場実習として門戸を開き、大学生アルバイトには事前職務研修を実施するなど、企業活動を通じた人材育成を独自に行っている。

(〈実施中〉卸小売等-大企業)

- (株)江川石油店→(株)日向エネルギーへと転換しています。高校生対象ですので念のため。

(〈実施しない〉卸小売等-中小企業)

- 高校：制度、方針、実施要領が各校バラバラ。公立高校とか商業系高校間での連携を取って推進してもらいたい。現状では、カリキュラムの消化にすぎない。大学：現在のところ、受け入れなし。先端産業や特殊技術を要するものは学生のうちに体験すべきであろうが、補助的業務に参加するだけであれば、アルバイト程度で感覚で十分であり、インターンシップとはなりえないだろう。

(〈計画・検討中〉卸小売等-大企業)

- 学校側のインターンシップの目的が不明確であるため、企業側はカリキュラムの作成に苦勞していると思われる。時間的、費用的コストを費やす以上、形式的に終わらせるべきではないと思う。

(〈実施中〉卸小売等-大企業)

- インターンシップを国が制度化するには反対である。人数を増やす事は、形式化することであり、公的な援助をおこなうことは、新たな利権組織を生み出す事になる。あくまで学校と企業の間で自由に行うべき。

(〈実施中〉製造等-大企業)

- 現状がよくわからないので意見が言えない。一つ言える事は、現在における実際の会社状況は大変に厳しい中にあり、学生さんを迎える心境にない。毎日の売り上げに追われている。理想的にインターンシップ制度みたいな制度が良いかもしれないが、毎年入社する社員と接する限りでは基本的生活習慣に欠ける要素が増している。それが、インターンシップ

制度だけで補えるか疑問である。高校・大学において基礎学力を含めて厳しい指導が必要と思われる。現在の学校は、単に卒業させるだけで、何ら責任を負わずに学生を送り出している。学校が所属する学生に何を身につけさせるのか、はっきりさせるべきである。インターンシップという制度で企業に責任を転嫁してはいけないと思う。

(〈実施しない〉製造等-中小企業)

- 個人差、学校差はあると思うが、就職試験の勉強が足りないのではないかと。漢字も書けない、計算も出来ない、新聞も読んでいない人が、何となく受験しているような気がしてならない。学校での教育に限界があるのは判るが、インターンシップにばかり力を入れると、学校に行かなくとも良いという究極の形となるのが怖い。学校の先生にまず、企業活動、現場体験を充分していただき、授業に活かして頂きたい。学校が教育の一部を放棄、又は自然分離して企業にばかり頼るとい形になるのが非常に怖い。先生、現場で汗を流してみませんか。

(〈実施中〉製造等-中小企業)

- ①受け入れ先の店主(経営者・担当者)に適正な社会性と指導力があれば、アルバイトも大変結構でしょう。逆に言うと、ふさわしくない職場で行うならば、インターンシップも弊害となりうる。受け入れ先の調査が必要。②将来の目標が定まっている人と、そうでない人の計画を分けて行うとより効果的。特に、高校生においては後者が多いと思うので、いろいろな職場を体験できれば進路の参考になるはず(大学生においても進路の決まらない人が多いようですが)。③保険等をかけてあるとはいっても、事故がないか心配されます。安心して受け入れられるシステムが望まれます。

(〈実施中〉製造等-中小企業)

- 大学生のアルバイトは、特に優秀な人材がそろっている。

(〈実施しない〉製造等-中小企業)

- 受け入れ部署には、学生の校名、氏名と体験させて欲しい内容等のみを伝えておきますが、いざ当日になってトラブルが発生することもあります。頭髪を著しく染め、営業(接客)業務に体験させるのは不可能と所長が判断したケースなどもありました。ある意味、学生のモラルの向上が求められている部分もあるのではないのでしょうか。

(〈実施中〉.)

- インターンシップに関する同じような内容のアンケートが多すぎる。企業にとっては言葉のみ先行して実感がもてない。

(〈実施しない〉製造等-大企業)

2000年10月1日

各位

高校・大学インターンシップ研究会
代表 吉本圭一（九州大学助教授）

『高校・大学におけるインターンシップの教育的効果と機能分担に関する調査』

貴校におけるインターンシップ導入の実態や、進路指導の立場からみた雇用と教育に関する率直な御意見をお聞きしたいと考えています。回答は、すべて統計的に処理し、学校名が出ることはございません。個々の調査内容についても秘密を厳守いたしますので、貴校にご迷惑をおかけすることはございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。尚、調査への回答は、同封の返信用封筒にて**10月20日(金)**までに投函いただければ、幸いです。

問い合わせ先	九州大学教育社会学研究室	Tel 092-642-3126
		Fax 092-642-4355
		e-mail keiy-edu@mbbox.nc.kyushu-u.ac.jp
研究会委員	吉本圭一・福岡哲朗・宮本京子・岡本信弘・稲永由紀	

※この調査票では生徒が在学中に就業体験を行うことを広義に「インターンシップ」と呼びます。
※とくにことわりがない限り、○は一つだけつけて下さい。

(学校属性)

Q1. あなたの学校は以下のどれに該当しますか。 Q2. 差し支えなければ、あなたの校務分掌をお教え下さい。

1	普通高校	2	商業高校	3	工業高校
---	------	---	------	---	------

Q3. あなたの学校では、進路意識を高めるための学習として次のような内容や方法が実施されていますか。また、実施されているものについては重視されていますか。

	実施している		重視している		
	実施している	実施していない	重視している	特別に重視していない	重視していない
a 普通教科やアカデミックな理論の学習	1	2	1	2	3
b 進学のための実力をつけさせる学習	1	2	1	2	3
c 大学・専門学校との連携を通じた学習	1	2	1	2	3
d 専攻分野や授業の自由な選択	1	2	1	2	3
e 将来の職業に即した学習	1	2	1	2	3
f 現実の課題に即した学習	1	2	1	2	3
g 学習としての職場見学	1	2	1	2	3
h 企業人等の外部講師による授業	1	2	1	2	3
i 在学中の就業体験（インターンシップ）	1	2	1	2	3
j 人間関係やコミュニケーション能力を高める学習	1	2	1	2	3
k 課題研究・卒業論文・卒業研究	1	2	1	2	3
l 学校の近隣でのボランティア活動	1	2	1	2	3

(インターンシップについての現状)

Q 4. 貴校におけるインターンシップの実施状況をお聞かせ下さい。

1	現在実施している	4	実施は将来的にも考えていない
2	実施に向けて具体的な計画をしている	5	特段の検討はしていない
3	実施するかどうかを検討している	6	不明である

【 Q 4. で「1」もしくは「2」とお答えになった方は次の SQ1~SQ8 に答えて下さい。
 「2」とお答えの方は計画している予定や希望でお答え下さい。
 「3, 4, 5, 6」とお答えの方はそのまま Q 5. にお進み下さい。 】

SQ 1. 受入先の業種をすべてお答え下さい。

1	農・林・水産業	7	金融・保険業
2	建設業	8	個人サービス業(ホテル、理美容等)
3	製造業	9	情報サービス・調査・広告業などのサービス業
4	電気・ガス・熱供給・水道業	10	教育・医療・保健・社会福祉・その他のサービス業
5	運輸・通信業	11	官公庁
6	卸・小売業、飲食店	12	その他()

SQ 2. 受入企業をどのようにして見つけれられましたか。該当番号すべてに○をつけて下さい。

1	就職実績のある企業	4	経済団体等	6	P T A
2	教員個人の縁故	5	インターンシップに関する地域の仲介団体からの依頼	7	その他
3	職業安定所			()	

SQ 3. 主な実施期間を教えてください。 SQ 4. 単位認定をしていますか。

1	2・3日程度	4	1ヶ月程度
2	1週間程度	5	2～6ヶ月
3	2・3週間程度	6	6ヶ月以上

1	専門教科の一部として単位を認定
2	その他の科目の一部として単位を認定
3	単位認定せずに特別活動として実施
4	その他()

SQ 5. 運営体制を教えてください。

1	学科主導による運営	4	教務部等が中心となり運営
2	個別教員による運営	5	その他()
3	進路指導部等が中心となり運営		

SQ 6. インターンシップを希望する生徒に対して次のような事をおこなっていますか。
該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	生徒との個別面談	5	保険の加入
2	マナー研修等の事前研修	6	誓約書の提出
3	守秘義務の徹底	7	担当教員による巡回
4	受入先に関連した科目履修の徹底	8	その他 ()

SQ 7. 受入企業に対して次のような事を行っていますか。
該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	誓約書の提出	5	生徒の希望する職種の確認
2	傷害・賠償保険取り扱いの確認	6	トラブル発生時の対処窓口ならびに連絡網の確認
3	レポートの提出や報告会の開催	7	受入企業との事前打合わせ
4	ライバル社との扱いを公平にする	8	その他 ()

SQ 8. インターンシップを導入してからこれまでに、どのような事故がありましたか。
該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	通勤途中での交通事故	4	実習中のその他の事故	7	その他 ()
2	実習中の被災	5	企画開発情報の漏洩		
3	実習生の過失による機器・商品の破損	6	顧客情報の漏洩	8	事故はなかった

(生徒への教育効果)

Q 5. インターンシップ導入により、貴校生徒にとって以下の教育的効果は期待できると思われますか。

		かなり期待 できる	ある程度期待 できる	それほど期待 できない	全く期待 できない
a	企業等の実態に対する理解を深める	1	2	3	4
b	最新の知識・技術に触れる	1	2	3	4
c	職業適性を知る	1	2	3	4
d	問題発見・解決能力の修得	1	2	3	4
e	責任感、自尊心等の修得	1	2	3	4
f	チームワークなどの社会的スキルの修得	1	2	3	4
g	アカデミックな科目の学力向上	1	2	3	4
h	専門科目での能力向上	1	2	3	4
i	学校での学習を学外で応用する	1	2	3	4
j	欠席・遅刻の減少	1	2	3	4
k	就職先を見つける手助け	1	2	3	4
l	就職に必要なスキル(コンピュータ等)の修得	1	2	3	4
m	職業資格取得に役立つ	1	2	3	4

(学校改善の効果)

Q 6. 貴校でインターンシップを導入した場合、以下の学校改善の効果が期待できますか。

		かなり期待 できる	ある程度期待 できる	それほど期待 できない	全く期待 できない
a	欠席・留年・中退率の減少	1	2	3	4
b	問題行動発生率の減少	1	2	3	4
c	進学率の向上	1	2	3	4
d	フリーターの減少	1	2	3	4
e	職業意識の形成	1	2	3	4
f	学校では提供できない教育が行える	1	2	3	4
g	社会人講師の招聘が容易になる	1	2	3	4
h	アカデミックな理論の学習と職業的体験との関連づけ	1	2	3	4
i	教育経営の点検・評価に対する視点を拡充する	1	2	3	4
j	学校の評価を高める	1	2	3	4
k	求人活動をスムーズにする	1	2	3	4
l	就職に際しての企業との実績関係を強める	1	2	3	4
m	教職員の資質向上	1	2	3	4

(企業のメリット)

Q 7. 企業で貴校生徒を実習生として受け入れた場合、以下の効果を企業が期待していると思いますか。

		かなり期待 できる	ある程度期待 できる	それほど期待 できない	全く期待 できない
a	企業の事業内容のPR	1	2	3	4
b	企業としての社会的貢献	1	2	3	4
c	労働力としての実習生の活用	1	2	3	4
d	将来的な自社の雇用対策	1	2	3	4
e	職場の活性化や職員自身の研修・育成	1	2	3	4
f	産学連携による学校・行政とのパイプづくり	1	2	3	4
g	産業イメージの向上	1	2	3	4
h	若者の早期離職の防止	1	2	3	4
i	学校の教育活動への参画	1	2	3	4

(コスト・障害)

Q 8. インターンシップを計画する上で、貴校では以下のような事に問題があるとお思いですか。

	問題になる	あまり問題にならない	問題にならない
a 生徒の目的意識の明確化が大変である	1	2	3
b 事前指導が煩雑である	1	2	3
c 服装の指導が面倒だ	1	2	3
d インターンシップに対応した科目の用意が大変である	1	2	3
e 必修科目にするとアレンジするのが困難になる	1	2	3
f 1週間程度だとアレンジするのが困難になる	1	2	3
g 保険の手続きやコスト負担が大変である	1	2	3
h 県や国からの適切な助成金やサポートを受けにくい	1	2	3
i 単位にすることでやる気のない生徒を送り出し、学校の評価を下げてしまう。	1	2	3
j 無報酬だと参加する生徒が集まらない	1	2	3
k 実習への報酬があれば、アルバイトと区別がつかず生徒指導上、困る	1	2	3
l 学校職員担当者による巡回等が大変である	1	2	3
m 企業とのトラブルが発生したら面倒である	1	2	3
n ライバル社との扱いを公平にする事は苦勞する	1	2	3

Q 9. インターンシップを実施する場合、生徒に対して懸念することがありますか。

該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1 挨拶ができない	5 積極性がない	9 接客ができない
2 言葉使いが悪い	6 勝手な行動をする	10 担当者と人間関係が築けない
3 服装、髪型等が乱れている	7 ミスをして報告をしない	11 周囲との人間関係が築けない
4 遅刻・無断欠勤が多い	8 電話の応答ができない	12 その他()

Q 10. インターンシップを実施する場合、生徒の受け入れに関して、企業に対して懸念することがありますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1 雑用しかさせてもらえない	4 生徒の発達段階に適さない仕事を押しつけられる
2 ただ働きで生徒が苦勞する	5 生徒が希望する仕事を担当させてくれない
3 生徒の事故に親身に対応してくれない	6 その他()

Q11. インターンシップ導入により企業側が最も危惧すると思われるリスクは何でしょうか。
該当する番号に一つだけ○をつけて下さい。

1	事故による生徒の被災	5	生徒の認識や期待とのミスマッチによる生徒・学校側の不満
2	生徒の過失による機器・商品の破損	6	担当職員の拘束による仕事遅滞
3	生徒による機密の漏洩	7	その他 ()
4	不本意な生徒による職場の迷惑・混乱		

(インターンシップ推進条件)

Q12. 次のような条件が満たされたら、一般にインターンシップがうまく推進できると思いますか。重要な順に5つまで選び、横の空欄にアルファベットを記入して下さい。

a	公的な仲介機関	h	教員の理解	1							
b	民間の仲介機関	i	進路指導部等の理解・イニシアチブ			2					
c	公的なインターンシップ保険	j	教務部等の理解・イニシアチブ					3			
d	公的な資金援助	k	企業等からの実施要請							4	
e	企業経営者、幹部の理解	l	生徒・保護者からの実施の要望								
f	企業の現場の指導者の理解	m	文部省等による法的な枠組み、指導								
g	学校長・学長等のリーダー層の理解・イニシアチブ	n	その他 ()								

(学校種ごとの望ましい形態)

Q13. インターンシップ実施においては様々な形態があると思われます。あなたの考えをお聞かせ下さい。あなたの所属にかかわらず、3学科それぞれの場合についてすべてお答え下さい。

(1) インターンシップの目標は………

仕事や職場の実態を幅広く知ること ← どちらとも言えない → 特定の職業に役立つ知識・技術を知ることである

高校	普通科	1	2	3	4	5
	商業科	1	2	3	4	5
	工業科	1	2	3	4	5

(2) インターンシップの業務内容は………

創造的でユニークな業務が望ましい ← どちらとも言えない → 普通の業務と同じメニューが望ましい

高校	普通科	1	2	3	4	5
	商業科	1	2	3	4	5
	工業科	1	2	3	4	5

(3) スキル・知識については、インターンシップを通して………

学校で学んだ基本的なスキル・知識を定着させる ← どちらとも言えない → 学校では学習できない応用的なスキル・知識を学ぶ

高校	普通科	1	2	3	4	5
	商業科	1	2	3	4	5
	工業科	1	2	3	4	5

(高・大別のインセンティブ)

Q14. インターンシップを計画する際に、以下のような効果をねらう場合、高校・大学どちらで行った方がよいと思われますか。

	高校がよい	大学がよい	高校・大学 両方がよい	両方 行わない方がよい
a 職業生活に必要な知識・技術の習得	1	2	3	4
b 現実の社会に適応する能力の育成	1	2	3	4
c 生徒の学習意欲向上	1	2	3	4
d 主体的な進路(進学・就職)意識形成	1	2	3	4
e 学校における多様なカリキュラムの提供	1	2	3	4
f 地域社会と学校との交流・連携	1	2	3	4
g 将来的な就職先開拓	1	2	3	4
h 生産活動に寄与できる	1	2	3	4

(高校・大学機能分担)

Q15. “現在の日本の学校教育に不足している”と思われるものは何ですか。

	高校で不足	大学で不足	高校・大学 両方不足	両方とも 不足していない
a インターンシップ等の職業経験的学習	1	2	3	4
b 一般的な教養科目と職業準備的な知識・経験との関連づけ	1	2	3	4
c 最新の知識・技術に触れる機会	1	2	3	4
d 産業および労働市場一般に関する知識取得	1	2	3	4
e 言語、数理、IT等の基本的スキルの育成	1	2	3	4
f 創造的思考、課題解決の能力の育成	1	2	3	4
g 責任感、自尊心等の人格的スキルの形成	1	2	3	4

Q16. あなたの勤務校で、生徒に体験させたいと思われるものは何ですか。また、卒業生が大学に進学したときに、どのような体験をして欲しいと思われますか。重視するものを選び、その中の順位を、空欄に記入して下さい。体験させたくないものには×を記入して下さい。

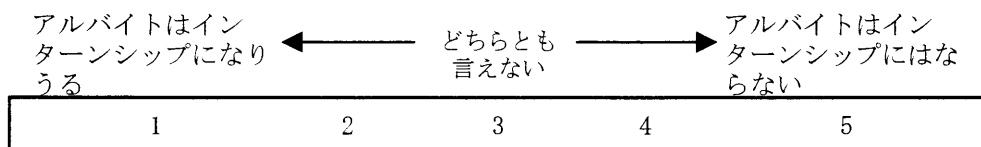
	高校	大学	(例)
a 会社経営者等による出前授業			3
b 職場見学			2
c アルバイト			×
d 短期(2週間以内)・無報酬インターンシップ			4
e 長期(2週間以上)・無報酬インターンシップ			1
f 報酬のあるインターンシップ			×

(アルバイト観)

Q 17. 在学中にアルバイトをしている高校生は多いと思います。アルバイトを職業体験として見た場合、どのように評価されますか。

- (1) 学校での事前・事後指導(各生徒の体験をホーム・ルームや授業で積極的に活用することを含む)を十分に行った上でのアルバイトは、ただ職業を体験する事とは異なり、意義のあるインターンシップとなりうる。
- (2) アルバイトにより私生活や学業等にもたらされる悪影響は深刻である。多少のメリットを差し引いても、アルバイトはインターンシップあるいはその代替にはなりえない。

自分の考えは……



Q 18. 現在のインターンシップのあり方についてのご要望、ご意見等、また本調査についてのご意見などを御自由にお書き下さい。

・差し支えなければ、貴校の今年4月の進路状況をお教え下さい。

A. 2000年3月 卒業者数	B. 大学・短大等 進学者数	C. 専門学校 進学者数	D. 浪人数	E. 就職者数	F. 無業者数
人	人	人	人	人	人

以上で質問は終わりました。ご協力いただき大変ありがとうございました。

なお、記入し終わった調査票は、同封した返信用封筒に入れ、**2000年10月20日(金)**までに投函して下さい。

2000年10月1日

各位

高校・大学インターンシップ研究会
代表 吉本圭一（九州大学助教授）

『高校・大学におけるインターンシップの教育的効果と機能分担に関する調査』

貴学部におけるインターンシップ導入の実態や、進路指導の立場からみた雇用と教育に関する率直な御意見をお聞きしたいと考えています。回答は、すべて統計的に処理し、大学名が出ることはございません。個々の調査内容についても秘密を厳守いたしますので、貴学部にご迷惑をおかけすることはありません。

大変お忙しいとは存じますが、調査へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。調査への回答は、同封の返信用封筒にて**10月20日(金)**までに投函いただければ、幸いです。

問い合わせ先 九州大学教育社会学研究室	Tel 092-642-3126
	Fax 092-642-4355
	e-mail keiy-edu@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp
研究会委員	吉本圭一・福岡哲朗・宮本京子・岡本信弘・稲永由紀

※この調査票では学生が在学中に就業体験を行うことを広義に「インターンシップ」と呼びます。
※とくにことわりがない限り、○は一つだけつけて下さい。

(学校属性)

Q1. あなたの学部は以下のどの系統に該当しますか。

1	人文学系	3	商学・経済学系	5	理学系	7	農学系	9	家政学系
2	法学系	4	教員養成学系	6	工学系	8	薬学系	10	その他 ()

Q2. 貴学部では、進路意識を高めるための学習として次のような内容や方法が実施されていますか。
また、実施されているものについては重視されていますか。

		実施して いる	実施して いない	重視して いる	特別に重視 していない	重視して いない
a	アカデミックな理論の学習	1	2	1	2	3
b	就職のための企業説明会やジョブ・フェア等への参加	1	2	1	2	3
c	ベンチャー育成のための学習	1	2	1	2	3
d	専攻分野や授業の自由な選択	1	2	1	2	3
e	将来の職業に即した学習	1	2	1	2	3
f	現実の課題に即した学習	1	2	1	2	3
g	学習としての職場見学	1	2	1	2	3
h	企業人等の外部講師による授業	1	2	1	2	3
i	在学中の就業体験（インターンシップ）	1	2	1	2	3
j	人間関係やコミュニケーション能力を高める学習	1	2	1	2	3
k	課題研究・卒業論文・卒業研究	1	2	1	2	3
l	学校の近隣での奉仕活動	1	2	1	2	3

(インターンシップについての現状)

Q 3. 貴学部におけるインターンシップの実施状況をお聞かせ下さい。

1	現在実施している	4	実施は将来的にも考えていない
2	実施に向けて具体的な計画をしている	5	特段の検討はしていない
3	実施するかどうかを検討している	6	不明である

→ 【 Q 3. で「1」もしくは「2」とお答えになった方は次の SQ1～SQ8 に答えて下さい。
「2」とお答えの方は計画している予定や希望でお答え下さい。
「3, 4, 5, 6」とお答えの方はそのまま Q 4. にお進み下さい。 】

SQ 1. 受入先の業種をすべてお答え下さい。

1	農・林・水産業	7	金融・保険業
2	建設業	8	個人サービス業(ホテル、理美容等)
3	製造業	9	情報サービス・調査・広告業などのサービス業
4	電気・ガス・熱供給・水道業	10	教育・医療・保健・社会福祉・その他のサービス業
5	運輸・通信業	11	官公庁
6	卸・小売業、飲食店	12	その他()

SQ 2. 受入企業をどのようにして見つけれられましたか。該当番号すべてに○をつけて下さい。

1	就職実績のある企業	4	経済団体等	6	PTA
2	教員個人の縁故	5	インターンシップに関する地域の仲介団体からの依頼	7	その他
3	職業安定所			()	

SQ 3. 主な実施期間を教えてください。 SQ 4. 単位認定をしていますか。

1	2・3日程度	4	1ヶ月程度	1	専門教科の一部として単位を認定
2	1週間程度	5	2～6ヶ月	2	その他の科目の一部として単位を認定
3	2・3週間程度	6	6ヶ月以上	3	単位認定せずに特別活動として実施
				4	その他()

SQ 5. 運営体制を教えてください。

1	学部主導による運営	4	全学の就職課・進路指導部等が中心となり運営
2	学科主導による運営	5	全学の学務部・教務部等が中心となり運営
3	ゼミ主導による運営	6	その他()

(学校改善の効果)

Q 5. 貴学部でインターンシップを導入した場合、以下の教育的効果が期待できますか。

		かなり期待 できる	ある程度期待 できる	それほど期待 できない	全く期待 できない
a	欠席・留年・中退率の減少	1	2	3	4
b	問題行動発生率の減少	1	2	3	4
c	進学率の向上	1	2	3	4
d	フリーターの減少	1	2	3	4
e	職業意識の形成	1	2	3	4
f	学校では提供できない教育が行える	1	2	3	4
g	社会人講師の招聘が容易になる	1	2	3	4
h	アカデミックな理論の学習と職業的体験との関連づけ	1	2	3	4
i	教育経営の点検・評価に対する視点を拡充する	1	2	3	4
j	学校の評価を高める	1	2	3	4
k	求人活動をスムーズにする	1	2	3	4
l	就職に際しての企業との実績関係を強める	1	2	3	4
m	教職員の資質向上	1	2	3	4

(企業のメリット)

Q 6. 企業で貴学部学生を実習生として受け入れた場合、以下の効果を企業が期待できると思いますか。

		かなり期待 できる	ある程度期待 できる	それほど期待 できない	全く期待 できない
a	企業の事業内容のPR	1	2	3	4
b	企業としての社会的貢献	1	2	3	4
c	労働力としての実習生の活用	1	2	3	4
d	将来的な自社の雇用対策	1	2	3	4
e	職場の活性化や職員自身の研修・育成	1	2	3	4
f	産学連携による学校・行政とのパイプづくり	1	2	3	4
g	産業イメージの向上	1	2	3	4
h	若者の早期離職の防止	1	2	3	4
i	学校の教育活動への参画	1	2	3	4

(コスト・障害)

Q 7. インターンシップを計画する上で、貴学部では以下のような事に問題があるとお思いですか。

	問題になる	あまり問題にならない	問題にならない
a 学生の目的意識の明確化が大変である	1	2	3
b 事前指導が煩雑である	1	2	3
c 服装の指導が面倒だ	1	2	3
d インターンシップに対応した科目の用意が大変である	1	2	3
e 必修科目にするとアレンジするのが困難になる	1	2	3
f 1週間程度だとアレンジするのが困難になる	1	2	3
g 保険の手続きやコスト負担が大変である	1	2	3
h 県や国からの適切な助成金やサポートを受けにくい	1	2	3
i 単位にすることでやる気のない学生を送り出し、学校の評価を下げてしまう。	1	2	3
j 無報酬だと参加する学生が集まらない	1	2	3
k 実習への報酬があれば、アルバイトと区別がつかず学生指導上、困る	1	2	3
l 学校職員担当者による巡回等が大変である	1	2	3
m 企業とのトラブルが発生したら面倒である	1	2	3
n ライバル社との扱いを公平にする事は苦勞する	1	2	3

Q 8. インターンシップを実施する場合、学生に対して懸念することがありますか。

該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1 挨拶ができない	5 積極性がない	9 接客ができない
2 言葉使いが悪い	6 勝手な行動をする	10 担当者と人間関係が築けない
3 服装、髪型等が乱れている	7 ミスをして報告をしない	11 周囲との人間関係が築けない
4 遅刻・無断欠勤が多い	8 電話の応答ができない	12 その他()

Q 9. インターンシップを実施する場合、学生の受け入れに関して、企業に対して懸念することがありますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1 雑用しかさせてもらえない	4 学生の発達段階に適さない仕事を押しつけられる
2 ただ働きで学生が苦勞する	5 学生が希望する仕事を担当させてくれない
3 学生の事故に親身に対応してくれない	6 その他()

Q 1 0. インターンシップ導入により企業側が最も危惧すると思われるリスクは何でしょうか。
該当する番号に一つだけ○をつけて下さい。

1	事故による学生の被災	5	学生の認識や期待とのミスマッチによる学生・学校側の不満
2	学生の過失による機器・商品の破損	6	担当職員の拘束による仕事遅滞
3	学生による機密の漏洩	7	その他 ()
4	不本意な学生による職場の迷惑・混乱		

(インターンシップ推進条件)

Q 1 1. 次のような条件が満たされたら、一般にインターンシップがうまく推進できると思いますか。重要な順に5つまで選び、記号を記入して下さい。

a	公的な仲介機関	h	教員の理解	1							
b	民間の仲介機関	i	就職課等の理解・イニシアチブ			2					
c	公的なインターンシップ保険	j	学務部等の理解・イニシアチブ					3			
d	公的な資金援助	k	企業等からの実施要請							4	
e	企業経営者、幹部の理解	l	学生・保護者からの実施の要望								
f	企業の現場の指導者の理解	m	文部省等による法的な枠組み、指導								
g	学校長・学長等のリーダー層の理解・イニシアチブ	n	その他 ()								

(学校種ごとの望ましい形態)

Q 1 2. インターンシップ実施においては様々形態があると思われます。あなたの考えをお聞かせ下さい。あなたの所属にかかわらず、文系・理系それぞれについて両方ともお答え下さい。

(1) インターンシップの目標は………

		仕事や職場の実態を幅広く知ることである	←	どちらとも言えない	→	特定の職業に役立つ知識・技術を知ることである
大学	理系	1	2	3	4	5
	文系	1	2	3	4	5

(2) インターンシップの業務内容は………

		創造的でユニークな業務が望ましい	←	どちらとも言えない	→	普段の業務と同じメニューが望ましい
大学	理系	1	2	3	4	5
	文系	1	2	3	4	5

(3) スキル・知識については、インターンシップを通して………

		学校で学んだ基本的なスキル・知識を定着させる	←	どちらとも言えない	→	学校では学習できない応用的なスキル・知識を学ぶ
大学	理系	1	2	3	4	5
	文系	1	2	3	4	5

(高・大別のインセンティブ)

Q 1 3. インターンシップを計画する際に、以下のような効果をねらう場合、高校・大学どちらで行った方がよいと思われますか。

	高校がよい	大学がよい	高校・大学 両方がよい	両方 行わない方がよい
a 職業生活に必要な知識・技術の習得	1	2	3	4
b 現実の社会に適応する能力の育成	1	2	3	4
c 学生の学習意欲向上	1	2	3	4
d 主体的な進路(進学・就職)意識形成	1	2	3	4
e 学校における多様なカリキュラムの提供	1	2	3	4
f 地域社会と学校との交流・連携	1	2	3	4
g 将来的な就職先開拓	1	2	3	4
h 生産活動に寄与できる	1	2	3	4

(高校・大学機能分担)

Q 1 4. “現在の日本の学校教育に不足している”と思われるものは何ですか。

	高校で不足	大学で不足	高校・大学 両方不足	両方とも 不足していない
a インターンシップ等の職業経験的学習	1	2	3	4
b 一般的な教養科目と職業準備的な知識・経験との関連づけ	1	2	3	4
c 最新の知識・技術に触れる機会	1	2	3	4
d 産業および労働市場一般に関する知識取得	1	2	3	4
e 言語、数理、IT等の基本的スキルの育成	1	2	3	4
f 創造的思考、課題解決の能力の育成	1	2	3	4
g 責任感、自尊心等の人格的スキルの形成	1	2	3	4

Q 1 5. 貴学部で、学生に体験させたいと思われるものは何ですか。また、高校時代にはどのような体験をされていて欲しいと思われますか。重視するものを選び、その中での順位を、空欄に記入して下さい。体験させたくないものには×を記入して下さい。

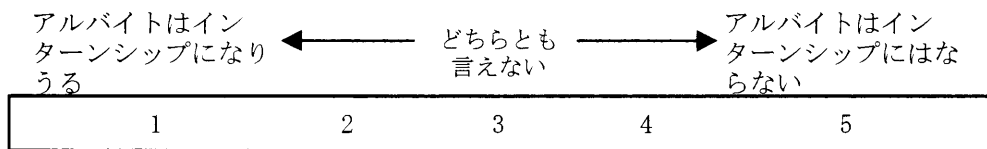
	高校	大学	(例)
a 会社経営者等による出前授業			3
b 職場見学			2
c アルバイト			×
d 短期(2週間以内)・無報酬インターンシップ			4
e 長期(2週間以上)・無報酬インターンシップ			1
f 報酬のあるインターンシップ			×

(アルバイト観)

Q 1 6. 在学中にアルバイトをしている大学生は多いと思います。アルバイトを職業体験として見た場合、どのように評価されますか。

- (1) 学校での事前・事後指導(各学生の体験を授業等で積極的に活用することを含む)を十分に行った上でのアルバイトは、ただ職業を体験する事とは異なり、意義のあるインターンシップとなりうる。
- (2) アルバイトにより私生活や学業等にもたらされる悪影響は深刻である。多少のメリットを差し引いても、アルバイトはインターンシップあるいはその代替にはなりえない。

自分の考えは………



Q 1 7. 現在のインターンシップのあり方についてのご要望、ご意見等、また本調査についてのご意見などを御自由にお書き下さい。

・差し支えなければ、貴学部の今年4月の進路状況をお教え下さい。

A. 2000年3月 学部卒業者数	B. 大学院等 進学者数	C. 就職者数	D. 無業者数
人	人	人	人

以上で質問は終わりました。ご協力いただき大変ありがとうございました。

なお、記入し終わった調査票は、同封した返信用封筒に入れ、**2000年10月20日(金)**までに投函して下さい。

2000年10月1日

各位

高校・大学インターンシップ研究会
代表 吉本圭一（九州大学助教授）

『高校・大学におけるインターンシップの教育的効果と機能分担に関する調査』

貴社におけるインターンシップ導入の実態や、新卒人材の雇用と教育に関する率直な御意見をお聞きしたいと考えています。回答は、すべて統計的に処理し、企業名が出ることはございません。個々の調査内容についても秘密を厳守いたしますので、貴社にご迷惑をおかけすることはございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。調査への回答は、同封の返信用封筒にて**10月20日(金)**までに投函いただければ、幸いです。

問い合わせ先	九州大学教育社会学研究室	Tel	092-642-3126
		Fax	092-642-4355
		e-mail	keiy-edu@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp
研究会委員	吉本圭一・福岡哲朗・宮本京子・岡本信弘・稲永由紀		

※この調査票では生徒が在学中に就業体験を行うことを広義に「インターンシップ」と呼びます。

※以下の質問では、事業所・支社の場合は事業所・支社単位でお答え下さい。

※とくにことわりがない限り、○は一つだけつけて下さい。

(企業属性)

Q1. お答えになっている事業所は次のどれにあてはまりますか。

1 本社人事部門	4 支社・支店の人事部門	7 工場の人事部門	10 その他 ()
2 本社総務部門	5 支社・支店の総務部門	8 工場の総務部門	
3 本社その他の部門	6 支社・支店その他の部門	9 工場その他の部門	

【貴社の状況についてお答え下さい(Q2～Q4)】

Q2. 貴社の業種は、次のどれにあてはまりますか。

1 農・林・水産業	7 金融・保険業
2 建設業	8 個人サービス業(ホテル、理美容等)
3 製造業	9 情報サービス・調査・広告業などのサービス業
4 電気・ガス・熱供給・水道業	10 教育・医療・保健・社会福祉・その他のサービス業
5 運輸・通信業	11 官公庁
6 卸・小売業、飲食店	12 その他()

Q3. 貴社の資本金を教えてください。

1 1,000万円未満	3 5,000万円～1億円未満	5 10億円～100億円未満
2 1,000万円～5,000万円未満	4 1億円～10億円未満	6 100億円以上

Q 4. 貴社（事業所・支社）の従業員数（パート・アルバイト・派遣社員等をのぞく）と、2000年4月新規学卒採用者数の学歴別の内訳をおわかりになる範囲でお答え下さい。

	従業員数・採用数の計	A. 大学・大学院卒	B. 短大・高専・専門学校卒	C. 高校卒	D. 中学校卒
従業員数	人	人	人	人	人
2000年4月新規学卒採用者数	人	人	人	人	人

（インターンシップについての現状）

Q 5. 貴社におけるインターンシップの実施状況をお聞かせ下さい。

1 現在実施している	4 実施は将来的にも考えていない
2 実施に向けて具体的な計画をしている	5 特段の検討はしていない
3 実施するかどうかを検討している	6 不明である

【 Q 5. で「1」もしくは「2」とお答えになった方は次の SQ1～SQ6 に答えて下さい。
「2」とお答えの方は計画している予定や希望でお答え下さい。
「3, 4, 5, 6」とお答えの方はそのまま Q 6. にお進み下さい。 】

SQ1. 高校生と大学生どちらを受け入れていますか。

1 高・大両方受け入れている	3 大学生を受け入れている
2 高校生を受け入れている	4 両方とも受け入っていない

【高校生の受入経験がある場合は、以下の SQ 2～SQ 3 にお答え下さい。】

SQ 2. 実施期間を教えてください。

1 2・3日程度	4 1ヶ月程度
2 1週間程度	5 2～6ヶ月
3 2・3週間程度	6 6ヶ月以上

SQ 3. 生徒に報酬を支払いましたか。

1 支払った
2 支払っていない

【大学生の受入経験がある場合には以下の SQ 2～SQ3 にお答え下さい。】

SQ 2. 実施期間を教えてください。

1 2・3日程度	4 1ヶ月程度
2 1週間程度	5 2～6ヶ月
3 2・3週間程度	6 6ヶ月以上

SQ 3. 学生に報酬を支払いましたか。

1 支払った
2 支払っていない

SQ 4. 生徒・学生もしくは学校は貴社に対して次のような事を行っていますか。
該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1 誓約書の提出	4 生徒・学生の希望する職種の確認
2 傷害・賠償保険取り扱いの確認	5 トラブル発生時の対処窓口ならびに連絡網の確認
3 レポートの提出や報告会の開催	6 その他（ ）

SQ5. どのような経緯で実習生を受け入れていますか。
該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	社外からの依頼		1	学校からの依頼
2	会社の独自企画		2	教員個人からの直接依頼
3	その他 ()		3	学生からの直接依頼
			4	職業安定所からの依頼
			5	経済団体等からの依頼
			6	インターンシップに関する地域の仲介団体からの依頼
			7	その他 ()
			1	雇用実績のある学校に依頼
			2	その他の経路で学校に依頼
			3	生徒・学生個人を公募
			4	その他 ()

SQ6. インターンシップを導入してからこれまでに、どのような事故がありましたか。
該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	通勤途中での交通事故	4	実習中のその他の事故	7	その他 ()
2	実習中の被災	5	企画開発情報の漏洩	8	事故はなかった
3	実習生の過失による機器・商品の破損	6	顧客情報の漏洩		

(企業のメリット)

Q6. 貴社でインターンシップを導入した場合、以下の効果が期待できると思いますか。
(注：高校・大学共に期待できると思われたら両方に○をつけて下さい。)

		高校で 期待できる	大学で 期待できる			高校で 期待できる	大学で 期待できる
a	企業の事業内容のPR	1	2	i	若年者受入による職場活性化	1	2
b	企業としての社会的貢献	1	2	j	従業員自身の職場理解が深まる	1	2
c	労働力としての実習生の活用	1	2	k	生徒・学生から学ぶことがある	1	2
d	将来的な自社の雇用対策	1	2	l	産学連携による学校・行政とのパイプづくり	1	2
e	採用のための適切な情報を得る	1	2	m	産業に役立つ人材育成	1	2
f	求人活動の時間・費用の軽減	1	2	n	産業イメージの向上	1	2
g	入社後の訓練時間・費用の軽減	1	2	o	若者の早期離職の防止	1	2
h	雇用指定校制の見直し	1	2	p	学校の教育活動への参画	1	2

(生徒・学生への教育効果)

Q 7. インターンシップ導入により、高校・大学生にとって以下の教育的効果が期待できると思われますか。

		高校で期待 できる	大学で期待 できる	高校・大学両方 期待できる	両方とも 期待できない
a	企業等の実態や産業技術の理解	1	2	3	4
b	職業適性を知る	1	2	3	4
c	現実の社会に適応する能力の育成	1	2	3	4
d	学力の向上	1	2	3	4
e	学校での学習を学外で応用する	1	2	3	4
f	就職先開拓や就職のためのスキル取得	1	2	3	4

(学校改善の効果)

Q 8. インターンシップを導入した場合、学校においてその改善の効果が期待できると思われますか。

		高校で期待 できる	大学で期待 できる	高校・大学両方 期待できる	両方とも 期待できない
a	生活習慣の改善	1	2	3	4
b	進路指導の充実	1	2	3	4
c	多様なカリキュラムを提供	1	2	3	4
d	教育経営の点検・評価に対する視点を拡充する	1	2	3	4
e	学校の評価を高める	1	2	3	4
f	求人活動をスムーズにする	1	2	3	4
g	就職に際しての企業との実績関係を強める	1	2	3	4
h	教職員の資質向上	1	2	3	4

(コスト・障害)

Q 9. インターンシップを実施する場合、生徒・学生に対して貴社が懸念することがありますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1	挨拶ができない	5	積極性がない	9	接客ができない
2	言葉使いが悪い	6	勝手な行動をする	10	担当者との人間関係が築けない
3	服装、髪型等が乱れている	7	ミスをしても報告をしない	11	周囲との人間関係が築けない
4	遅刻・無断欠勤が多い	8	電話の応答ができない	12	その他()

Q10. インターンシップ導入により貴社が最も危惧することは何ですか。
該当する番号に一つだけ○をつけて下さい。

1	事故による実習生の被災	5	実習生の認識や期待とのミスマッチによる実習生・学校側の不満
2	実習生の過失による機器・商品の破損	6	担当職員の拘束による仕事遅滞
3	実習生による機密の漏洩	7	その他 ()
4	不本意な実習生による職場の迷惑・混乱		

Q11. インターンシップを計画する上で貴社では以下のような事は問題になりますか。

	問題になる	あまり問題にならない	問題にならない
a 受入担当者になり得る適切な人材がない	1	2	3
b 受入担当者の負担が大きすぎる	1	2	3
c 業務多忙のため実習生の十分な指導ができない	1	2	3
d 実習とアルバイトとの差別化がむずかしい	1	2	3
e 受入のためのコストがかかりすぎる	1	2	3
f 県や国からの助成金やサポートを受けにくい	1	2	3
g 学校が企業依存しようとする傾向が強い	1	2	3
h 学校にプログラム作成のノウハウがない	1	2	3
i 自社にプログラム作成のノウハウがない	1	2	3
j 学校との方針の違いやスケジュールについて折り合いがつかない	1	2	3
k 学校とのトラブル発生が煩わしい	1	2	3

(インターンシップ推進条件)

Q12. 次のような条件が満たされたら、一般にインターンシップがうまく推進できると思いますか。重要な順に5つまで選び、横の空欄にアルファベットを記入して下さい。

a 公的な資金援助	i 学校からの実施の要請	1	
b 企業経営者、幹部の理解	j 生徒・学生からの実施要望	2	
c 企業の現場の指導者の理解	k 実習生への十分な事前研修	3	
d 学校長・学長等のリーダー層の理解・イニシアチブ	l 文部省等による法的な枠組み、指導	4	
e 仲介機関からの実施の要請	m その他 ()	5	

(学校種ごとの望ましい形態)

Q 1 3. インターンシップ実施においては様々形態があると思われます。あなたの考えをお聞かせ下さい。あなたの所属にかかわらず、高校は3学科、大学は文・理系それぞれの場合についてすべてお答え下さい。

(1) インターンシップの目標は………

仕事や職場の実態を幅広く知ることである ← どちらとも言えない → 特定の職業に役立つ知識・技術を知ることである

高校	普通科	1	2	3	4	5
	商業科	1	2	3	4	5
	工業科	1	2	3	4	5
大学	理系	1	2	3	4	5
	文系	1	2	3	4	5

(2) インターンシップの業務は………

創造的でユニークな業務が望ましい ← どちらとも言えない → 普段の業務と同じメニューが望ましい

高校	普通科	1	2	3	4	5
	商業科	1	2	3	4	5
	工業科	1	2	3	4	5
大学	理系	1	2	3	4	5
	文系	1	2	3	4	5

(3) スキル・知識については、インターンシップを通して………

学校で学んだ基本的なスキル・知識を定着させる ← どちらとも言えない → 学校では学習できない応用的なスキル・知識を学ぶ

高校	普通科	1	2	3	4	5
	商業科	1	2	3	4	5
	工業科	1	2	3	4	5
大学	理系	1	2	3	4	5
	文系	1	2	3	4	5

(高・大別のインセンティブ)

Q 1 4. インターンシップを計画する際に、以下のような効果をねらう場合、高校・大学どちらで行った方がよいと思われますか。

	高校がよい	大学がよい	高校・大学 両方がよい	両方 行わない方がよい
a 職業生活に必要な知識・技術の習得	1	2	3	4
b 現実の社会に適応する能力の育成	1	2	3	4
c 生徒・学生の学習意欲向上	1	2	3	4
d 主体的な進路(進学・就職)意識形成	1	2	3	4
e 学校における多様なカリキュラムの提供	1	2	3	4
f 地域社会と学校との交流・連携	1	2	3	4
g 将来的な自社の雇用対策	1	2	3	4
h 企業もしくは産業のPR	1	2	3	4
i 生産活動に寄与できる	1	2	3	4
j 実習生からの便益および実習生指導による従業員の資質向上	1	2	3	4

(高校・大学機能分担)

Q 1 5. “現在の日本の学校教育に不足している”と思われるものは何ですか。

	高校で不足	大学で不足	高校・大学 両方不足	両方とも 不足していない
a インターンシップ等の職業経験的学習	1	2	3	4
b 一般的な教養科目と職業準備的な知識・経験との関連づけ	1	2	3	4
c 最新の知識・技術に触れる機会	1	2	3	4
d 産業および労働市場一般に関する知識取得	1	2	3	4
e 言語、数理、IT等の基本的スキルの育成	1	2	3	4
f 創造的思考、課題解決の能力の育成	1	2	3	4
g 責任感、自尊心等の人格的スキルの形成	1	2	3	4

Q 1 6. 以下の項目の中で、今後の高校生あるいは大学生に充実させるべき職業体験的学習は何でしょうか。重視するものを選び、その中での順位を空欄に記入して下さい。
体験させたくないものには×を記入して下さい。

	高校	大学	(例)
a 会社経営者等による出前授業			3
b 職場見学			2
c アルバイト			×
d 短期(2週間以内)・無報酬インターンシップ			4
e 長期(2週間以上)・無報酬インターンシップ			1
f 報酬のあるインターンシップ			×

Q 17. 今後、優秀な新規学卒者等の若い人材を確保するためにどのような経営方針を重視しつつありますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

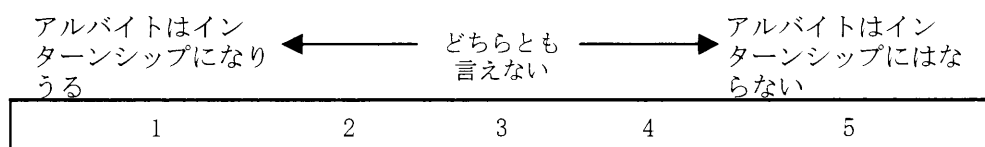
1	採用活動を長くし、応募機会を拡大	8	ホーム・ページで企業情報発信
2	企業説明会や採用試験の回数増加・開催地域の拡大	9	能力開発制度の充実
3	就職面談会や企業ガイダンスに参加	10	人事労務管理制度の導入
4	学校との長期的信頼関係を構築	11	職場環境、福利・厚生施設の充実
5	インターンシップを利用した採用活動	12	特に方策は考えていない
6	募集・採用情報を多くの経路で広く提供	13	その他
7	イメージアップのための広報活動		()

(アルバイト観)

Q 18. 高校生・大学生の多くがアルバイトを行っています。アルバイトを職業体験として見た場合、どのように評価されますか。

- (1) 学校での事前・事後指導(各生徒・学生の体験をホーム・ルームや授業で積極的に活用することを含む)を十分に行った上でのアルバイトは、ただ職業を体験する事とは異なり、意義のあるインターンシップとなりうる。
- (2) アルバイトにより私生活や学業等にもたらされる悪影響は深刻である。多少のメリットを差し引いても、アルバイトはインターンシップあるいはその代替にはなりえない。

自分の考えは…………



Q 19. 現在のインターンシップのあり方についてのご要望、ご意見等、また本調査についてのご意見などを御自由にお書き下さい。

以上で質問は終わりました。ご協力いただき大変ありがとうございました。

なお、記入し終わった調査票は、同封した返信用封筒に入れ、**2000年10月20日(金)**までに投函して下さい。

執筆者一覧（執筆順）

吉本 圭一 九州大学大学院人間環境学研究院助教授
福岡 哲朗 九州大学大学院人間環境学研究科博士後期課程
稲永 由紀 広島大学高等教育研究開発センター助手
宮本 京子 九州大学大学院人間環境学府博士後期課程
岡本 信弘 福岡市立博多工業高等学校進路指導主事

吉本圭一編

高校・大学・企業におけるインターンシップの展開と課題

発行年月日 2001年12月28日

発行・編集 高校・大学インターンシップ研究会
（代表 吉本 圭一）

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1

九州大学教育社会学研究室内

電話・Fax 092-642-3126

印刷・製本 (株)ミドリ印刷
